

第1章 調査の経緯

第1節 調査に至る経緯

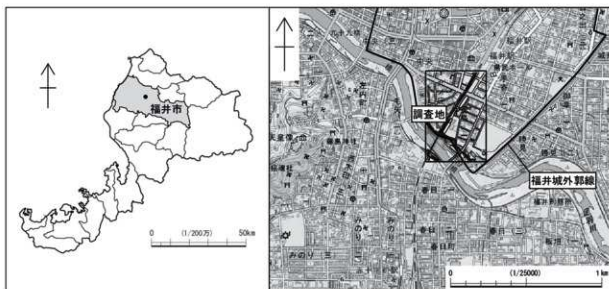
福井城跡が展開する福井駅周辺では、JR北陸線外2線連続立体交差事業や福井駅西口地下駐車場整備事業等をはじめとする大規模な再開発が進められ、平成8年より断続的に発掘調査を実施している。

JR北陸線外2線連続立体交差事業はJR線高架化工事であり、事業地内での着工時期によりJR福井駅地点とその北側（高架側道4号線地点）、南側（高架側道5号線地点）に三分して対応した。高架側道4号線地点は平成8年から10年まで、高架側道5号線地点は平成10年から12年まで、JR福井駅地点は平成12年9月から14年6月まで、それぞれ降雪期の中断をはさみながら調査を実施した。

西口地下駐車場地点は、事業地が福井駅前および県庁前の主要道路のため交通の遮断が許されず、調査区を車線ごとに分割するとともに工事の進捗に応じて細分して対応した。調査は平成14年7月から15年12月まで実施したが、平成18年に階段と石垣復元展示設備の増設のため追加調査を実施した。

北陸新幹線建設事業は、早期着工が認可された福井駅とその北側部分を北陸新幹線福井駅地点として、平成17年9月から18年9月に調査を実施した。この調査地は高架側道4号線地点とJR福井駅地点の北半部に隣接するため、その調査成果を試掘調査の代替として調査計画が立案された。ところが、明治30年前後に鉄道が敷設されたJR福井駅地点に比べ、遺構の残存状況は良好ではなかった。

平成23年に北陸新幹線の金沢から敦賀までの同時開業が認可されると、当初北陸新幹線との2階建て構造の高架化が予定されていたえちぜん鉄道は、単独の高架化が決定された。えちぜん鉄道地点の調査は、北陸新幹線福井駅地点に東接し、工事の進捗状況に合わせて平成18年8・9月、平成25年8・9月、平成26年10・11月、平成27年11月から28年5月に実施した。また、この認可を受けて、平成26年から北陸新幹線建設に関わる発掘調査を県内北部より着手した。福井城跡の調査は、先行した北陸新幹線福井駅地点から南側の足羽川へ至る範囲を対象とし、平成27年4月から発掘調査に着手した。そのうち今回の報告分は、主要地方道福井加賀線の起点部分である通称「城の橋通り」から南側の範囲であり、平成27年4月から28年12月の期間に調査を実施した（第1図）。



第1図 調査地の位置（縮尺1/2,000,000・1/25,000）

第2節 調査の経過

北陸新幹線建設事業に関わる福井城跡の発掘調査は、工事の進捗に合わせて9つの調査区に分割して実施した。そのうち今回の報告分は、城の橋通りの南側に位置するFKJ15-1・15-2・16-1の3つの調査区である（第2図・第1表）。なお、9つの調査区のうち先行して平成27年（2015）に着手したのはFKJ15-1・2調査区の二地区のみで、その年度の福井城跡の調査として南から調査区番号を振った。平成28年（2016）に一斉に開始したFKJ16-1～5調査区も南から番号を振り、その後開始したFKJ16-6・7は開始順に番号を付けた。

FKJ15-1・2調査区の調査は、平成27年4月1日から11月30日の期間に、これまでに実施したJR福井駅地点や北陸新幹線福井駅部地点等と同様、事業対象地のうち高架雨落ち範囲の全面発掘として実施した。しかし、平成27年1月に北陸新幹線金沢-敦賀間の開業を3年前倒して令和5年（2023）3月頃の開業とすることが決定したことにより、迅速な発掘調査の進行と早期終了のため、発掘調査期間と調査方法等の見直しが行われることとなった。その結果として、人員不足を補うために支援業務を民間業者に委託することとなり、FKJ15-1・2調査区が当センターとして初めての試みとなった。

それに加えて、平成28年度の調査範囲は、地下に直接影響する工事掘削範囲のみに限定されることとなった。調査区は、掘削範囲を必要最小限とするために周囲が矢板で補強されたが、その矢板を支えるために鉄骨による腹起しや切梁を水平に設置する必要があり、複数の鉄骨が調査区を横断することとなった。さらに、深度2mごとに腹起しや切梁の設置が必要とされ、調査の進捗に関わらず、絶えず危険と困難を伴う過酷な環境下での発掘調査の実施を余儀なくされた。

FKJ16-1調査区は、FKJ15-1調査区とFKJ15-2調査区の間に位置する（第2図）が、全面発掘での対応ではなくなった。そこに設置される3つの高架橋脚の範囲のみを対象とすることとされ、調査区が3地区に細分されたため、調査の開始順に枝番号を振ってFKJ16-1-1～3地区とした。工事の進捗や変更等により、最初に中央（FKJ16-1-1）、次いで南側（FKJ16-1-2）、最後に北側（FKJ16-1-3）となり、調査区の名称と並びが順不同となった。最終的にFKJ16-1-1と16-1-3、FKJ15-1と16-1-2がそれぞれ連結し、今回報告の調査範囲が大きく3つに分かれる状況となった（第2図）。FKJ16-1-1地区の調査は平成28年4月1日から7月29日の期間に実施し、これに続いて開始したFKJ16-1-2地区は同年12月7日に調査が終了した。FKJ16-1-3地区の調査は、FKJ16-1-2地区と並行するように9月1日に開始し、同年12月28日に終了した（第1表）。

調査区におけるX・Y座標値は、これまでの福井城跡の調査成果との対照のしやすさを優先するために、国土方眼座標第Ⅵ系に基づくこととした。また、これまでに当センターが実施した福井城跡の発掘調査において、共通して利用してきたグリッドの設定を今回も踏襲した。X座標は10m単位で西から東へ1～10の番号を、Y座標は10m単位で南から北へA～Jの番号を振り、それを組み合わせで10m四方のグリッドとした。

第1表 調査経過

FKJ15-1 調査区（調査支援委託：株式会社イゼンク）

平成27年4月1日	調査開始
11月30日	調査終了

FKJ15-2 調査区（調査支援委託：株式会社サンワコン）

平成27年4月1日	調査開始
11月30日	調査終了

FKJ16-1 調査区（調査支援委託：株式会社アコード）

平成28年4月1日	1地区 調査開始
7月29日	1地区 調査終了
	2地区 調査開始
9月1日	3地区 調査開始
12月7日	2地区 調査終了
12月28日	3地区 調査終了

第2章 位置と環境

第1節 調査区と福井城下の屋敷地割

福井城は、福井平野南端にある足羽山の北東に展開する平城である。しかし、現在では城郭の高石垣や堀は破却されて市街地化しており、本丸の石垣と堀のみ残存する。ただし、残存する石垣も、福井震災により倒壊したり、本丸内への福井県庁、県議会議事堂、県警察本部の建設のために樹形や雁木等が撤去されたりしており、本来の姿を留める部分は非常に限定的である。

今回の調査区は、福井城の南端付近で、百間堀から南東の外曲輪のうち「城ノ橋」と呼ばれる区域にあたる。その区域名に因む現代の幹線道路である「城の橋通り」と足羽川の間で、JR線高架の東側に隣接する位置に、今回の3つの調査区（FKJ15-1・15-2・16-1）が概ね南北に並ぶ（第2図）。

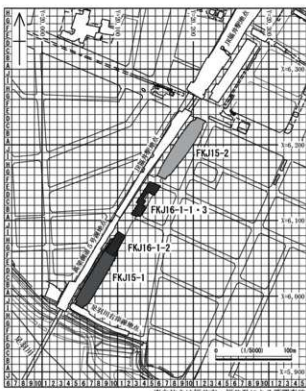
調査区周辺にあたる城ノ橋の屋敷地割は、時期による道路の変化がほとんどないために、道路等で区画された街区の形状はほぼ変化せず、街区内の屋敷地の形状が少しずつ変化する。また、この城ノ橋の北部には城郭内としては珍しく町屋が占める街区がある。この町屋地は、築城以前に存在した村の一部を取り込んだものと考えられており、17世紀半ば頃は長濱町（二番町・三番町）、17世紀後葉以降は城ノ橋町組（上町・下町・横町・泉町等）と名称を変えつつ存続する（第4図）。

調査区周辺の屋敷地割は、松平文庫に残る城下絵図（福井県文書館保管）によると、大まかに慶長18年（1613）頃、正保年間（1624～44）から寛文年間の大火以前まで（1661～69）と、大火後の復興計画図とされる寛文10年（1670）の絵図や貞享2年（1685）の絵図以降とで、道路の存廃状況や町屋の占める範囲等に大きな変化が認められる（第3・4図）。屋敷地割・街区割の変更は、各絵図間の時期の17世紀前葉（1613～1624）と17世紀後葉（1670～1685）に実施されたこととなる。17世紀

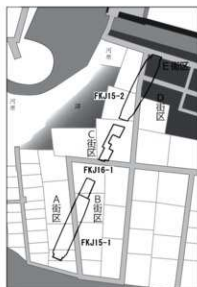
前葉の変更は、城ノ橋西側の漆ヶ淵と呼ばれる水域（漆門前土橋の南側）から足羽川までを堀として整備し、河原や沼だったところを町屋地としている。17世紀後葉の変更では、それまで存在した枝道を一部廃止して、それぞれの道路沿いに広く展開した町屋地を、堀に沿う道路の沿線に集約している。

各調査区と屋敷地割との位置関係は、街区を形成する道路がいくつか検出されたため、特定することができる（第3図）。道路は、FKJ15-1・2調査区に南北道路が検出されており、FKJ15-2調査区の下層の道路は東への分岐が確認された。FKJ16-1調査区の1・2地区間の未調査地にも東西道路が存在するはずであり、その東西道路は西に隣接するJR線高架化の際の調査で検出されている。

各調査区にかかる街区は、FKJ15-1西側、FKJ15-1東側とFKJ16-1-1、FKJ16-1-2・3

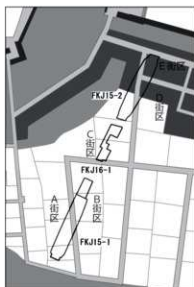


第2図 調査区割図（縮尺1/5,000）

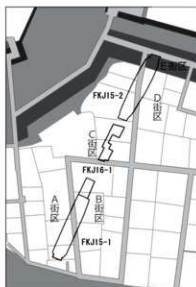


17世紀前葉（慶長18年頃）

第3図 城下町割・調査区対照図



17世紀中葉（正保年間～寛文9年以前）



17世紀後葉以降（貞享2年以降）

町屋地 道路 高石垣 堀・沼・川



慶長18年（1613）頃
（「慶長御城下絵図」A0143-21310）



万治2年（1659）
（「御城下之図」A0143-21314）



安永4年（1774）
（「御城下絵図」A0143-21336）

第4図 城下絵図にみえる調査地周辺の変遷

いずれも松平文庫所収（福井県文書館保管）

とFKJ15-2西側、FKJ15-2東側の4つの街区（FKJ15-2東側下層に分岐する道路があるため、それを加えると5つの街区）がある。

本書では、それら街区を便宜的に南西からA～D街区とし、さらに江戸時代を通して町屋地であり続けたFKJ15-2調査区の石組水路152-2から北側をE街区とした。D街区は下層で道路により二分されるが、下層ではどちらも町屋地であり、道路を挟んで同じ町として扱われているため、あえて街区を分けなかった。街区内の屋敷地は、街区ごとに南から番号を付けた。ただし、全体的に遺構の残存状況が良くなく、認識できる屋敷地境が限定されるため、屋敷地の多くが明確でない。

第2節 各調査区の基本層序

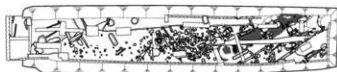
各調査区付近の現地表の標高は、FKJ15-2からFKJ15-1へ少しずつ下降するが、概ね8.0m前後で推移する。しかし、調査地はJR線高架建設の際に仮線を敷設した場所であり、南側のFKJ15-1周辺には足羽川堤防を越えるための、川に向かって徐々に高まる盛土が残されていた。FKJ16-1や15-1の北側では周囲と同様な標高8.0m前後であるが、FKJ15-1の南側では標高9.0～9.5mを超えるまでになる。また、調査地は一時的な仮線が敷かれた以外には鉄道路線の外であったため、建物の基礎や地盤改良工事の影響、水道管敷設等により破壊を被る部分があり、全体に多寡はあるものの削平を受けたようである。

FKJ15-1調査区は、北庄城期を含む近世の遺構面を3面に分け、下層の焼土・炭化物の確認される古代面、最下層の地山面とで5面分とした。調査区の北側から中央部の近世3面分の遺構は、検出面や掘り込み面が標高7.0～7.5mであり、ほぼ高低差がない。これは全体に削平された結果だと思われるが、遺構の重複が著しい部分では構築順で図を分けたために、各面の全体図に異なる時期の遺構が混在する場合がある。調査区の南端付近は、川に近づくにつれ地山が下降しており、厚いところでは1.5mを超える盛土により造成される。これは18世紀後葉の造成であるが、改変が下層にまで及ぶために、1～3面にあたる遺構・遺物が混在する状況となっている。南端の遺構は標高6.0m前後から7.0mまでの造成土中にあり、造成上下は標高5.5mで、自然地形の傾斜地となる。中央部は地山が標高6.5～7.0mまで隆起する。おもに北側に認められる4面目の遺構面は標高6.5m前後である。5面目は全体が自然地形となり、北側の自然流路の浅い落ち込み周辺の標高5.8～6.0mあたりに、いくつかの遺構がまとまる。

FKJ16-1調査区は、さらに3区に分かれ、2区がFKJ15-1調査区と接し、1・3区がともに接して一つの調査区となる。2区は遺構面が3面検出されており、標高6.8mの近世面、標高6.6mの古代面、標高6.2mの古墳時代～古代(地山)面がある。1・3区の遺構面は近世と古代(地山)の2面が検出されている。削平により近世遺構の検出面は、標高6.0mや6.6～6.8mとなるが、概ね標高6.8mである。地山は1区南側が標高5.8mと低いが、北側に向かい標高6.4mまで高まる。なお、FKJ16-1-2調査区はB街区、FKJ16-1・3調査区はC街区となる。

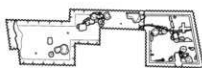
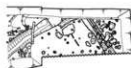
FKJ15-2調査区は、全体が概ね標高7.3mまで削平されており、これがこの調査区全体の1面目となる。以下は街区や屋敷地ごとに様相がやや異なる。西側の街区(C街区)は、水道管等による擾乱のため明確でない部分が多いが、検出面から0.3m、0.7mの深さの遺構が検出されており、それぞれ2、3面目に対応するようである。東側の街区(D街区)は、下層では道路が分岐していた。分岐する道の路面は標高6.8mで検出されたが、砂利敷き舗装の路面と粘土層の路盤が概ね3面分は確認されており、2面目の路面は標高6.3～6.4m、3面目の路面は標高6.1～6.3mである。最下層の3面目路面は、標高5.8mの地山面上に、厚さ0.3m程の路盤となる粘土層を敷き、その上に0.2～0.3mの砂利敷き舗装を施して形成される。この上に粘土による嵩上げと砂利敷き舗装を繰り返し施しており、最終的に砂利敷き舗装と粘土層の路盤は地山から1mの厚みとなっている。この道の南側は、標高6.8m、6.3mで遺構面が確認され、標高5.8mで地山に至る。道の北側は、標高6.5mで造成面が確認されるが、下層の遺構面を削り、複数面分の遺構が混ざって検出されている状態である。敷地内の土を大きく削り取って造成し直したようであるが、幕末頃の遺物が該当する箇所を整地土内に含まれ、その頃の造成により改変されているようである。地山は標高5.5mと深くっており、旧流路の一つだったようである。石組水路152-2から北の街区(E街区)は、標高7.0m、6.5mに遺構面が確認される。下層の地山は北へ向かい高まり、標高6.1mで確認されている。

FKJ15-1



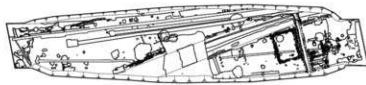
7.5m			近世壁地土 (道路面・道横面)	近世壁地土 (1+2面目)	7.5m
7.0m	近世壁地土 1-Ⅱ			中世堆積土 (3面目)	7.0m
6.5m				古代堆積土 (4面目)	6.5m
6.0m	近世壁地土 Ⅲ~Ⅴ	自然堆積		自然堆積 (5面目)	6.0m
5.5m					5.5m
5.0m	自然堆積				5.0m

FKJ16-1



	2区		1区		3区		
7.0m	近世壁地土 (1面目)	近世壁地土 (1面目)	近世壁地土 (堆積土含む) (1面目)	近世壁地土 (1面目)	近世壁地土 (1面目)	7.0m	
6.5m	古代堆積土 (2面目)			自然堆積 (12面目)	自然堆積 (2面目)	6.5m	
6.0m	自然堆積 (3面目)	(堆積土) 自然堆積	自然堆積		自然堆積	6.0m	
5.5m						5.5m	
5.0m						5.0m	

FKJ15-2



7.5m	近世壁地土 1 (1面目)	近世壁地土 1-2	近世壁地土 1-2	近世壁地土 1-2 (1面目)	近世壁地土 1 (1面目)	7.5m
7.0m	近世壁地土 3 (2面目)	近世壁地土 1-2	砂利層	近世壁地土 1-2 (2面目)	近世壁地土 2 (2面目)	7.0m
6.5m		近世壁地土 3 (3面目)	粘土層	近世壁地土 3-4	近世壁地土 3 (3面目)	6.5m
6.0m		近世壁地土 4	砂利層	近世壁地土 5	自然堆積	6.0m
5.5m		自然堆積	粘土層			5.5m
5.0m			自然堆積			5.0m

砂利敷道路面
3面以上
(砂利・粘土互層)



第5図 基本層序模式図 (縮尺: 平面図 1/1000・柱状図 1/100)

第3章 遺構

第1節 FKJ15-1 調査区の遺構

FKJ15-1 調査区は、長さ約 87.5 m・幅約 18 m で、北東-南西に細長く延びる。この調査区は大きく 5 面に分け、近世面を福井城期 2 面と築城前 1 面とし、下層を 2 面とした。とくに近世面は大きく削平されており、同一検出面での遺構の重複が著しいため、検出面の違いが必ずしも時期差によらず、切り合い順を示すために面を分離した遺構も多い。そのため、おもに 1 面目は 17 世紀中葉もしくは 18 世紀以降とし、2 面目は 17 世紀前半を中心としたが、時期の異なる遺構が一部混在する（第 6 図）。3 面目はおもに築城直前段階だが、調査区南端部分は 18 世紀後葉に大きく改変されており、深く掘削もしくは流失した部分を造成し直したようであり、新旧の遺構・遺物が混在する（第 7・24・25 図）。これより下層は福井城にかかわる遺構はほぼなくなり、須恵器・土師器片の出土する遺構が検出される（第 8 図）。4 面目は、明瞭な遺構面は確認されなかったが、包含層中に炭化物や焼土の広がりのあるところを捉えた。5 面目は最下層の自然地形である。

おもに 1・2 面の福井城跡の遺構は、砂利敷道路等により区画された屋敷群（街区）である。調査区北半部に検出された南北方向に延びる砂利敷道路を境に、西側を A 街区、東側を B 街区とする。城下絵図や隣接する既調査区の状況によると、調査区内には A 街区に 3 軒分、B 街区に 1 軒の武家屋敷地がかかり、江戸時代を通して屋敷境が僅かに移動するものの大きな変化は認められない（第 3・4 図）。屋敷地は街区ごとに南から番号を付けて、屋敷地 A-1～3、屋敷地 B-1 とした。

以下、1・2 面の福井城の遺構は街区ごとに、3 面以下は下層遺構として遺構面ごとに報告する。

1 A 街区の遺構

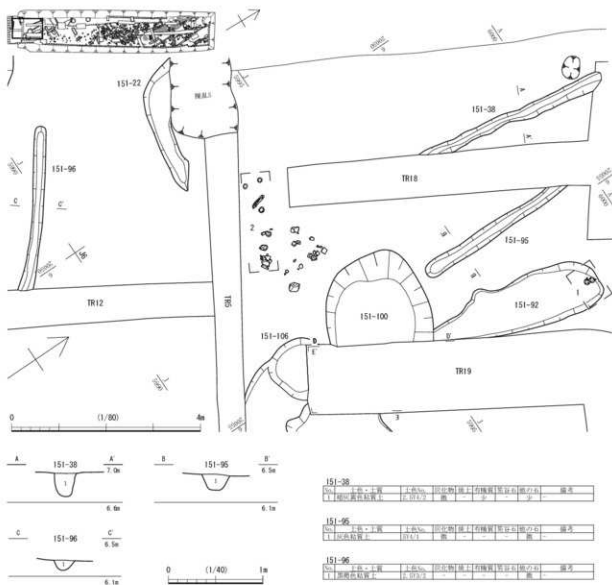
A 街区の 3 軒の屋敷地の境は、二か所で確認されるはずであるが、全面的な削平のためにどちらも明瞭でない。隣接する高架側道 5 号線地点の調査成果と城下絵図に描かれた屋敷の規模等によると、北側の屋敷境は調査区中央より北側に、南側の屋敷境は調査区南端付近に位置することとなる。北側の屋敷境は、17 世紀前葉には溝 151-112 が該当し、17 世紀中葉以降には溜槽の残欠とみられる集石 151-101 と廃棄土坑 151-28 の間に多数見られる土坑群（151-50・80・159・164～166・190・231・240 等）が該当するようである。南側の屋敷境は、17 世紀前葉には溝 151-110 のほか、土坑 151-97・140・141 等が関連することが考えられ、17 世紀中葉以降には溝 151-17 が該当するようである。

1) 屋敷地 A-1（第 3・6 図）

主要な遺構は、屋敷地 A-1・2 の境を示すとみられる溝 151-17・151-110、井戸 151-108 のほか、多くの廃棄土坑がある。比較的同様な規模の廃棄土坑が、同時期に近接して掘削されていることから、屋敷地で継続的に廃棄土坑が設けられた場所にあたるようである。なお、廃棄土坑の土壌分析により、食料残渣を含む生活ゴミの内容を窺うことができた。

溝 151-110（第 20 図） 17 世紀前葉の屋敷地境を示すとみられる。検出長約 2.5 m・幅 0.65 m・深さ 0.15 m である。この溝は短く途切れるが、東延長上に土坑 151-97・140・141・142 があり、それらも屋敷地の区画設備の痕跡となることが考えられる。

溝 151-17（第 20 図） 17 世紀中葉以降の屋敷地境とみられる。検出長 3～4 m・幅 0.55 m・深さ 0.2 m である。東側は遺構面が高まるものの途切れており、延長上の遺構も不明瞭である。全体的な削平により失われたことが考えられ、土坑 151-208 のような小規模な遺構がその痕跡となるのかもしれない。

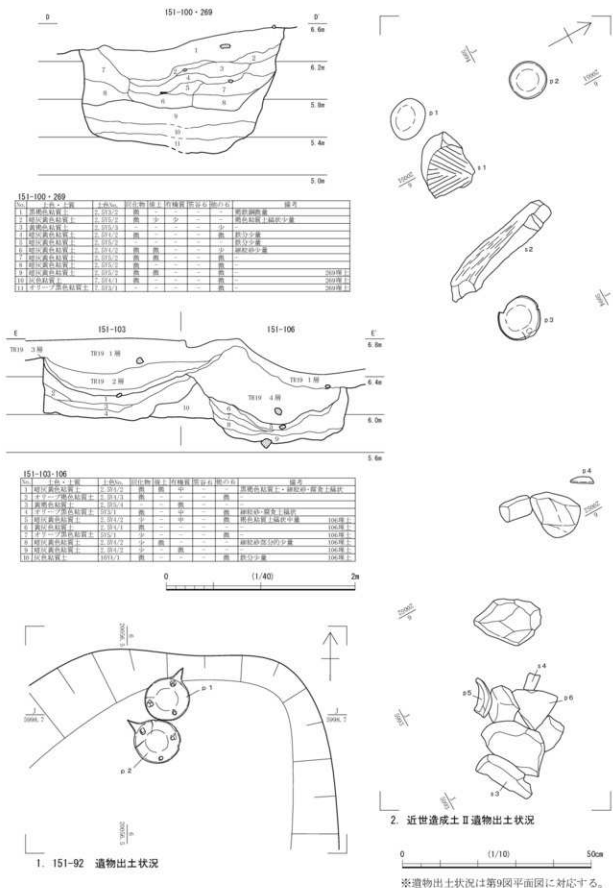


第9図 屋敷地A-1 1面目 151-38・95・96 (縮尺1/80・1/40)

井戸 151-108 (第11・13・14図) 直径約1.3m、検出面からの深さ約2.7mの素掘りの井戸である。埋土のほぼ全体に多量の炭化物を含み、色調が黒色となるが、含まれる焼土は僅かである。18世紀後葉以降の土師質皿、越前焼、陶磁器片が出土したほか、埋土には炭化したイネの塊が含まれていた。また土壌分析の結果、33～35層で多くのイネ穎、ソバ果実の破片が検出された(第2分冊第6章自然科学分析参照)。初穀等の食用に適さない穀物の破片が廃棄されたようである。周辺にはこのように多量の炭化物を含む遺構は存在しない。

廃棄土坑 151-100・269 (第9・10・22図) 151-100は直径2.2mの円形で、1層から筒の破片が出土した(第10図)。そのほか、ニホンカボチャ近似種が多量に出土しており、食料残渣がまとまって廃棄されていた様子が想定される(第2分冊第6章自然科学分析参照)。なお、151-269は別遺構としていたが、151-100の下層にあたり同一遺構となる。151-100の検出面からの深さは約1.2mになる。

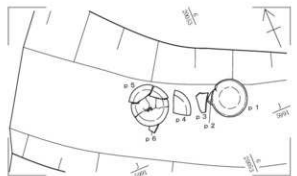
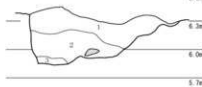
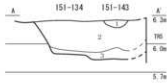
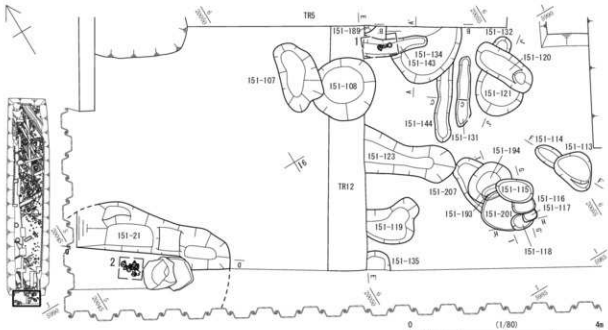
廃棄土坑 151-103・106(第9・10図) 151-103は長径1.9m・短径1.5m、隣接する151-106は長径1.3



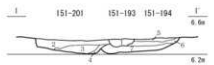
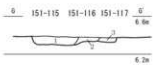
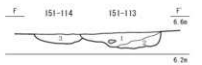
1. 151-92 遺物出土状況

2. 近世遺成土Ⅱ遺物出土状況

第10図 屋敷地A-1 1面目 151-92・100・103・106 (縮尺1/40・1/10)



1. 151-143 遺物出土状況



0 (1/40) 1m

151-124

No.	土物・土層	土層No.	出土物種目	有残量(発見品数)の概	備考
1	黒色粘土	151-1	中	多	焼酎中量 貯蔵品(燗酒)
2	黒色粘土	151-1	中	少	焼酎中量
3	灰サリ-クセ粘土	151-2	中	少	焼酎中量 貯蔵品(燗酒)

151-113・114

No.	土物・土層	土層No.	出土物種目	有残量(発見品数)の概	備考
1	黒色粘土	151-1	少	-	113層上
2	灰サリ-クセ粘土	151-2	-	-	113層上
3	黒色粘土	151-1	-	-	113層上

151-117・118

No.	土物・土層	土層No.	出土物種目	有残量(発見品数)の概	備考
1	灰サリ-クセ粘土	151-2	少	多	焼酎中量
2	灰サリ-クセ粘土	151-2	少	多	焼酎中量 焼酎瓶土層(1)中量

151-134・143

No.	土物・土層	土層No.	出土物種目	有残量(発見品数)の概	備考
1	黒色粘土	151-1	中	多	143層上
2	黒色粘土	151-1	中	多	焼酎中量 143層上
3	黒色粘土	151-1	中	少	焼酎中量 134層上

151-144

No.	土物・土層	土層No.	出土物種目	有残量(発見品数)の概	備考
1	黒色粘土	151-1	中	-	焼酎瓶土層
2	黒色粘土	151-1	中	-	焼酎瓶土層
3	黒色粘土	151-1	中	-	焼酎瓶土層

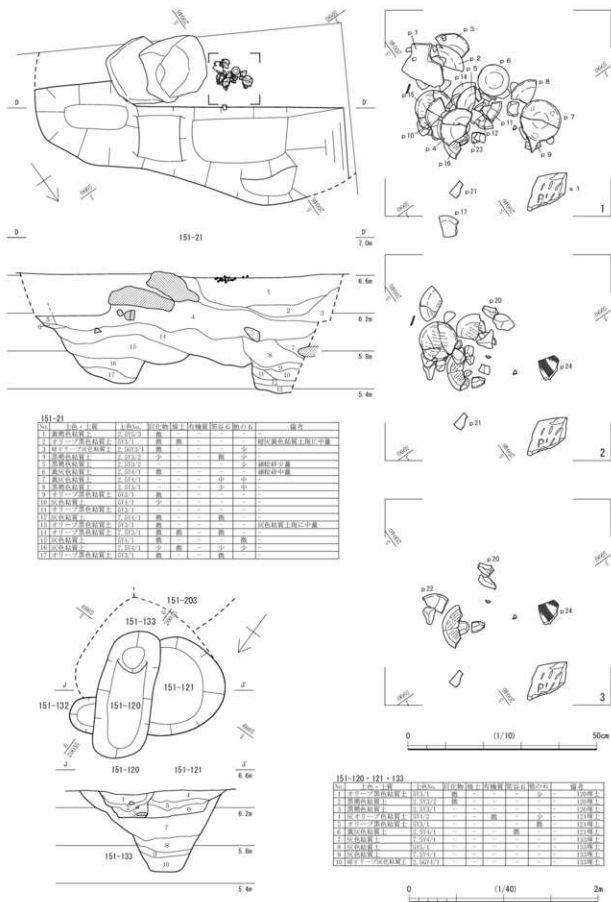
151-115・116・117

No.	土物・土層	土層No.	出土物種目	有残量(発見品数)の概	備考
1	灰サリ-クセ粘土	151-2	中	少	117層上
2	灰サリ-クセ粘土	151-2	少	多	焼酎中量 116層上
3	灰サリ-クセ粘土	151-2	少	多	焼酎中量 117層上

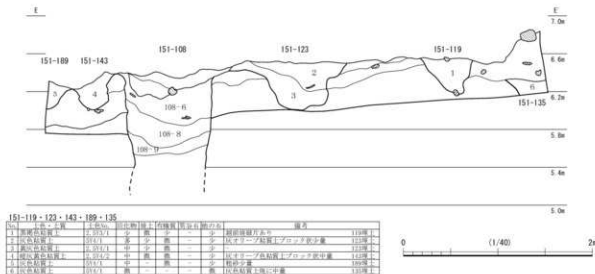
151-193・194・201

No.	土物・土層	土層No.	出土物種目	有残量(発見品数)の概	備考
1	黒色粘土	151-1	中	多	193層上
2	灰サリ-クセ粘土	151-2	中	多	194層上
3	灰サリ-クセ粘土	151-2	中	多	194層上
4	黒色粘土	151-1	中	少	194層上
5	灰サリ-クセ粘土	151-2	中	多	194層上
6	灰サリ-クセ粘土	151-2	中	多	194層上
7	灰サリ-クセ粘土	151-2	中	多	194層上

第11図 屋敷地A-1 1・2面目① (縮尺1/80・1/40・1/10)



第12図 屋敷地A-1 1・2面目② (縮尺1/10・1/40)



第13図 屋敷地A-1 1・2 面目③ (縮尺1/40)

m・短径0.8 m以上で、どちらも出土遺物の時期は18世紀後半以降である。

廃棄土坑 151-21 (第11・12図) 調査区南西隅で一部を検出し、検出規模は1.7 m×0.6 m・深さ0.7 mである。18世紀後半の土師質皿が一括廃棄されていたほか、性格不明の笏谷石塊が出土した。

廃棄土坑 151-204 (第15図) 長辺1.42 m、短辺1.10 mを測る。上層が151-106に切られる。また、周辺に廃棄土坑151-100・103があり、これらと一連の廃棄土坑として屋敷地内に掘削された可能性が高い。越前焼片、陶磁器片のほか、赤瓦、土鍾が出土し、埋没時期は18世紀以降と考えられる。板材等の木製品と植物遺体が多く認められた8層と9層で土壤分析を行った(第2分冊第6章自然科学分析参照)。9層下層ではイネ類が多量に検出され、多少ながら寄生虫卵が認められることから人糞が混入した可能性が高い。

廃棄土坑 151-227 (第15図) 長径2.1 m・短径1.7 m・深さ0.6 mである。底面で井戸の廃絶に関わるとみられる竹筒を検出した。廃絶後に廃棄土坑として埋められたと考えられる。

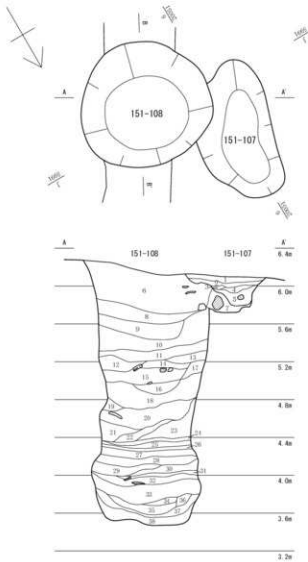
廃棄土坑 151-226・230・245 (第17・18・22図) それぞれ灯明皿に使用した土師質皿がまとめて出土した。151-226は151-245に切られ、151-245は151-107・108・230に切られる。17世紀から18世紀前半に、廃棄した場所だったようだ。

廃棄土坑 151-259 (第19・22図) 直径1.4 m・深さ0.7 mの円形である。12層を中心に18世紀前半に属する土師質皿のほか、陶磁器が廃棄されていた。13層・14層での土壤分析の結果、種実ではソバ果実・イネ類破片が多量に検出された。井戸151-108同様に破片が多いことから食用にならなかったものを廃棄したと考えられる。

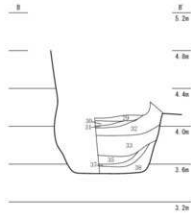
溝 151-38・95・96 (第9図) 151-38・95は、ともに南北方向にのびる細く浅い溝である。出土遺物は18世紀後半に属する。151-96は、151-38・95と同規模ではあるものの方向性が大きく異なり、出土遺物も18世紀前半までの陶磁器が出土し、埋没時期が異なる。

溝 151-143 (第11図) 幅0.4 m・深さ0.25 mである。18世紀以降の土師質皿が出土した。

溝 151-137・196 (第15・16図) 151-137は幅1.8 m・深さ0.24 mで、北端はTR1内で消失し、南端は151-106・134に切られる。下層の151-196は南側がやや西に振れる。151-196の出土遺物は

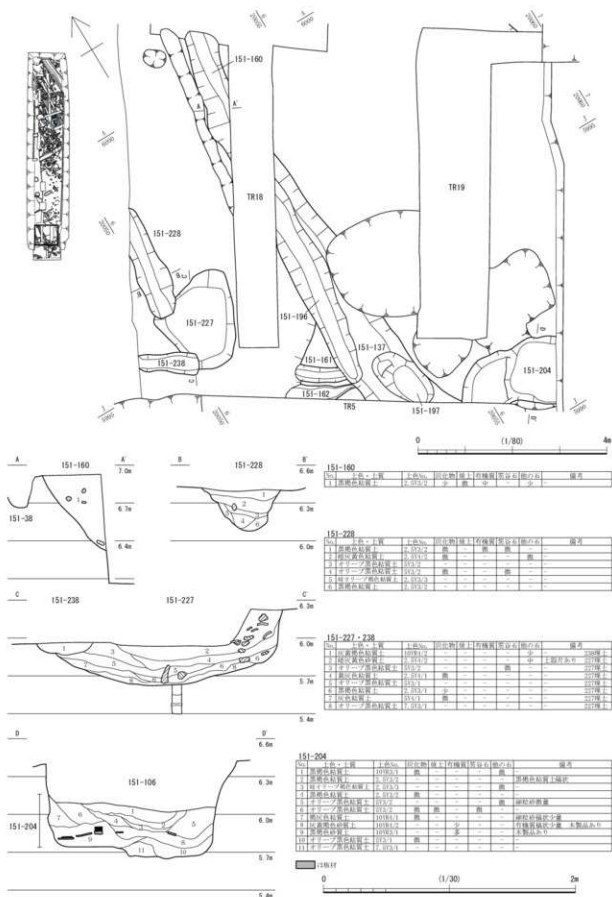


151-108セクション下部(北から)



No.	名称・土質	層高	所在物	出土	特徴	調査
1	151-107・108					
1	151-107・108	1.00	土	少		
2	151-107・108	1.00	土	少		
3	151-107・108	1.00	土	少		
4	151-107・108	1.00	土	少		
5	151-107・108	1.00	土	少		
6	151-107・108	1.00	土	少		
7	151-107・108	1.00	土	少		
8	151-107・108	1.00	土	少		
9	151-107・108	1.00	土	少		
10	151-107・108	1.00	土	少		
11	151-107・108	1.00	土	少		
12	151-107・108	1.00	土	少		
13	151-107・108	1.00	土	少		
14	151-107・108	1.00	土	少		
15	151-107・108	1.00	土	少		
16	151-107・108	1.00	土	少		
17	151-107・108	1.00	土	少		
18	151-107・108	1.00	土	少		
19	151-107・108	1.00	土	少		
20	151-107・108	1.00	土	少		
21	151-107・108	1.00	土	少		
22	151-107・108	1.00	土	少		
23	151-107・108	1.00	土	少		
24	151-107・108	1.00	土	少		
25	151-107・108	1.00	土	少		
26	151-107・108	1.00	土	少		
27	151-107・108	1.00	土	少		
28	151-107・108	1.00	土	少		
29	151-107・108	1.00	土	少		
30	151-107・108	1.00	土	少		
31	151-107・108	1.00	土	少		
32	151-107・108	1.00	土	少		
33	151-107・108	1.00	土	少		
34	151-107・108	1.00	土	少		
35	151-107・108	1.00	土	少		

第14図 屋敷地A-1 151-107 (縮尺1/40)



151-160

No.	名称・土質	土層No.	所在物	層上の有様	厚さ(約)	備考
1	遺構表層土	10193/1	敷	-	-	敷

151-228

No.	名称・土質	土層No.	所在物	層上の有様	厚さ(約)	備考
1	遺構表層土	10193/2	敷	-	-	敷
2	土層No.17-19	10193/3	敷	-	-	敷
3	土層No.17-19	10193/2	敷	-	-	敷
4	土層No.17-19	10193/3	敷	-	-	敷
5	遺構表層土	10193/2	敷	-	-	敷

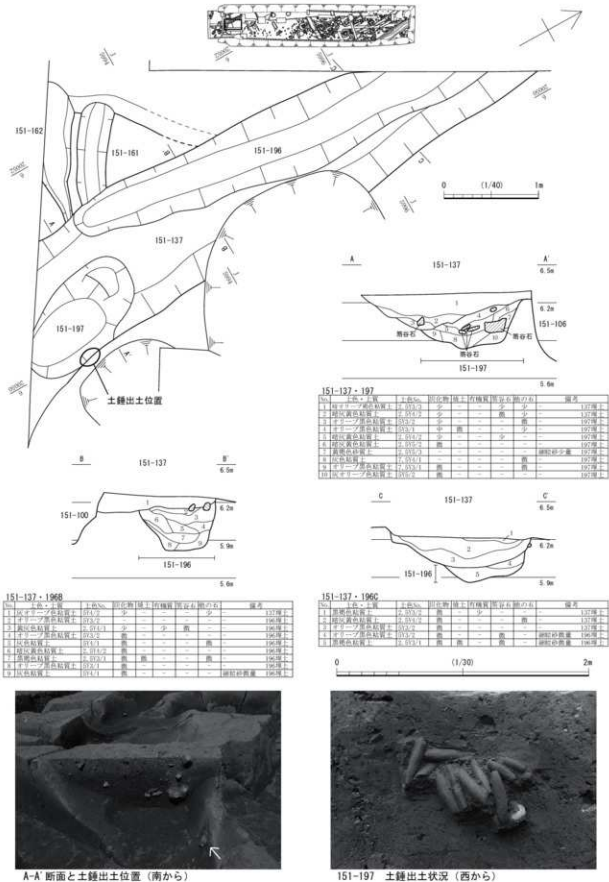
151-227・228

No.	名称・土質	土層No.	所在物	層上の有様	厚さ(約)	備考
1	遺構表層土	10193/2	敷	-	-	敷
2	土層No.17-19	10193/3	敷	-	-	敷
3	土層No.17-19	10193/2	敷	-	-	敷
4	遺構表層土	10193/1	敷	-	-	敷
5	土層No.17-19	10193/3	敷	-	-	敷
6	遺構表層土	10193/1	敷	-	-	敷
7	遺構表層土	10193/1	敷	-	-	敷
8	土層No.17-19	10193/3	敷	-	-	敷

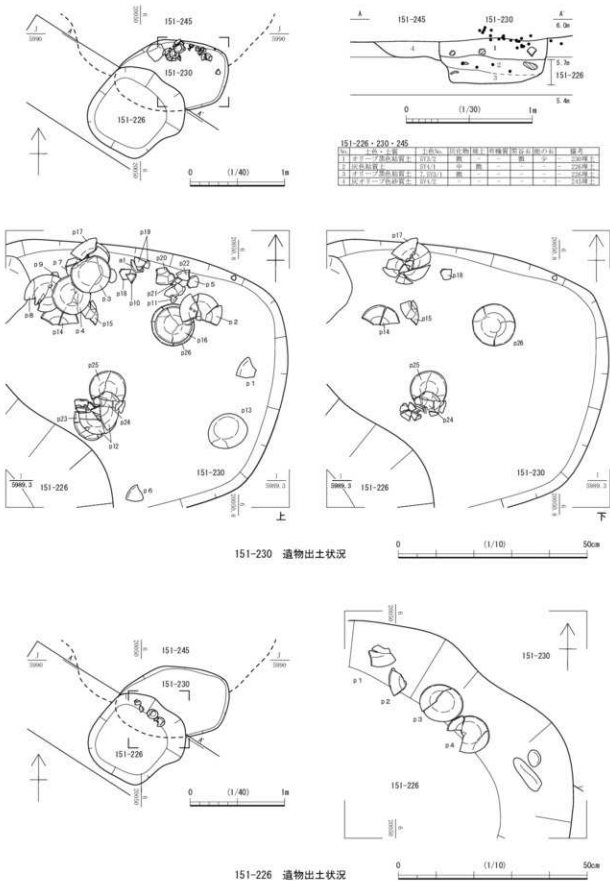
151-204

No.	名称・土質	土層No.	所在物	層上の有様	厚さ(約)	備考
1	遺構表層土	10193/1	敷	-	-	敷
2	土層No.17-19	10193/3	敷	-	-	敷
3	土層No.17-19	10193/2	敷	-	-	敷
4	遺構表層土	10193/1	敷	-	-	敷
5	土層No.17-19	10193/3	敷	-	-	敷
6	遺構表層土	10193/1	敷	-	-	敷
7	遺構表層土	10193/1	敷	-	-	敷
8	土層No.17-19	10193/3	敷	-	-	敷
9	遺構表層土	10193/1	敷	-	-	敷
10	土層No.17-19	10193/3	敷	-	-	敷
11	土層No.17-19	10193/2	敷	-	-	敷

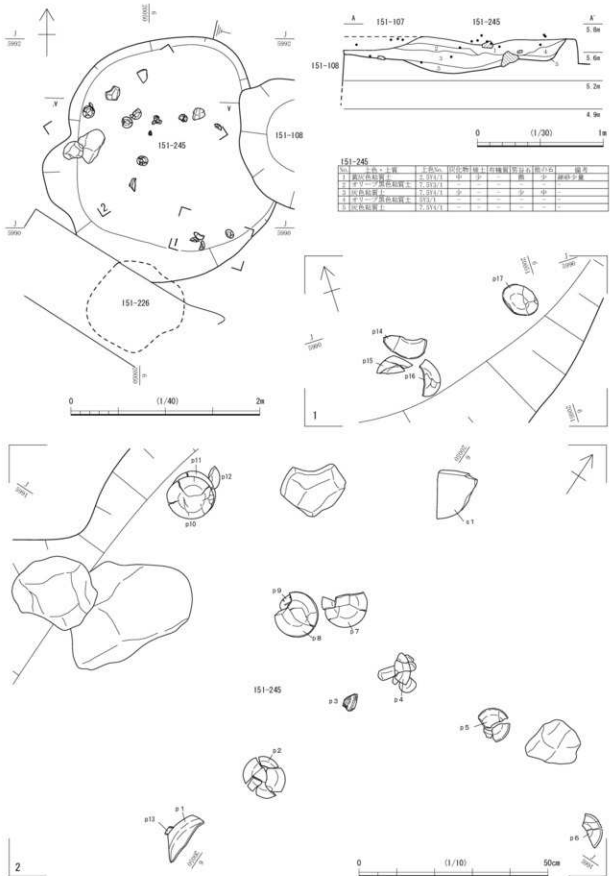
第15図 屋敷地A-1 151-160・204・227・228・238 (縮尺1/80・1/30)



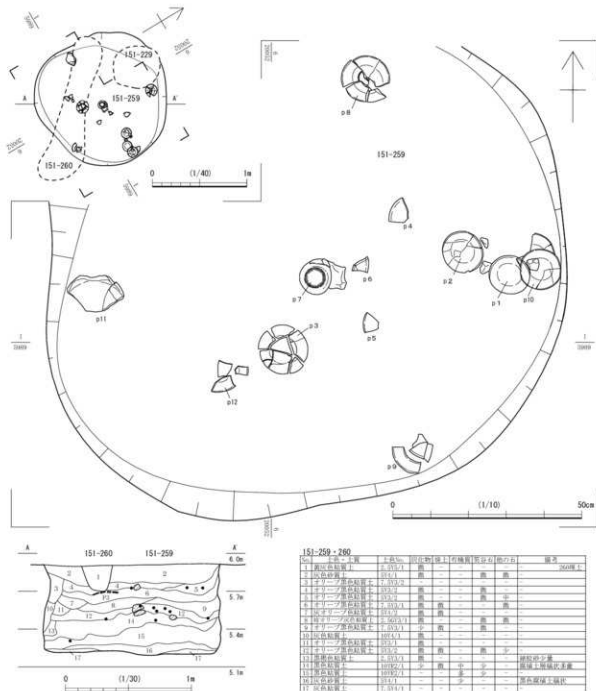
第16図 屋敷地A-1 2 面目 151-137・196・197 (縮尺1/40・1/30)



第17図 屋敷地A-1 2面目 151-226・230・245 (縮尺1/40・1/30・1/10)



第18図 屋敷地A-1 2面目 151-245 (縮尺1/40・1/30・1/10)



第19図 屋敷地A-1 2面目 151-259 (縮尺1/40・1/10・1/30)

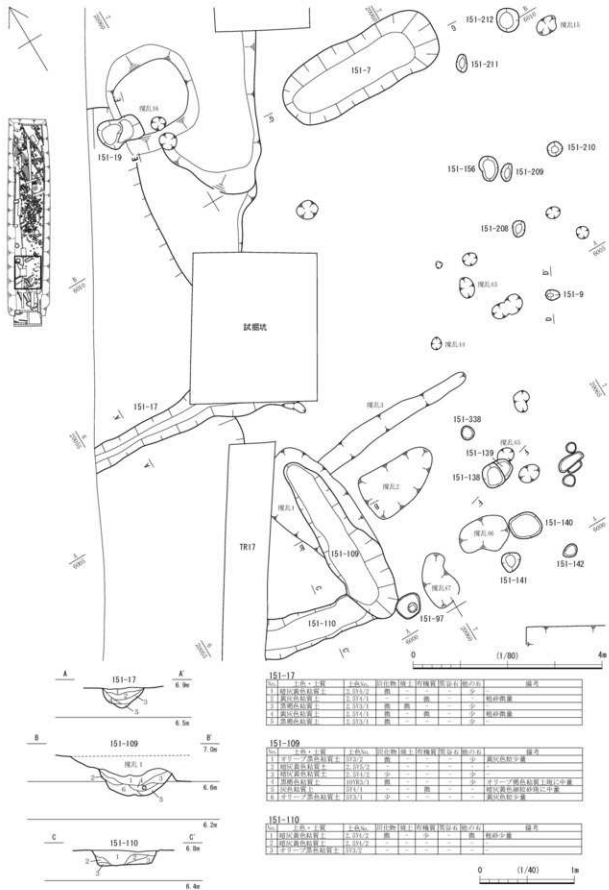
17世紀が中心だが、151-137の出土遺物は18世紀中頃以降となる。

溝 151-228 (第15図) 151-227に切られる。溝 151-137・196と同様、屋敷地割りに平行しており、屋敷地区画に関わる可能性がある。

土坑 151-92 (第9・10図) 151-100に切られる。残存長3.7m・幅1.18m・深さ0.15mである。陶磁器片のほか、灯明受皿が出土した。遺物の時期は18世紀後半に属する。

土坑 151-109 (第20図) 長径3.84m・幅1.16m・深さ0.22mの長楕円形であり、溝 151-110を切る。18世紀後半以降の越前焼片、陶磁器片が出土している。

第1節 FKJ15-1調査区の遺構

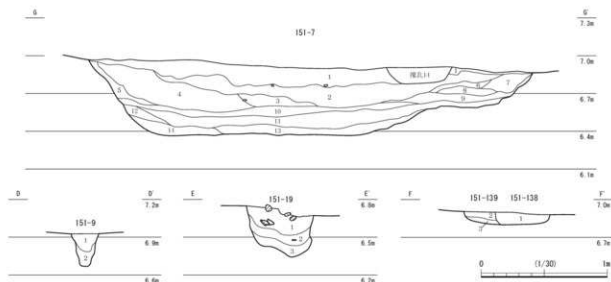


第20図 屋敷地A-1・2境付近の遺構① 151-17・109・110 (縮尺1/80・1/40)

No.	名称・位置	土層No.	所在数(個)	面積(㎡)	石積層の有無(あり)	備考
1	堀込溝状遺構	2-312-2	掘	-	-	少
2	堀込溝状遺構	2-312-3	掘	-	-	少
3	堀込溝状遺構	2-312-4	掘	-	-	少
4	堀込溝状遺構	2-312-5	掘	-	-	少
5	堀込溝状遺構	2-312-6	掘	-	-	少

No.	名称・位置	土層No.	所在数(個)	面積(㎡)	石積層の有無(あり)	備考
1	1号一ツ溝状遺構	10191-2	掘	-	-	少
2	堀込溝状遺構	2-312-2	掘	-	-	少
3	堀込溝状遺構	2-312-3	掘	-	-	少
4	堀込溝状遺構	10191-3	掘	-	-	少
5	堀込溝状遺構	10191-4	掘	-	-	少
6	1号一ツ溝状遺構	10191-5	掘	-	-	少
7	1号一ツ溝状遺構	10191-6	掘	-	-	少

No.	名称・位置	土層No.	所在数(個)	面積(㎡)	石積層の有無(あり)	備考
1	堀込溝状遺構	2-312-2	掘	-	-	少
2	堀込溝状遺構	2-312-3	掘	-	-	少
3	1号一ツ溝状遺構	10191-2	掘	-	-	少



151-7							151-9						
No.	名称・土層	上高	図作物種	土質	層厚	備考	No.	名称・土層	上高	図作物種	土質	層厚	備考
1	掘削面	7.01(2)	少	黄	-	掘削面、硬質粘土	1	掘削面	6.91(1)	黄	-	-	掘削面
2	151-7・9の粘質土	7.01(2)	黄	-	黄	真鍮色粘質土層に準ず	2	掘削面	6.91(1)	黄	-	-	掘削面
3	掘削面	6.91(1)	黄	-	黄	-	3	掘削面	6.91(1)	黄	-	-	掘削面
4	151-7・9の粘質土	6.91(1)	黄	-	黄	-	4	151-9の粘質土	6.91(1)	黄	-	-	掘削面
5	掘削面	6.81(1)	黄	-	黄	真鍮色粘質土層に準ず	5	掘削面	6.81(1)	黄	-	-	掘削面
6	掘削面	6.71(1)	少	黄	-	硬砂	6	掘削面	6.71(1)	少	黄	-	掘削面
7	掘削面	6.61(1)	少	黄	-	硬砂	7	掘削面	6.61(1)	少	黄	-	掘削面
8	掘削面	6.51(1)	黄	-	黄	硬砂	8	掘削面	6.51(1)	黄	-	-	掘削面
9	151-7の粘質土	6.51(1)	少	黄	-	硬砂	9	掘削面	6.51(1)	少	黄	-	掘削面
10	掘削面	6.41(1)	-	-	黄	砂少量	10	掘削面	6.41(1)	-	-	-	掘削面
11	掘削面	6.31(1)	少	黄	-	-	11	掘削面	6.31(1)	少	黄	-	-
12	掘削面	6.21(1)	少	黄	-	-	12	掘削面	6.21(1)	少	黄	-	-
13	掘削面	6.11(1)	黄	-	黄	-	13	掘削面	6.11(1)	黄	-	-	-



151-7 10層上面（北から）



151-7 完備状況（北から）

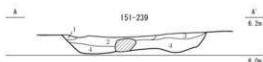
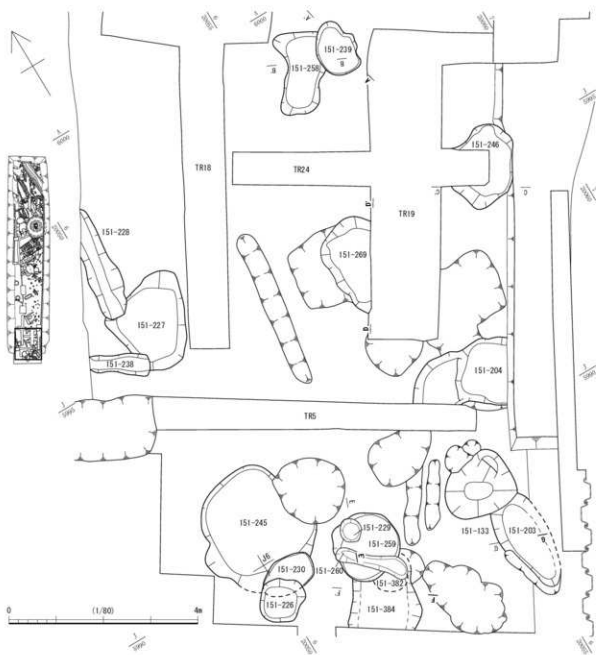
第21図 屋敷地A-1・2境付近の遺構② 151-7・9・19・138・139（縮尺1/30）

土坑 151-134（第 11 図） 151-143 と TR5 に切られる。長径 1.6 m ・ 短径 1.2 m ・ 深さ 0.6 m で、18 世紀以降の土器が出土した。

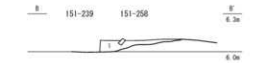
土坑 151-197（第 15 ・ 16 図） 溝 151-137 の下層で検出した。18 世紀中頃までの土器のほか、笄谷石が多く、土錘、土人形も出土した。出土遺物の時期は 18 世紀中頃以降になる。

この屋敷地は 18 世紀後葉頃に大きく改変されており、1 ～ 3 面の遺構 ・ 遺物が混在する。この屋敷地 A-1 の改変に伴う整地土は、大きく 5 層に分けられる（第 24 ・ 25 図）。そのうち、18 世紀の改変後とみられるのが上層の整地土 1 ～ 3 である。これらは、最初とくに窪んだ部分に整地土 3 を、次にそれらを覆うように整地土 2 を施し、最終的に溝 151-17 ・ 110 の間あたりから南端までの屋敷地内を整地土 1 にて広範囲に覆うように造成した、と推れる。整地土内にみられる遺構 ・ 遺物はおもに 18 世紀後葉以降のものであるが、時期的にさかのぼるものも混入する。整地土 4 は 17 世紀後半頃の遺物

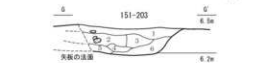
第1節 FKJ15-1調査区の遺構



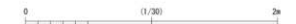
No.	土物・土層	土物No.	田代物	土	石積層	瓦葺合	板石合	備考
1	掘削面	151-239	土	-	-	-	-	-
2	掘削面	151-239	土	-	-	-	-	-
3	掘削面	151-239	土	-	-	-	-	-
4	掘削面	151-239	土	-	-	-	-	掘削面は、151-239



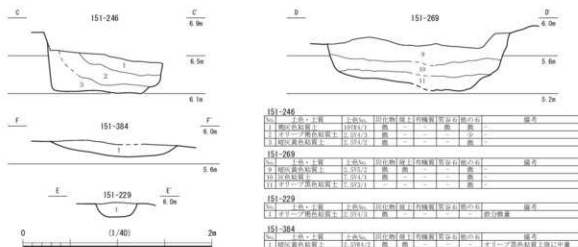
No.	土物・土層	土物No.	田代物	土	石積層	瓦葺合	板石合	備考
1	掘削面	151-239	土	-	-	-	-	-



No.	土物・土層	土物No.	田代物	土	石積層	瓦葺合	板石合	備考
1	掘削面	151-239	土	-	-	-	-	-
2	掘削面	151-239	土	-	-	-	-	-
3	掘削面	151-239	土	-	-	-	-	-
4	掘削面	151-239	土	-	-	-	-	-
5	掘削面	151-239	土	-	-	-	-	-
6	掘削面	151-239	土	-	-	-	-	-



第22図 屋敷地A-1 3面目① 151-239・258 (縮尺1/80・1/30)



第23図 屋敷地A-1① 3面目② 151-203・229・246・269・384 (縮尺1/40)

が含まれており、整地土5上面の土坑151-245からも同様な時期の遺物が出土したことから、どちらも上層の整地土1～3よりも古い段階になされた盛土と考えられ、整地土5については築城時の盛土の可能性がある。

また、福井城以前の環境を確認するため、下層確認トレンチを4箇所を設置した(第26図)。それによると、下層確認TR1の6層、TR2の6～8層でラミナ構造が認められ、流水下で堆積が進んだとみられる。また、下層確認TR1の3～5層は粘土層と砂質土層が交互に堆積しており、流水が激しい環境と緩やかな環境が繰り返されたことが窺える。

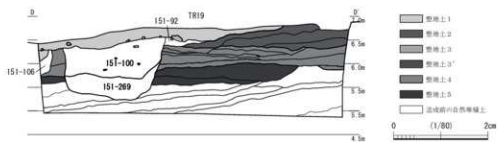
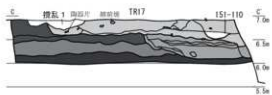
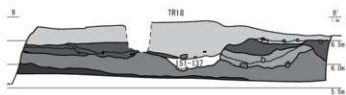
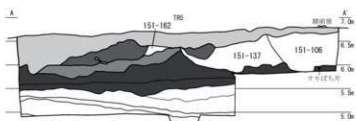
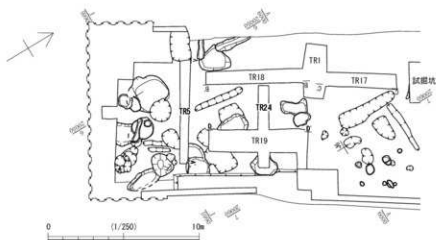
2) 屋敷地A-2(第3・6図)

屋敷地A-2・3の境を示すとみられる土坑151-50・80・159・164～166・190・231・240や溝151-112、井戸151-3、南側の屋敷境に沿う方向に延びる土坑151-7等の遺構がある。しかし、残存状況が悪く、屋敷地や建物の構造等の詳細を把握するまでには至らない。

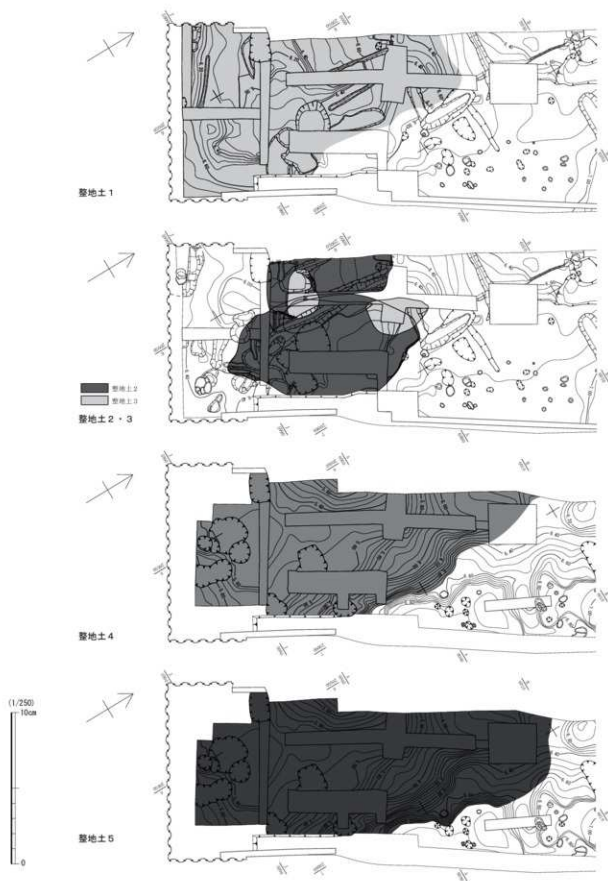
溝151-112(第21図) 17世紀前葉の屋敷境を示すとみられる。検出長11m・幅約2m・深さ0.8mである。東側は道路と交差する位置関係にあるが、埋土中に砂粒の混入が認められないことから、道路敷設時には既に埋められていたようである。なお、この溝そのものが屋敷地の区画をなすのではなく、区画設備に関連した遺構、あるいは屋敷地割り付け時の遺構と考えられる。

17世紀中葉以降の屋敷地境は、北へ移動して上記の土坑付近となることが、隣接する高架側道5号線の調査により確認された土堀基礎の延長上にあたることから窺える。この調査区では同様な石組基礎は確認されないものの、上記の土坑列やそれに並行する土坑151-51～53・68・70等(第29図)が、その基礎に関わる痕跡の可能性が有る。屋敷地境が比較的大きく移動するため、新旧の屋敷地境の間にある多数の遺構は、新(屋敷地A-2)旧(屋敷地A-3)の遺構が混在する。ただし、出土遺物によると、新たな屋敷地A-2の遺構が大半を占めるようである。このほか、道路に沿って並ぶ151-213・202は堀等の区画設備の痕跡と考えられ、それに並行する151-29・35・215等は区画設備の内側に沿って並ぶ土坑群とみられる(第29図)。

井戸151-3(第27図) 笏谷石の粗割石による石組井戸であり、下層に桶側2段分を確認した。検出面から5.5mの深さまで検出して図化したが、出水のためこれ以下は確認できなかった。石組は内径約0.75mで3m以上の高さが残るが、その上層は廃絶時に検出面から1.5mの深さまで掘削され、石

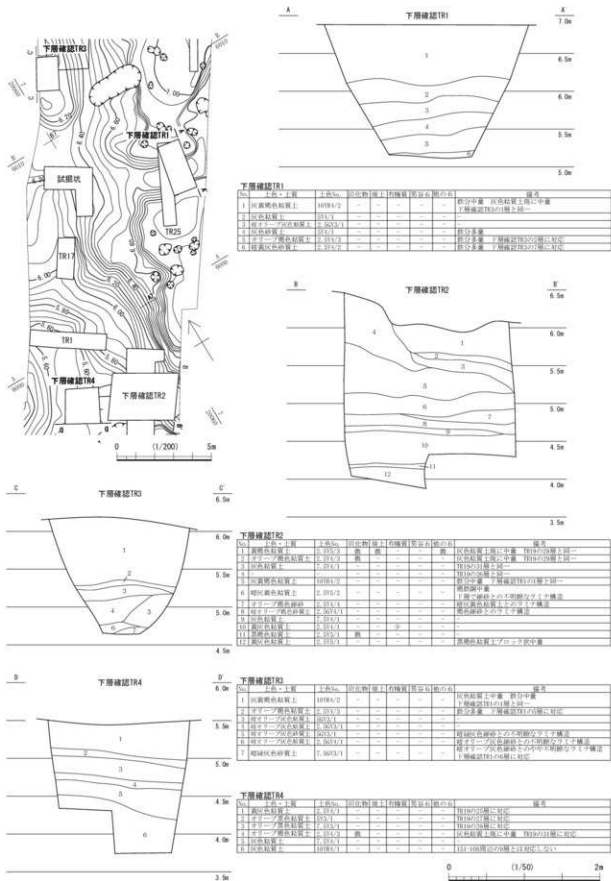


第24図 屋敷地A-1 整地土 (縮尺1/250・1/80)

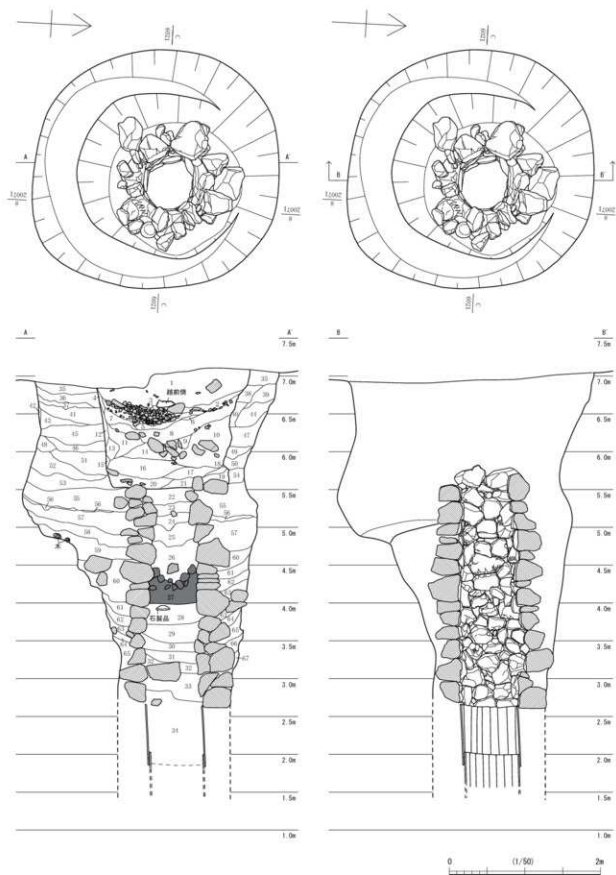


第25図 屋敷地A-1 整地土変遷 (縮尺1/250)

第1節 FKJ15-1調査区の遺構



第26図 屋敷地A-1 下層層序 (縮尺1/200・1/50)



第27図 屋敷地A-2 1面目 151-3 (縮尺1/50)

15]-3

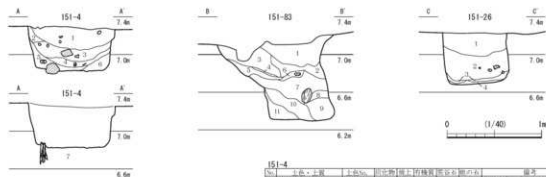
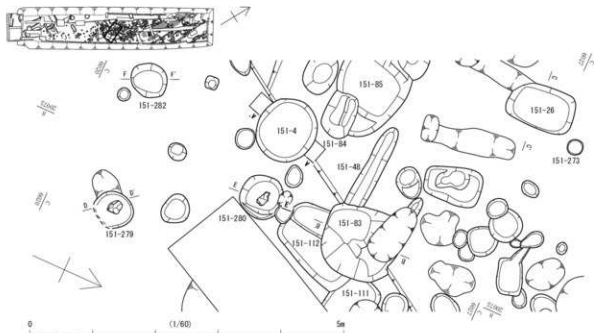
15]-1	土坑・1層	土底高	掘削面積	土質	埋込物	調査品	備考
15]-1	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-2	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-3	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-4	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-5	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-6	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-7	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-8	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-9	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-10	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-11	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-12	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-13	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-14	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-15	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-16	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-17	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-18	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-19	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-20	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-21	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-22	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-23	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-24	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-25	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-26	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-27	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-28	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-29	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-30	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-31	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-32	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-33	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-34	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-35	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-36	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-37	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-38	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-39	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-40	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-41	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-42	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-43	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-44	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-45	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-46	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-47	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-48	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-49	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-50	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-51	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-52	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-53	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-54	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-55	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-56	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-57	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-58	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-59	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-60	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-61	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-62	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-63	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-64	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-65	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-66	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-67	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-68	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-69	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
15]-70	土坑	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

材が抜かれている。石組下層の桶側は、上段が径約0.75m・高さ0.8mであり、下段が0.4m以上続くのを確認した。おそらく同規模の桶側だとみられるが、何段組まれたかは不明である。掘り方は検出面では方形に近い歪な円形で、径3.2m前後である。掘り方内南側の検出面から約2mの深さのところに、構築時の作業足場跡とみられる、幅0.5m前後の三日月形の平坦面が削り出されている。それ以下では掘り方が窄まり、下層では径1.5m程となる。

土坑151-7(第20・21図) 長辺3.5m、短辺1.2mの長楕円形で、深さ約0.6mである。屋敷地A-2南端に近い位置で、屋敷境と平行して東西に延びる。埋土の10層上面に直径2cm前後の円礫が全面に堆積していた。小規模な苑池内に州浜の砂利が転落した可能性もあるが、他に苑池に関連する遺構が検出されず、用途は不明である。17世紀に属する土師質皿、陶磁器が出土した。

土坑151-4(第28図) 長径約1m・短径0.85mの円形で、深さ0.46mである。底面に竹材が差し込まれていた。井戸廃絶の儀礼的痕跡に類似するが、井戸にしては浅く、性格は不明である。

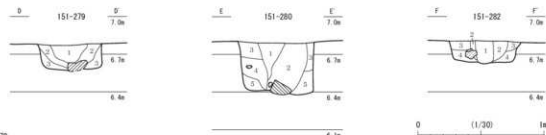
土坑151-26(第28図) 検出面で約1m×0.7mの長方形で、深さ0.55mである。埋土の3・4層より食用になる植物の種子が多量に出土した(第2分冊第6章自然科学分析参照)。また寄生虫卵が多く検出され、排泄物が混入していることが考えられ、肥溜めか便所遺構の可能性もある。しかし、この土坑の周囲は遺構がやや少なくなり、建物や囲い等の構造物を形成する遺構は不明瞭である。出土



No.	土名・土層	土色	土質	埋込物	柱	構	瓦	瓦葺	瓦葺部	瓦葺部	備考
1	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
2	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
3	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
4	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
5	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
6	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
7	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
8	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
9	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
10	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
11	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物

No.	土名・土層	土色	土質	埋込物	柱	構	瓦	瓦葺	瓦葺部	瓦葺部	備考
1	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
2	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
3	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
4	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
5	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
6	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
7	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物

No.	土名・土層	土色	土質	埋込物	柱	構	瓦	瓦葺	瓦葺部	瓦葺部	備考
1	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
2	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
3	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
4	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物

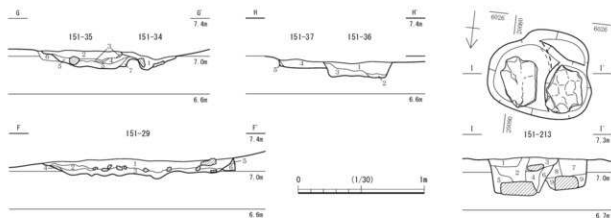


No.	土名・土層	土色	土質	埋込物	柱	構	瓦	瓦葺	瓦葺部	瓦葺部	備考
1	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
2	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
3	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物

No.	土名・土層	土色	土質	埋込物	柱	構	瓦	瓦葺	瓦葺部	瓦葺部	備考
1	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
2	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
3	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物

No.	土名・土層	土色	土質	埋込物	柱	構	瓦	瓦葺	瓦葺部	瓦葺部	備考
1	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
2	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物
3	埋込物	黄褐色粘土	粘	少	-	-	-	-	-	-	埋込物

第28図 屋敷地A-2 1面目 151-4・26・83・279・280・282 (縮尺1/60・1/40・1/30)



151-29

No.	土質・土層	土層%	凹凸物	壁土	石積層	瓦葺面の有	備考
1	埋戻土	100%	少	無	無	少	
2	埋戻土	100%	少	無	無	少	
3	埋戻土	100%	少	無	無	少	
4	埋戻土	100%	少	無	無	少	
5	埋戻土	100%	少	無	無	少	
6	埋戻土	100%	少	無	無	少	

151-36・37

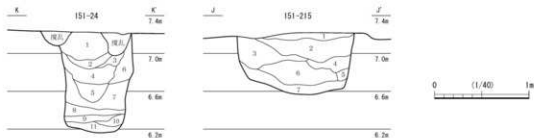
No.	土質・土層	土層%	凹凸物	壁土	石積層	瓦葺面の有	備考
1	埋戻土	100%	少	無	無	少	
2	埋戻土	100%	少	無	無	少	
3	埋戻土	100%	少	無	無	少	
4	埋戻土	100%	少	無	無	少	
5	埋戻土	100%	少	無	無	少	
6	埋戻土	100%	少	無	無	少	

151-34・35

No.	土質・土層	土層%	凹凸物	壁土	石積層	瓦葺面の有	備考
1	埋戻土	100%	少	無	無	少	
2	埋戻土	100%	少	無	無	少	
3	埋戻土	100%	少	無	無	少	
4	埋戻土	100%	少	無	無	少	
5	埋戻土	100%	少	無	無	少	
6	埋戻土	100%	少	無	無	少	

151-213

No.	土質・土層	土層%	凹凸物	壁土	石積層	瓦葺面の有	備考
1	埋戻土	100%	少	無	無	少	
2	埋戻土	100%	少	無	無	少	
3	埋戻土	100%	少	無	無	少	
4	埋戻土	100%	少	無	無	少	
5	埋戻土	100%	少	無	無	少	
6	埋戻土	100%	少	無	無	少	
7	埋戻土	100%	少	無	無	少	
8	埋戻土	100%	少	無	無	少	
9	埋戻土	100%	少	無	無	少	
10	埋戻土	100%	少	無	無	少	



151-24

No.	土質・土層	土層%	凹凸物	壁土	石積層	瓦葺面の有	備考
1	埋戻土	100%	少	無	無	少	
2	埋戻土	100%	少	無	無	少	
3	埋戻土	100%	少	無	無	少	
4	埋戻土	100%	少	無	無	少	
5	埋戻土	100%	少	無	無	少	
6	埋戻土	100%	少	無	無	少	
7	埋戻土	100%	少	無	無	少	
8	埋戻土	100%	少	無	無	少	
9	埋戻土	100%	少	無	無	少	
10	埋戻土	100%	少	無	無	少	
11	埋戻土	100%	少	無	無	少	

151-215

No.	土質・土層	土層%	凹凸物	壁土	石積層	瓦葺面の有	備考
1	埋戻土	100%	少	無	無	少	
2	埋戻土	100%	少	無	無	少	
3	埋戻土	100%	少	無	無	少	
4	埋戻土	100%	少	無	無	少	
5	埋戻土	100%	少	無	無	少	
6	埋戻土	100%	少	無	無	少	
7	埋戻土	100%	少	無	無	少	
8	埋戻土	100%	少	無	無	少	
9	埋戻土	100%	少	無	無	少	
10	埋戻土	100%	少	無	無	少	

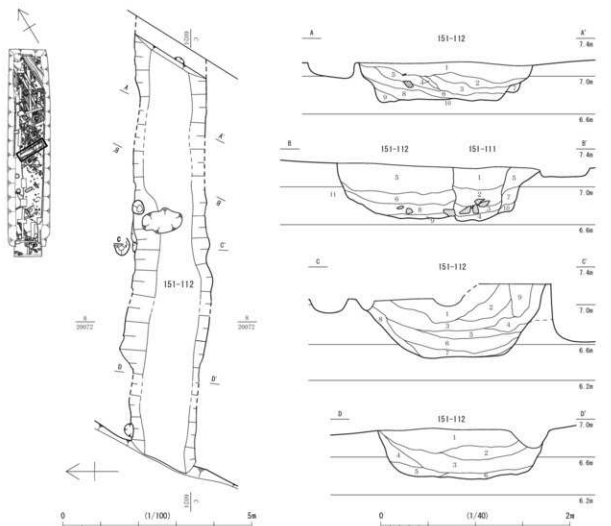
第30図 屋敷地A-2 1面目② 151-24・29・34～37・213・215 (縮尺1/30・1/40)

遺物は17世紀から18世紀後半までの時期のものがある。

柱穴151-279・280・282(第28図) 151-279～282はいずれも中央に柱材の痕跡を残す。いずれも出土遺物の時期は18世紀後半である。151-279・282は底面に角礫が設置される。それぞれの間隔は近いが、これらが同一の構造物を構成するものではないと思われる。

柱穴151-213(第29・30図) 151-213は、1辺約30cmの礎石とみられる角礫が2点確認され、埋土に重複が認められるため、柱を設置し直したことが考えられる。出土遺物の時期は18世紀後半である。これと151-220、それらの間の柱穴が約1.6m間隔で、砂利敷き舗装の線に沿うように直線的に並ぶ。そのため、塀等の区画設備を構成した可能性が高い。

柱穴151-24・25・47・70・76(第29・30図) これらは径0.6～0.8mの歪な円形で、砂利敷道路と



151-112a

階層	名称・土層	土色	所在物(柱土)	有機質(炭素)の割合	備考
1	子アーク層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
2	段層粘質土	10B(1/2)	無	無	部分層に少量 土層にあり
3	11-12層有機粘質土	10B(1/2)	無	無	部分層に少量
4	段層粘質土	10B(1/2)	無	無	部分層に少量
5	段層粘質土	2B(1/2)	無	無	部分層に少量
6	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
7	段層粘質土	10B(1/2)	無	無	部分層に少量
8	段層粘質土	10B(1/2)	無	無	部分層に少量
9	段層粘質土	10B(1/2)	無	無	部分層に少量
10	子アーク層粘質土	11(1/2)	無	無	部分層に少量
11	11-12層有機粘質土	10B(1/2)	少	少	部分層に少量 土層にあり

151-112b

階層	名称・土層	土色	所在物(柱土)	有機質(炭素)の割合	備考
1	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
2	段層粘質土	2B(1/2)	無	無	部分層に少量
3	段層粘質土	2B(1/2)	無	無	部分層に少量
4	子アーク層粘質土	10B(1/2)	無	無	部分層に少量 土層にあり
5	11-12層有機粘質土	10B(1/2)	無	無	部分層に少量 段層粘質土上層
6	段層粘質土	11(1/2)	少	少	部分層に少量
7	段層粘質土	10B(1/2)	少	少	部分層に少量
8	段層粘質土	10B(1/2)	少	少	部分層に少量
9	子アーク層粘質土	11(1/2)	無	無	部分層に少量
10	段層粘質土	11(1/2)	少	少	部分層に少量
11	11-12層有機粘質土	10B(1/2)	少	少	部分層に少量 土層にあり

151-112c

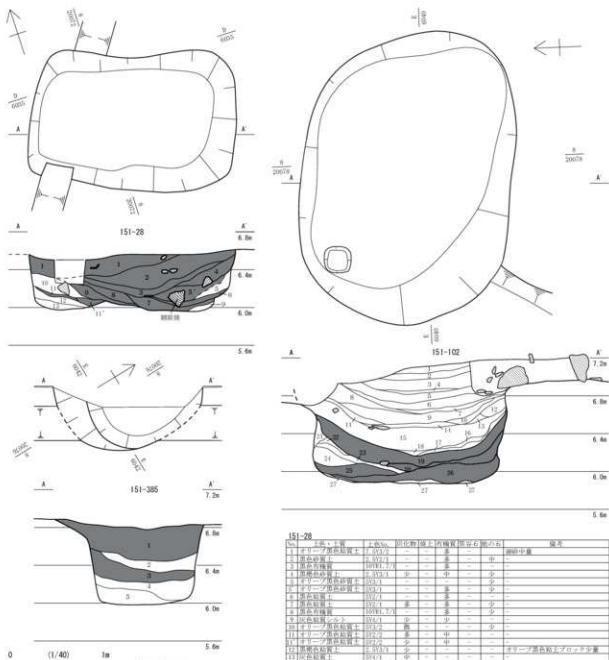
階層	名称・土層	土色	所在物(柱土)	有機質(炭素)の割合	備考
1	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
2	子アーク層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
3	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
4	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
5	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
6	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
7	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
8	段層粘質土	10B(1/2)	少	少	部分層に少量
9	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量

151-112d

階層	名称・土層	土色	所在物(柱土)	有機質(炭素)の割合	備考
1	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
2	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
3	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
4	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
5	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
6	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
7	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
8	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量
9	段層粘質土	2B(1/2)	少	少	部分層に少量

第31図 屋敷地A-2・3 2面目 151-112 (縮尺1/40・1/100)

平行に直線的に延びる柱穴列をなす。151-24以外の深さは検出面から0.5～0.6mであるが、151-24の深さは1mを超える。しかし、151-24は検出面から0.5m程に掘り方の食い違いや土層の変化が認められ、下層の遺構と重なって深くなったものの、本来は同様な深さだったと考えられる。また、これらの間隔はそれぞれ概ね1間である。この柱穴列の南にTR10があるが、その先の延長上に151-279が位置する。北端の151-70から南端の151-279までは約13mであり、TR10で2つの柱穴が失われたものの、等間隔で並んでいたことが想定される。この柱穴列がどのような構造物を構成したかは不明である。

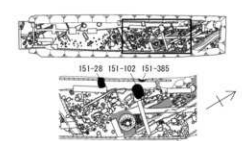


151-385

層	名称・土質	上部No.	厚さ	所在	調査	調査方法	調査時期	調査者
1	砂利・土質	151-385-1	0.5	中	○	少	○	○
2	砂利・土質	151-385-2	0.5	中	○	少	○	○
3	砂利・土質	151-385-3	0.5	中	○	少	○	○
4	砂利・土質	151-385-4	0.5	中	○	少	○	○
5	砂利・土質	151-385-5	0.5	中	○	少	○	○

151-102

層	名称・土質	上部No.	厚さ	所在	調査	調査方法	調査時期	調査者
1	砂利・土質	151-102-1	0.5	中	○	少	○	○
2	砂利・土質	151-102-2	0.5	中	○	少	○	○
3	砂利・土質	151-102-3	0.5	中	○	少	○	○
4	砂利・土質	151-102-4	0.5	中	○	少	○	○
5	砂利・土質	151-102-5	0.5	中	○	少	○	○



層	名称・土質	上部No.	厚さ	所在	調査	調査方法	調査時期	調査者
1	砂利・土質	151-102-1	0.5	中	○	少	○	○
2	砂利・土質	151-102-2	0.5	中	○	少	○	○
3	砂利・土質	151-102-3	0.5	中	○	少	○	○
4	砂利・土質	151-102-4	0.5	中	○	少	○	○
5	砂利・土質	151-102-5	0.5	中	○	少	○	○
6	砂利・土質	151-102-6	0.5	中	○	少	○	○
7	砂利・土質	151-102-7	0.5	中	○	少	○	○
8	砂利・土質	151-102-8	0.5	中	○	少	○	○
9	砂利・土質	151-102-9	0.5	中	○	少	○	○
10	砂利・土質	151-102-10	0.5	中	○	少	○	○
11	砂利・土質	151-102-11	0.5	中	○	少	○	○
12	砂利・土質	151-102-12	0.5	中	○	少	○	○
13	砂利・土質	151-102-13	0.5	中	○	少	○	○
14	砂利・土質	151-102-14	0.5	中	○	少	○	○
15	砂利・土質	151-102-15	0.5	中	○	少	○	○
16	砂利・土質	151-102-16	0.5	中	○	少	○	○
17	砂利・土質	151-102-17	0.5	中	○	少	○	○
18	砂利・土質	151-102-18	0.5	中	○	少	○	○
19	砂利・土質	151-102-19	0.5	中	○	少	○	○
20	砂利・土質	151-102-20	0.5	中	○	少	○	○
21	砂利・土質	151-102-21	0.5	中	○	少	○	○
22	砂利・土質	151-102-22	0.5	中	○	少	○	○
23	砂利・土質	151-102-23	0.5	中	○	少	○	○
24	砂利・土質	151-102-24	0.5	中	○	少	○	○
25	砂利・土質	151-102-25	0.5	中	○	少	○	○
26	砂利・土質	151-102-26	0.5	中	○	少	○	○
27	砂利・土質	151-102-27	0.5	中	○	少	○	○
28	砂利・土質	151-102-28	0.5	中	○	少	○	○
29	砂利・土質	151-102-29	0.5	中	○	少	○	○
30	砂利・土質	151-102-30	0.5	中	○	少	○	○
31	砂利・土質	151-102-31	0.5	中	○	少	○	○
32	砂利・土質	151-102-32	0.5	中	○	少	○	○
33	砂利・土質	151-102-33	0.5	中	○	少	○	○
34	砂利・土質	151-102-34	0.5	中	○	少	○	○
35	砂利・土質	151-102-35	0.5	中	○	少	○	○
36	砂利・土質	151-102-36	0.5	中	○	少	○	○
37	砂利・土質	151-102-37	0.5	中	○	少	○	○
38	砂利・土質	151-102-38	0.5	中	○	少	○	○
39	砂利・土質	151-102-39	0.5	中	○	少	○	○
40	砂利・土質	151-102-40	0.5	中	○	少	○	○
41	砂利・土質	151-102-41	0.5	中	○	少	○	○
42	砂利・土質	151-102-42	0.5	中	○	少	○	○
43	砂利・土質	151-102-43	0.5	中	○	少	○	○
44	砂利・土質	151-102-44	0.5	中	○	少	○	○
45	砂利・土質	151-102-45	0.5	中	○	少	○	○
46	砂利・土質	151-102-46	0.5	中	○	少	○	○
47	砂利・土質	151-102-47	0.5	中	○	少	○	○
48	砂利・土質	151-102-48	0.5	中	○	少	○	○
49	砂利・土質	151-102-49	0.5	中	○	少	○	○
50	砂利・土質	151-102-50	0.5	中	○	少	○	○

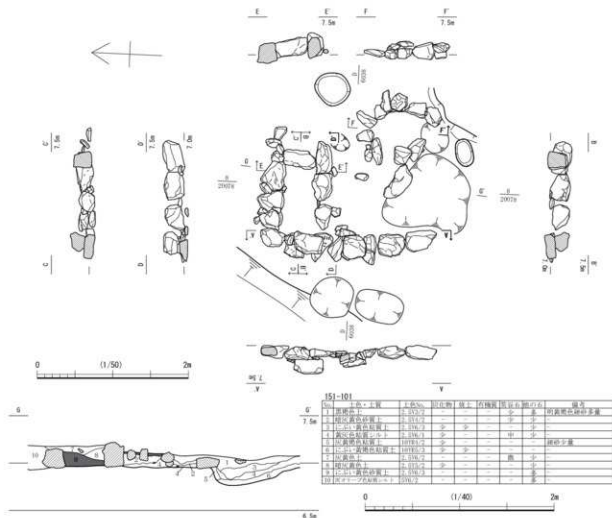
第32図 屋敷地A-2 1面目 151-28 / 屋敷地A-3 2面目 151-102・385 (縮尺1/40)

廃棄土坑 151-28 (第32図) 攪乱のために上層が0.4 m以上削平されている。検出面で2.1 m × 1.4 m前後の長方形で、深さ0.7 m分が残存する。大半が削平されており、格段大きな規模ではないが、多量の有機物を含む層が堆積していた。土壌分析の結果、他の廃棄土坑に比べ、樹木の葉が多く検出された(第2分冊第6章自然科学分析参照)。屋敷地内の樹木を剪定した葉や落ち葉を廃棄したものと考えられるが、切断痕等は確認できなかった。ほかにムラサキシキブ属等の樹木の種実が多く検出された。また、草本ではニホンカボチャの種子・ヘタ、ナス種子等が検出されており、食料残渣も同時に廃棄されていたことが分かる。遺物は越前焼の高台摺鉢、鉢、陶磁器片のほか、須恵器、土師器が出土しており、埋没時期は18世紀後半と考えられる。

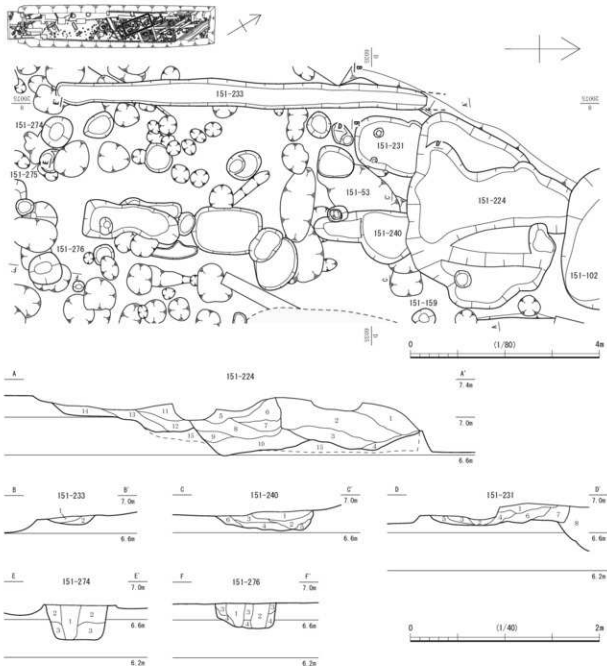
3) 屋敷地 A-3 (第3・6図)

廃棄土坑 151-102・385、土坑 151-224・231・240、溝 151-223、集石 151-101 等の遺構がある。このうち集石 151-101 以外は、下層の屋敷地 A-3 (17世紀前半代) の遺構である。

集石 151-101 (第33図) 集石としたが、削平された残欠であり、本来は石組みの溜橋のようなもので、複数が並んでいたと思われる。北側のものは内法0.65 m × 0.3 mの東西に長い長方形で、西の石材から石列が約1 m延びる。この南東に歪な円形となる石列があるが、いくつかの攪乱により石材が移動しており、元の位置を留めるものは少ないようである。なお、この集石の位置は屋敷地の隅にあたる。



第33図 屋敷地A-3 1面目 151-101 (縮尺1/50・1/40)



151-224

No.	土版・土版	土版No.	図記号	土	有積層	見出し	備考
1	基礎土版	151/1	1	土	-	-	基礎土版
2	柱穴土版	151/2	2	土	-	-	柱穴土版
3	土版	151/3	3	土	-	-	土版
4	土版	151/4	4	土	-	-	土版
5	土版	151/5	5	土	-	-	土版
6	土版	151/6	6	土	-	-	土版
7	土版	151/7	7	土	-	-	土版
8	土版	151/8	8	土	-	-	土版
9	土版	151/9	9	土	-	-	土版
10	土版	151/10	10	土	-	-	土版
11	土版	151/11	11	土	-	-	土版
12	土版	151/12	12	土	-	-	土版
13	土版	151/13	13	土	-	-	土版
14	土版	151/14	14	土	-	-	土版
15	土版	151/15	15	土	-	-	土版

151-240

No.	土版・土版	土版No.	図記号	土	有積層	見出し	備考
1	基礎土版	151/1	1	土	-	-	基礎土版
2	柱穴土版	151/2	2	土	-	-	柱穴土版
3	土版	151/3	3	土	-	-	土版
4	土版	151/4	4	土	-	-	土版
5	土版	151/5	5	土	-	-	土版
6	土版	151/6	6	土	-	-	土版

151-233

No.	土版・土版	土版No.	図記号	土	有積層	見出し	備考
1	基礎土版	151/1	1	土	-	-	基礎土版
2	柱穴土版	151/2	2	土	-	-	柱穴土版

151-231

No.	土版・土版	土版No.	図記号	土	有積層	見出し	備考
1	基礎土版	151/1	1	土	-	-	基礎土版
2	柱穴土版	151/2	2	土	-	-	柱穴土版
3	土版	151/3	3	土	-	-	土版
4	土版	151/4	4	土	-	-	土版
5	土版	151/5	5	土	-	-	土版
6	土版	151/6	6	土	-	-	土版
7	土版	151/7	7	土	-	-	土版
8	土版	151/8	8	土	-	-	土版
9	土版	151/9	9	土	-	-	土版
10	土版	151/10	10	土	-	-	土版

151-274

No.	土版・土版	土版No.	図記号	土	有積層	見出し	備考
1	基礎土版	151/1	1	土	-	-	基礎土版
2	柱穴土版	151/2	2	土	-	-	柱穴土版
3	土版	151/3	3	土	-	-	土版

151-276

No.	土版・土版	土版No.	図記号	土	有積層	見出し	備考
1	基礎土版	151/1	1	土	-	-	基礎土版
2	柱穴土版	151/2	2	土	-	-	柱穴土版
3	土版	151/3	3	土	-	-	土版
4	土版	151/4	4	土	-	-	土版
5	土版	151/5	5	土	-	-	土版
6	土版	151/6	6	土	-	-	土版

第34図 屋敷地A-3 2面目 151-224・231・240・233・274・276 (縮尺1/80・1/40)

廃棄土坑 151-102 (第32図) 151-102は、検出面で3.14m×2.2mの歪な楕円形であり、深さ1.3mである。砂質土層と有機質を多く含む粘質土層が交互に堆積しており、植物遺体が豊富であった19層と26層で花粉分析、微細遺物抽出を行なった。花粉分析はイネ属型が優先しており、種実でもイネ類が極めて多い結果となり、稲類の投棄が推測されている(第2分冊第6章自然科学分析参照)。出土遺物から埋没時期は17世紀と考えられる。なお、上層は多量の砂利や砂で埋められおり、埋没後に上層の一部を掘り込んで石組溜橋とみられる集石151-101を据えている。

廃棄土坑 151-385 (第32図) 151-385は、調査区端にてごく一部が検出された。1.5m以上の大きさで、深さ0.8m分を検出した。

以上のほか、下層の屋敷地A-3の遺構として、土坑151-224・231・240や溝151-233、土層断面に柱痕の確認される151-274・276がある(第34図)。このうち、151-224は大型の土坑が何度か重複した状態で、最終的に廃棄土坑151-102に切られている。しかし、151-102のように埋土中に有機質を顕著に含むことはなく、廃棄土坑が継続的に営まれた痕跡とは言えない。

2 道路と周辺の遺構

道路は、嵩上げしつつ複数面の砂利敷き舗装が為されたようであるが、削平のために概ねの2面分が残存するのみであり、南端の砂利敷き舗装は希薄となり途切れる(第6・35・36図)。道路は延長約30mにわたり検出したが、砂利敷き舗装が残るのは約25m分となる。道路両側には溝状遺構があるが、一続きにならず、いくつか途切れるため、排水用でなく区画を目的としたものと思われる。

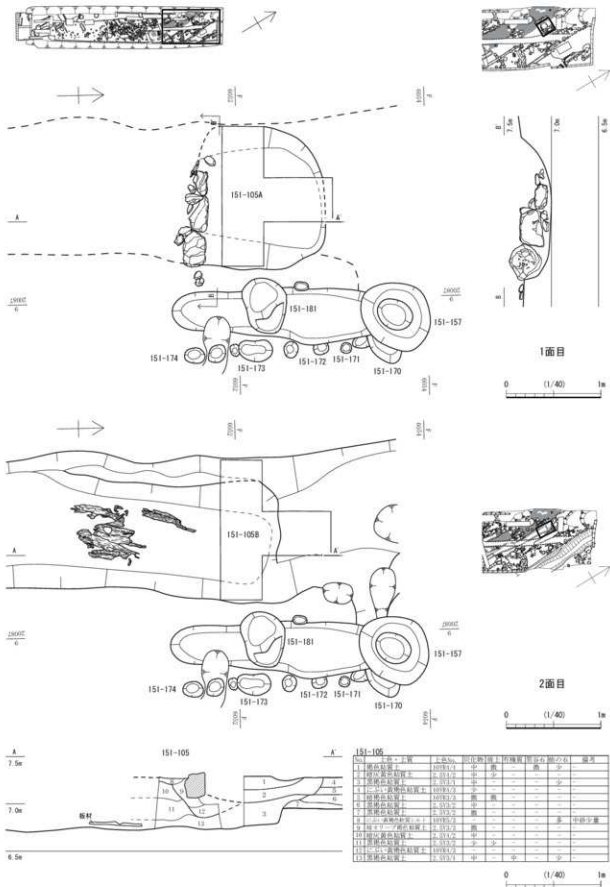
上層の側溝は、西側に溝151-1が、東側に溝151-124・167があり、両溝の間すなわち道路幅は5.5m前後となる(第6図)。溝151-124・167は、それぞれ南北へ延び調査区外へと続くが、両者間が10m程離れるため、屋敷地B-1の門の位置になることが考えられる。なお、1面目全体図(第6図)の溝151-124-167間に表示した土坑151-105Aは、遺構重複の関係上載せたもので本来は下層の遺構である。

下層の側溝は、西側に溝151-234が、東側に溝151-6・105Bがあり、道路幅は3m前後となる(第38・40・41図)。なお、溝151-105Bは、一連の溝として調査にあつたものところどころに食い違いが認められ、本来は三つの遺構が切り合っていたようであり、南端は151-6に切られることから、位置を変えつつ掘り直されたようである(第6・37・38図)。また、溝151-105B南端付近の東側に、東西に延びる溝状遺構151-195・33が接続する。これは検出時に二つの土坑と認識したものの、接続して溝状になる可能性が考えられたため、あわせて溝状遺構とした。東端は溝151-5に接続とみられるが調査区外となる。溝151-105Bに接続する西端には、笏谷石の扁平な割石を溝の底や壁面に沿うよう組んでおり、取水口のように見える。この溝状遺構151-195・33の底面は概ね平らだが、東側はほど下降する。

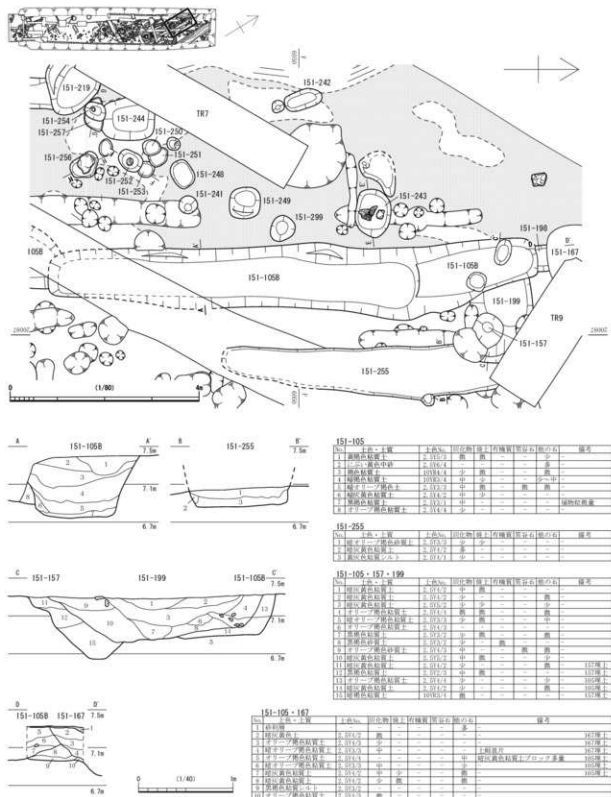
このほか、道路に重複する151-23は道路以前に存在した井戸151-265の廃絶時に石材を抜き取った痕跡である。道路敷設直前に掘り返されて埋められたものであるが、道路敷設後も何度か陥没し、修復しているようである。(第6・36・45図)。151-23の北側に並ぶ笏谷石の石列は、道路の砂利敷き舗装としては異質で性格不明であるが、井戸151-265の石材と同様な粗割石であり、陥没の補修時に掘り上げられた井戸石材を砂利敷き舗装の一部として並べた可能性がある(第36・40・41図)。

3 B街区の遺構

B街区の屋敷地は、この調査区が1軒の屋敷地内におさまる。屋敷地南の境は調査区外となるようだが、北の境はこの調査区北端か北隣の16-1-2地区内にあたることが、城下絵図に書かれた寸法から窺える。この調査区内では明確に屋敷地境となる遺構は確認されないが、溝151-187がその位置を示す

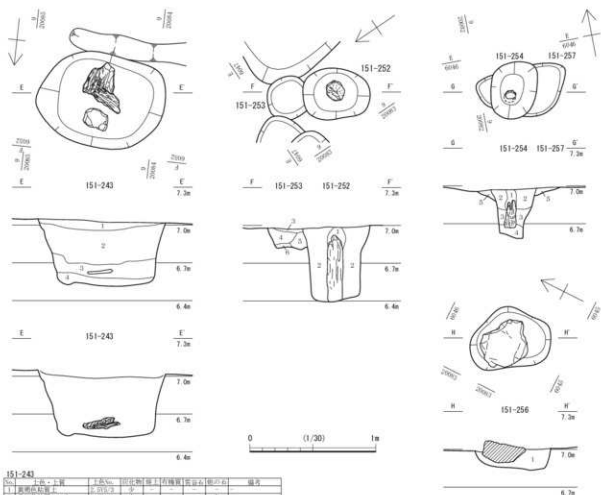


第37図 道路東側溝 151-105の変遷 (縮尺1/40)



第38図 砂利敷道路周辺の遺構① 151-105・157・199・255 (縮尺1/80・1/40)

可能性がある。溝 151-187 は延長 2.3 m・幅 1 m で、内部に小規模な土坑 151-184 ~ 186 が並ぶ(第 6 図)。このほか、道路の東側に約 6 m 離れて平行に延びる、幅約 3 m・深さ約 1 m の溝 151-5 が検出されている(第 6・44 図)。この溝は FKJ16-1 調査区へ続き(溝 161-112)、西に隣接する高架側道 5 号



151-243

No.	土層・土質	土厚%	凹作物層上	石構築	足元石部	備考
1	黄砂状粘土	10.0	少	-	-	
2	黄砂状粘土	10.0	中	-	-	
3	赤土	10.0	少	-	-	
4	硬砂状粘土	10.0	中	-	-	

151-252・253

No.	土層・土質	土厚%	凹作物層上	石構築	足元石部	備考
1	硬土層粘土	10.0	少	-	-	252層
2	硬土層粘土	10.0	少	-	-	252層
3	硬土層粘土	10.0	少	-	-	252層
4	硬土層粘土	10.0	少	-	-	252層
5	硬土層粘土	10.0	少	-	-	252層
6	硬土層粘土	10.0	少	-	-	252層

151-254・257

No.	土層・土質	土厚%	凹作物層上	石構築	足元石部	備考
1	硬土層粘土	10.0	少	-	-	254層
2	硬土層粘土	10.0	少	-	-	254層
3	硬土層粘土	10.0	少	-	-	254層
4	硬土層粘土	10.0	中	-	-	254層
5	硬土層粘土	10.0	中	-	-	254層

151-256

No.	土層・土質	土厚%	凹作物層上	石構築	足元石部	備考
1	硬土層粘土	10.0	少	-	-	256層

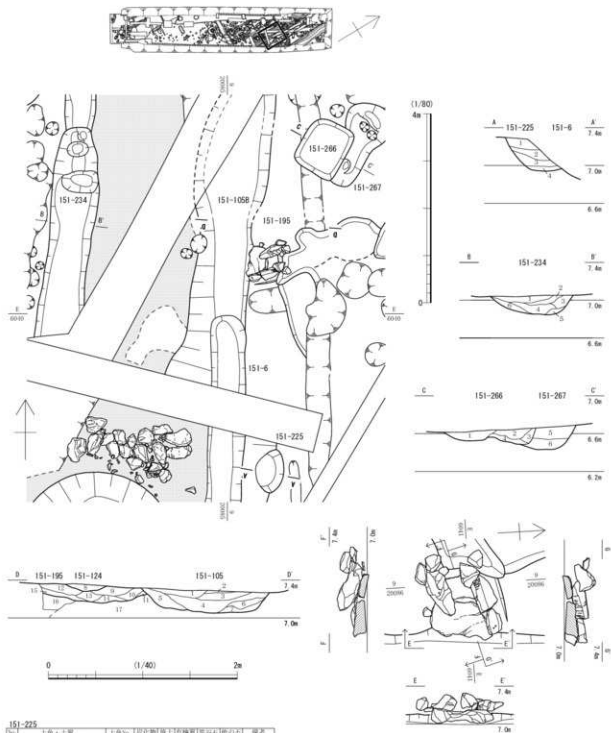
第39図 砂利敷道路周辺の遺構② 151-243・252・254・256 (縮尺1/30)

線地点でも検出されており(溝362)、少なくとも55m以上直線的に延びる。出土遺物から17世紀前半には存在し、18世紀後葉頃には埋められるようである。長期間にわたり複数の屋敷地にまたがって存在するものの、城下絵図に現れないため、性格不明の溝となっている。

屋敷地B-1は周囲を他の屋敷地に囲まれるため、出入りは西の道路側に限られる。道路東側に沿う溝151-124・167間が約10m開いており、そこが門跡となる可能性が高いが、その東側に道路と平行する溝151-5が通るため、屋敷に入るためにそれを渡る橋のような構造物が必要となる。

道路と溝151-5の間には、それらと平行に並ぶ土坑や柱穴が多数あり、いくつか列になるものの、形成される構造物は明らかにし得ない。なお、溝151-124・167の間に位置する土坑151-105Aは、内部に石列あるいは石組を伴う土坑である。平面形が歪な方形で、南片に沿って直線的に石が据えられる。この位置は屋敷地B-1の門にあたる可能性があるため、土坑151-105Aに石を据えたのは入り口部分の足元を補強するためだったことが考えられる。土坑151-105Aは1・2面目の間の時期の遺構である。

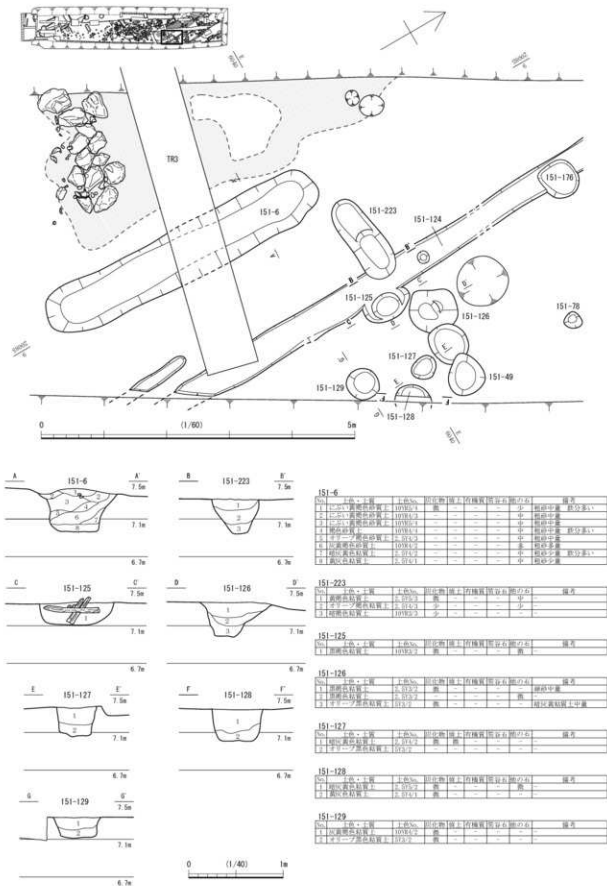
溝151-5の東側には、直角に屈曲する石列151-1・2があり(第43図)、建物の基礎に関わること



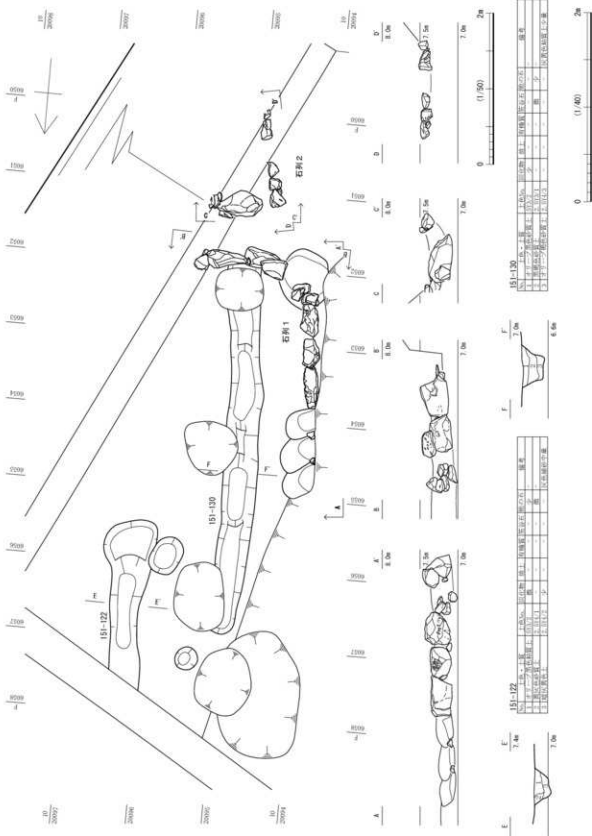
151-225						
No.	土色・土質	土色No.	図中位置	遺構層	取土点の別	層名
1	黄砂	2	17.2	-	-	中
2	黄砂粘土	3	17.2	黄	-	-
3	黄砂粘土	10183.4	-	-	-	-
4	黄砂粘土	10181.2	-	-	-	-

151-195・124・195						
No.	土色・土質	土色No.	図中位置	遺構層	取土点の別	層名
1	黄砂	2	17.2	-	-	中
2	黄砂粘土	3	17.2	黄	-	-
3	黄砂粘土	10183.4	-	-	-	-
4	黄砂粘土	10181.2	-	-	-	-
5	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
6	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
7	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
8	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
9	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
10	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
11	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
12	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
13	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
14	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
15	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
16	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
17	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
18	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
19	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-
20	黄砂粘土	10182.2	-	-	-	-

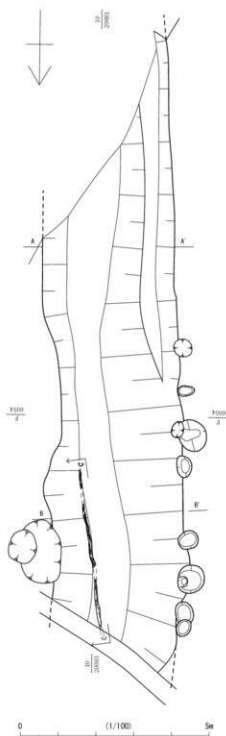
第40図 砂利敷道路周辺の遺構 151-195・225・234・266・267 (縮尺1/80・1/40)



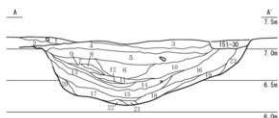
第41図 屋敷地B-1 151-6・125~129・223 (縮尺1/60・1/40)



第43図 屋敷地B-1 151-122・130 石列1・2 (縮尺1/50・1/40)

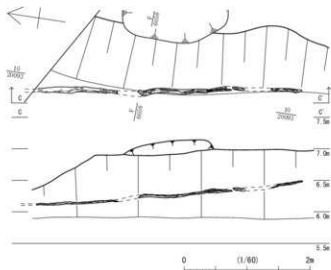


第44図 屋敷地B-1 151-5 (縮尺1/100・1/60)



151-5

No.	土名・土質	層No.	取土物種上(古墳遺構土)	取土物種下(古墳遺構土)	備考
1	黒色粘土	151-1	砂	-	砂
2	黒色粘土	151-2	砂	-	-
3	黒色粘土	151-3	砂	-	-
4	黒色粘土	151-4	砂	-	-
5	黒色粘土	151-5	砂	-	-
6	黒色粘土	151-6	砂	-	-
7	黒色粘土	151-7	砂	-	-
8	黒色粘土	151-8	砂	-	-
9	黒色粘土	151-9	砂	-	-
10	黒色粘土	151-10	砂	-	-
11	黒色粘土	151-11	砂	-	-
12	黒色粘土	151-12	砂	-	-
13	黒色粘土	151-13	砂	-	-
14	黒色粘土	151-14	砂	-	-
15	黒色粘土	151-15	砂	-	-
16	黒色粘土	151-16	砂	-	-
17	黒色粘土	151-17	砂	-	-
18	黒色粘土	151-18	砂	-	-
19	黒色粘土	151-19	砂	-	-
20	黒色粘土	151-20	砂	-	-
21	黒色粘土	151-21	砂	-	-
22	黒色粘土	151-22	砂	-	-
23	黒色粘土	151-23	砂	-	-
24	黒色粘土	151-24	砂	-	-
25	黒色粘土	151-25	砂	-	-
26	黒色粘土	151-26	砂	-	-
27	黒色粘土	151-27	砂	-	-
28	黒色粘土	151-28	砂	-	-
29	黒色粘土	151-29	砂	-	-
30	黒色粘土	151-30	砂	-	-
31	黒色粘土	151-31	砂	-	-
32	黒色粘土	151-32	砂	-	-
33	黒色粘土	151-33	砂	-	-
34	黒色粘土	151-34	砂	-	-
35	黒色粘土	151-35	砂	-	-
36	黒色粘土	151-36	砂	-	-
37	黒色粘土	151-37	砂	-	-
38	黒色粘土	151-38	砂	-	-
39	黒色粘土	151-39	砂	-	-
40	黒色粘土	151-40	砂	-	-
41	黒色粘土	151-41	砂	-	-
42	黒色粘土	151-42	砂	-	-
43	黒色粘土	151-43	砂	-	-
44	黒色粘土	151-44	砂	-	-
45	黒色粘土	151-45	砂	-	-
46	黒色粘土	151-46	砂	-	-
47	黒色粘土	151-47	砂	-	-
48	黒色粘土	151-48	砂	-	-
49	黒色粘土	151-49	砂	-	-
50	黒色粘土	151-50	砂	-	-
51	黒色粘土	151-51	砂	-	-
52	黒色粘土	151-52	砂	-	-
53	黒色粘土	151-53	砂	-	-
54	黒色粘土	151-54	砂	-	-
55	黒色粘土	151-55	砂	-	-
56	黒色粘土	151-56	砂	-	-
57	黒色粘土	151-57	砂	-	-
58	黒色粘土	151-58	砂	-	-
59	黒色粘土	151-59	砂	-	-
60	黒色粘土	151-60	砂	-	-
61	黒色粘土	151-61	砂	-	-
62	黒色粘土	151-62	砂	-	-
63	黒色粘土	151-63	砂	-	-
64	黒色粘土	151-64	砂	-	-
65	黒色粘土	151-65	砂	-	-
66	黒色粘土	151-66	砂	-	-
67	黒色粘土	151-67	砂	-	-
68	黒色粘土	151-68	砂	-	-
69	黒色粘土	151-69	砂	-	-
70	黒色粘土	151-70	砂	-	-
71	黒色粘土	151-71	砂	-	-
72	黒色粘土	151-72	砂	-	-
73	黒色粘土	151-73	砂	-	-
74	黒色粘土	151-74	砂	-	-
75	黒色粘土	151-75	砂	-	-
76	黒色粘土	151-76	砂	-	-
77	黒色粘土	151-77	砂	-	-
78	黒色粘土	151-78	砂	-	-
79	黒色粘土	151-79	砂	-	-
80	黒色粘土	151-80	砂	-	-
81	黒色粘土	151-81	砂	-	-
82	黒色粘土	151-82	砂	-	-
83	黒色粘土	151-83	砂	-	-
84	黒色粘土	151-84	砂	-	-
85	黒色粘土	151-85	砂	-	-
86	黒色粘土	151-86	砂	-	-
87	黒色粘土	151-87	砂	-	-
88	黒色粘土	151-88	砂	-	-
89	黒色粘土	151-89	砂	-	-
90	黒色粘土	151-90	砂	-	-
91	黒色粘土	151-91	砂	-	-
92	黒色粘土	151-92	砂	-	-
93	黒色粘土	151-93	砂	-	-
94	黒色粘土	151-94	砂	-	-
95	黒色粘土	151-95	砂	-	-
96	黒色粘土	151-96	砂	-	-
97	黒色粘土	151-97	砂	-	-
98	黒色粘土	151-98	砂	-	-
99	黒色粘土	151-99	砂	-	-
100	黒色粘土	151-100	砂	-	-



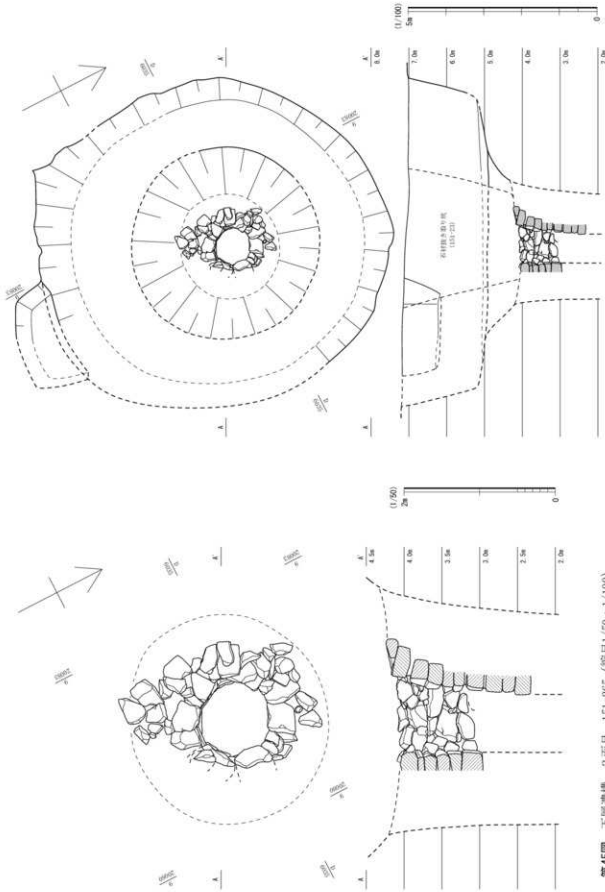
が考えられる。いずれも笏谷石の粗割石である。

4 下層の遺構

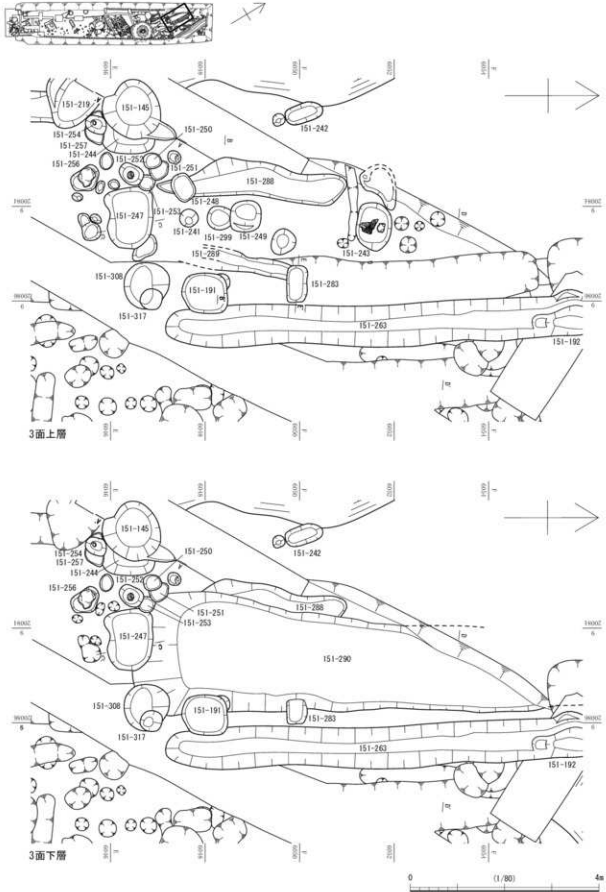
1) 3面目の遺構 (第7図)

3面目は、福井城築城以前の遺構面であり、16世紀の井戸 151-265 や溝 151-163・290 等がある。

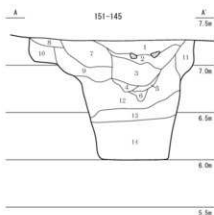
井戸 151-265 (第45図) 笏谷石の粗割石による石組井戸である。検出面から約4.5mまで掘り下げたが、出水のためこれ以下は確認できなかつた。石組は内径0.9mで約2m分の高さを確認したが、上



第45圖 下層遺構 3面目 151-205 (縮尺1/50・1/100)

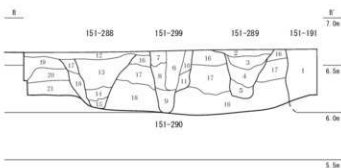


第46図 下層遺構 3面目① (縮尺1/80)



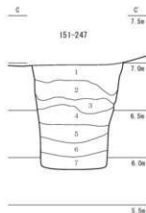
151-145

No.	土層・土質	土層No.	凹凸物	柱土	石構瓦	瓦葺瓦	跡の形	備考
1	表層赤砂層へ中砂	151A.1	少	-	-	-	少	跡留あり
2	硬質赤砂層	151B.1	少	-	-	-	少	跡留あり
3	硬質赤砂層	151C.1	少	-	-	-	少	跡留あり
4	硬質赤砂層	151D.1	少	-	-	-	少	跡留あり
5	硬質赤砂層	151E.1	少	-	-	-	少	跡留あり
6	硬質赤砂層	151F.1	少	-	-	-	少	跡留あり
7	硬質赤砂層	151G.1	少	-	-	-	少	跡留あり
8	硬質赤砂層	151H.1	少	-	-	-	少	跡留あり
9	硬質赤砂層	151I.1	少	-	-	-	少	跡留あり
10	硬質赤砂層	151J.1	少	-	-	-	少	跡留あり
11	硬質赤砂層	151K.1	少	-	-	-	少	跡留あり
12	硬質赤砂層	151L.1	少	-	-	-	少	跡留あり
13	硬質赤砂層	151M.1	少	-	-	-	少	跡留あり
14	硬質赤砂層	151N.1	少	-	-	-	少	跡留あり



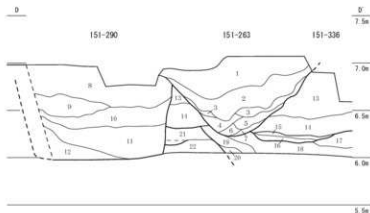
151-191・288・289・299

No.	土層・土質	土層No.	凹凸物	柱土	石構瓦	瓦葺瓦	跡の形	備考
1	表層赤砂層	151A.1	少	-	-	-	少	跡留あり
2	硬質赤砂層	151B.1	少	-	-	-	少	跡留あり
3	硬質赤砂層	151C.1	少	-	-	-	少	跡留あり
4	硬質赤砂層	151D.1	少	-	-	-	少	跡留あり
5	硬質赤砂層	151E.1	少	-	-	-	少	跡留あり
6	硬質赤砂層	151F.1	少	-	-	-	少	跡留あり
7	硬質赤砂層	151G.1	少	-	-	-	少	跡留あり
8	硬質赤砂層	151H.1	少	-	-	-	少	跡留あり
9	硬質赤砂層	151I.1	少	-	-	-	少	跡留あり
10	硬質赤砂層	151J.1	少	-	-	-	少	跡留あり
11	硬質赤砂層	151K.1	少	-	-	-	少	跡留あり
12	硬質赤砂層	151L.1	少	-	-	-	少	跡留あり
13	硬質赤砂層	151M.1	少	-	-	-	少	跡留あり
14	硬質赤砂層	151N.1	少	-	-	-	少	跡留あり
15	硬質赤砂層	151O.1	少	-	-	-	少	跡留あり
16	硬質赤砂層	151P.1	少	-	-	-	少	跡留あり
17	硬質赤砂層	151Q.1	少	-	-	-	少	跡留あり
18	硬質赤砂層	151R.1	少	-	-	-	少	跡留あり
19	硬質赤砂層	151S.1	少	-	-	-	少	跡留あり
20	硬質赤砂層	151T.1	少	-	-	-	少	跡留あり
21	硬質赤砂層	151U.1	少	-	-	-	少	跡留あり
22	硬質赤砂層	151V.1	少	-	-	-	少	跡留あり
23	硬質赤砂層	151W.1	少	-	-	-	少	跡留あり
24	硬質赤砂層	151X.1	少	-	-	-	少	跡留あり
25	硬質赤砂層	151Y.1	少	-	-	-	少	跡留あり
26	硬質赤砂層	151Z.1	少	-	-	-	少	跡留あり
27	硬質赤砂層	151AA.1	少	-	-	-	少	跡留あり



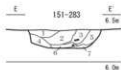
151-247

No.	土層・土質	土層No.	凹凸物	柱土	石構瓦	瓦葺瓦	跡の形	備考
1	表層赤砂層	151A.1	少	-	-	-	少	跡留あり
2	硬質赤砂層	151B.1	少	-	-	-	少	跡留あり
3	硬質赤砂層	151C.1	少	-	-	-	少	跡留あり
4	硬質赤砂層	151D.1	少	-	-	-	少	跡留あり
5	硬質赤砂層	151E.1	少	-	-	-	少	跡留あり
6	硬質赤砂層	151F.1	少	-	-	-	少	跡留あり
7	硬質赤砂層	151G.1	少	-	-	-	少	跡留あり



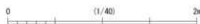
151-263・290・300・336

No.	土層・土質	土層No.	凹凸物	柱土	石構瓦	瓦葺瓦	跡の形	備考
1	表層赤砂層	151A.1	少	-	-	-	少	跡留あり
2	硬質赤砂層	151B.1	少	-	-	-	少	跡留あり
3	硬質赤砂層	151C.1	少	-	-	-	少	跡留あり
4	硬質赤砂層	151D.1	少	-	-	-	少	跡留あり
5	硬質赤砂層	151E.1	少	-	-	-	少	跡留あり
6	硬質赤砂層	151F.1	少	-	-	-	少	跡留あり
7	硬質赤砂層	151G.1	少	-	-	-	少	跡留あり
8	硬質赤砂層	151H.1	少	-	-	-	少	跡留あり
9	硬質赤砂層	151I.1	少	-	-	-	少	跡留あり
10	硬質赤砂層	151J.1	少	-	-	-	少	跡留あり
11	硬質赤砂層	151K.1	少	-	-	-	少	跡留あり
12	硬質赤砂層	151L.1	少	-	-	-	少	跡留あり
13	硬質赤砂層	151M.1	少	-	-	-	少	跡留あり
14	硬質赤砂層	151N.1	少	-	-	-	少	跡留あり
15	硬質赤砂層	151O.1	少	-	-	-	少	跡留あり
16	硬質赤砂層	151P.1	少	-	-	-	少	跡留あり
17	硬質赤砂層	151Q.1	少	-	-	-	少	跡留あり



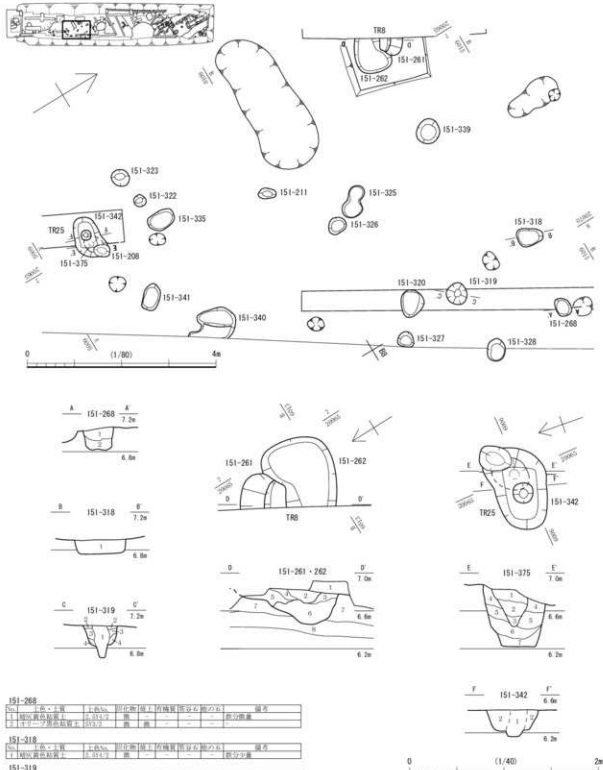
151-283

No.	土層・土質	土層No.	凹凸物	柱土	石構瓦	瓦葺瓦	跡の形	備考
1	硬質赤砂層	151A.1	少	-	-	-	少	跡留あり
2	硬質赤砂層	151B.1	少	-	-	-	少	跡留あり
3	硬質赤砂層	151C.1	少	-	-	-	少	跡留あり
4	硬質赤砂層	151D.1	少	-	-	-	少	跡留あり
5	硬質赤砂層	151E.1	少	-	-	-	少	跡留あり
6	硬質赤砂層	151F.1	少	-	-	-	少	跡留あり
7	硬質赤砂層	151G.1	少	-	-	-	少	跡留あり



第47図 下層遺構 3面目② 151-145・191・247・263・283・288・289・290・299・336 (縮尺1/40)

第1節 FKJ15-1 調査区の遺構



151-268

No.	土名	土色No.	厚	位置	用途	層位	備考
1	基礎土	1013/3	薄	中	基礎	1	部分破壊
2	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	

151-318

No.	土名	土色No.	厚	位置	用途	層位	備考
1	基礎土	1013/3	薄	中	基礎	1	部分破壊

151-319

No.	土名	土色No.	厚	位置	用途	層位	備考
1	基礎土	1013/3	薄	中	基礎	1	部分破壊
2	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	

151-261・262

No.	土名	土色No.	厚	位置	用途	層位	備考
1	基礎土	1013/3	薄	中	基礎	1	部分破壊
2	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
3	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
4	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
5	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
6	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
7	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
8	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
9	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
10	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	

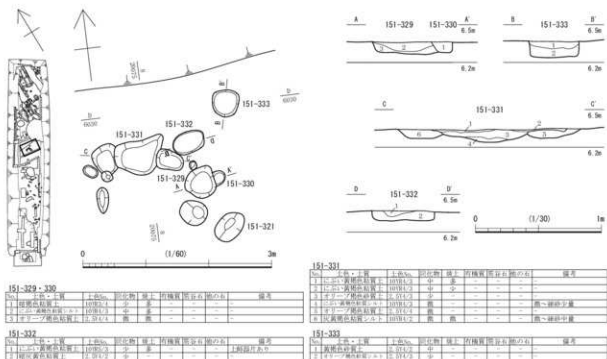
151-342・375

No.	土名	土色No.	厚	位置	用途	層位	備考
1	基礎土	1013/3	薄	中	基礎	1	部分破壊
2	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
3	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
4	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
5	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
6	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
7	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
8	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
9	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	
10	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	

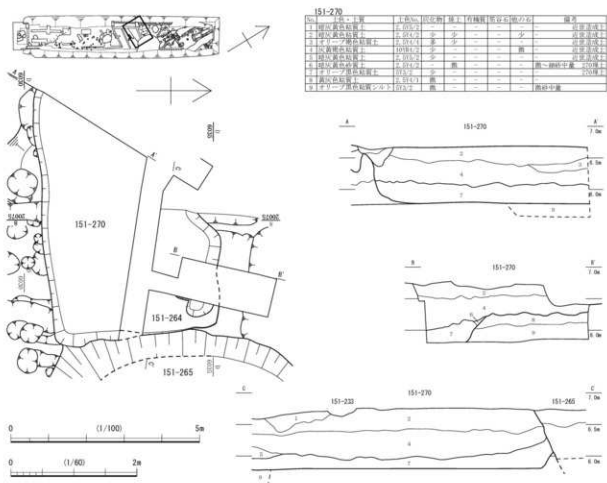
151-342

No.	土名	土色No.	厚	位置	用途	層位	備考
1	基礎土	1013/3	薄	中	基礎	1	部分破壊
2	土中土	1013/3	薄	中	基礎	1	

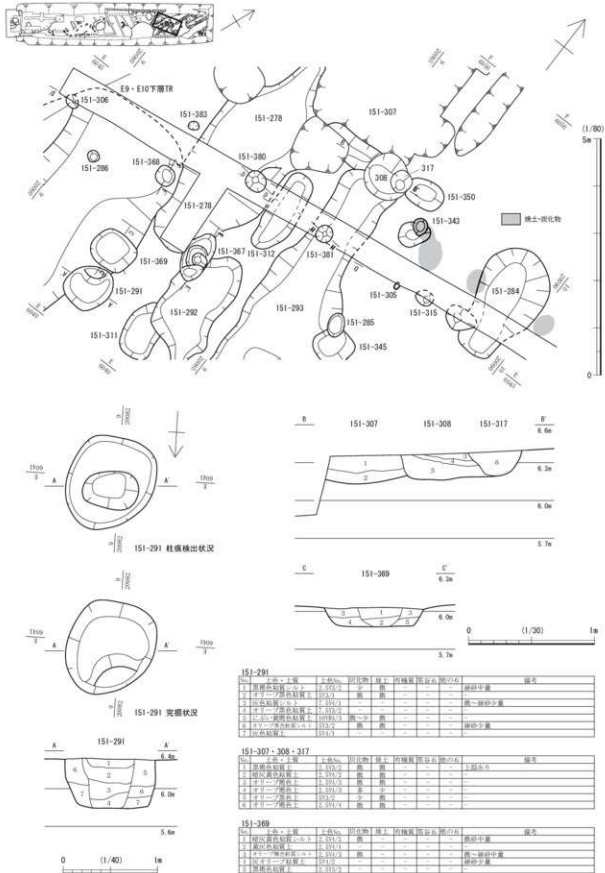
第48図 下層遺構 4 面目 151-261・262・268・318・319・342・375 (縮尺1/80・1/40)



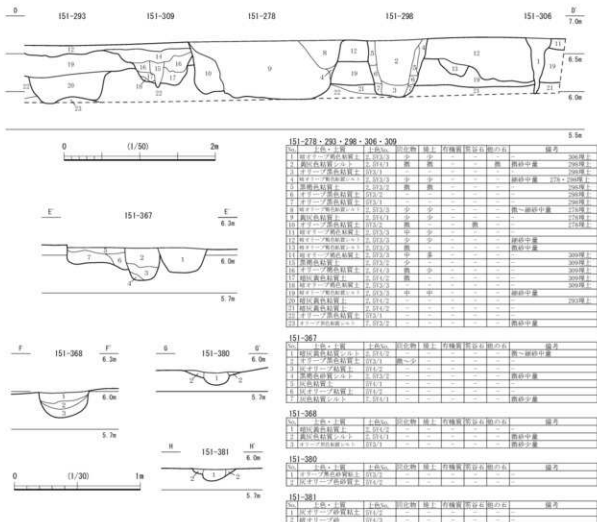
第49図 下層遺構 4 面目 151-329・330・331・332・333 (縮尺1/60・1/30)



第50図 下層遺構 4 面目 151-270 (縮尺1/100・1/60)



第51図 下層遺構 4面目① 151-291・307・308・317・369 (縮尺1/80・1/30 151-291は1/40)



第52図 下層遺構 4面目② 151-278・293・306・309・367・368・380・381 (縮尺1/50・1/30)

層は廃絶時（道路敷設時）に検出面から約1.5mの深さまで掘削され、石材が抜かれている（151-23）。掘り方は、部分的に確認できていないが、検出面で径8.5～9.0mの重なり形で、約2mの深さのところに作業用の足場となる幅1m以上の平坦面が削り出されている。掘り方の南側には、幅2m以上・奥行約1mの範囲で、掘り方内の平坦面までの深さのほぼ半分まで掘り窪めており、その形状から平坦面への昇降段であったことが窺える。平坦面より下の掘り方は径約3mで、下がるほどやや窄まる。

溝151-263・290（第46・47図）ともに道路下層の溝である。151-263は延長約8m・幅1.6m・深さ0.82mで断面三角形、151-290は延長約8.8m・幅1.75m・深さ1mで底面がほぼ平らとなる。

土坑151-203・239・384 これらの土坑から出土した遺物はいずれも16世紀に属する。

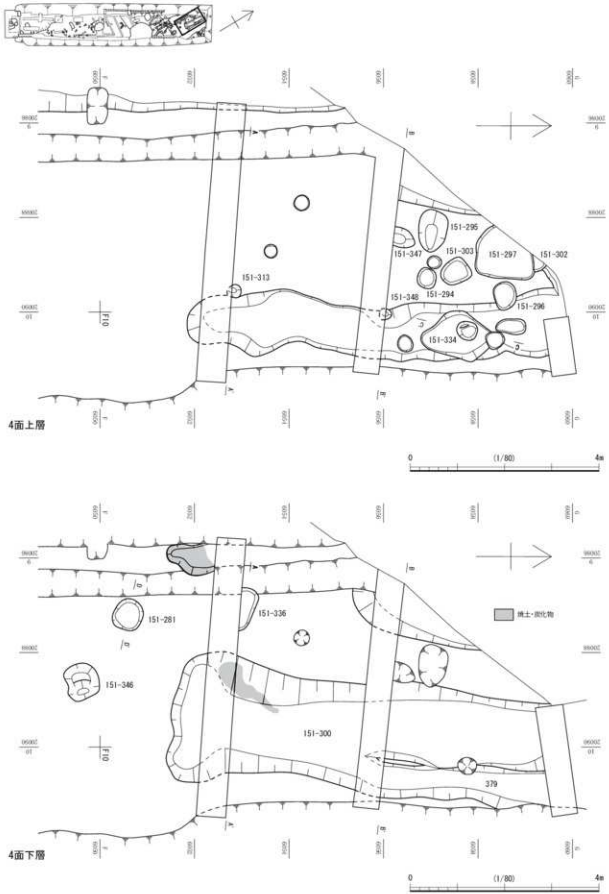
2) 4・5面目の遺構（第8図）

4面目の遺構は土坑151-270や溝151-300、柱穴151-291等がある。また、包含層中の複数個所に炭化物や焼土が径0.4mからそれ以上の範囲に広がるのが確認され、その中から鉄滓も検出された。

土坑151-270（第50図）7m以上×4.5m前後・深さ1m前後の大型の掘り込みである。性格不明であるが、須恵器・土師器片が出土しており、古代にさかのぼる遺構のようである。

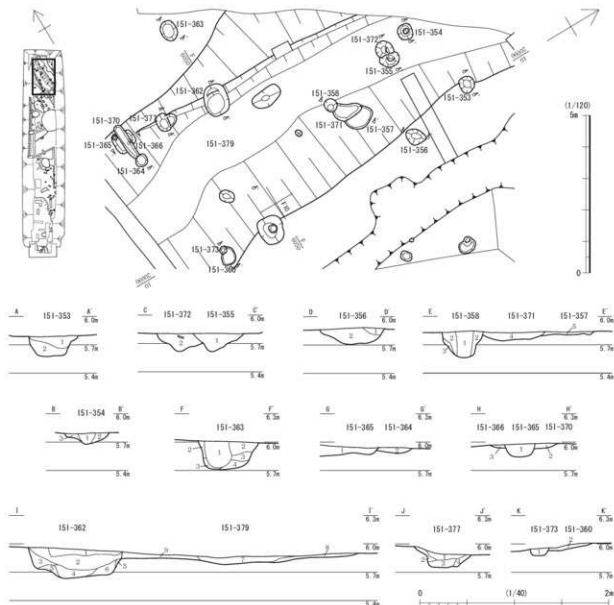
溝151-300（第56・54図）延長4.5m以上・幅1.4m前後で一つにまともに見えるが、151-

第1節 FKJ15-1調査区の遺構



第53図 下層遺構 4面目① (縮尺1/80)

第1節 FKJ15-1調査区の遺構



151-352				
No.	土質・土層	土色No.	凹凸物・土中構造物の有無(断面別)	備考
1	灰吹土	(1)(1)	無	-
2	オリーブ色粘質土	(1)(2)	無	-
151-354				
No.	土質・土層	土色No.	凹凸物・土中構造物の有無(断面別)	備考
1	灰吹土	(1)(1)	無	-
2	灰吹土	(1)(1)	無	-
3	灰吹土	(1)(1)	無	-
151-355・372				
No.	土質・土層	土色No.	凹凸物・土中構造物の有無(断面別)	備考
1	オリーブ色粘質土	(1)(2)	少	-
2	灰吹土	(1)(1)	少	-
3	オリーブ色粘質土	(1)(2)	少	-
151-356				
No.	土質・土層	土色No.	凹凸物・土中構造物の有無(断面別)	備考
1	オリーブ色粘質土	(1)(2)	少	-
2	灰吹土	(1)(1)	少	-
3	オリーブ色粘質土	(1)(2)	少	-
151-356・371				
No.	土質・土層	土色No.	凹凸物・土中構造物の有無(断面別)	備考
1	オリーブ色粘質土	(1)(2)	少	-
2	灰吹土	(1)(1)	少	-
3	オリーブ色粘質土	(1)(2)	少	-
4	灰吹土	(1)(1)	少	-
5	オリーブ色粘質土	(1)(2)	少	-
151-363				
No.	土質・土層	土色No.	凹凸物・土中構造物の有無(断面別)	備考
1	オリーブ色粘質土	(1)(2)	少	-
2	灰吹土	(1)(1)	少	-
3	オリーブ色粘質土	(1)(2)	少	-
4	灰吹土	(1)(1)	少	-

151-364・365				
No.	土質・土層	土色No.	凹凸物・土中構造物の有無(断面別)	備考
1	灰吹土	(1)(1)	無	-
2	灰吹土	(1)(1)	無	-
3	灰吹土	(1)(1)	無	-
151-366・372				
No.	土質・土層	土色No.	凹凸物・土中構造物の有無(断面別)	備考
1	灰吹土	(1)(1)	無	-
2	灰吹土	(1)(1)	少	-
3	灰吹土	(1)(1)	少	-
151-365・368・370				
No.	土質・土層	土色No.	凹凸物・土中構造物の有無(断面別)	備考
1	灰吹土	(1)(1)	無	-
2	灰吹土	(1)(1)	少	-
3	灰吹土	(1)(1)	少	-
4	オリーブ色粘質土	(1)(2)	少	-
5	オリーブ色粘質土	(1)(2)	少	-
6	オリーブ色粘質土	(1)(2)	少	-
7	灰吹土	(1)(1)	少	-
8	オリーブ色粘質土	(1)(2)	少	-
9	オリーブ色粘質土	(1)(2)	少	-
151-362・379				
No.	土質・土層	土色No.	凹凸物・土中構造物の有無(断面別)	備考
1	オリーブ色粘質土	(1)(2)	無	-
2	灰吹土	(1)(1)	無	-
3	灰吹土	(1)(1)	無	-
4	オリーブ色粘質土	(1)(2)	無	-
5	オリーブ色粘質土	(1)(2)	無	-
6	オリーブ色粘質土	(1)(2)	無	-
7	灰吹土	(1)(1)	無	-
8	オリーブ色粘質土	(1)(2)	無	-
151-377				
No.	土質・土層	土色No.	凹凸物・土中構造物の有無(断面別)	備考
1	オリーブ色粘質土	(1)(2)	無	-
2	オリーブ色粘質土	(1)(2)	無	-
3	オリーブ色粘質土	(1)(2)	無	-
4	オリーブ色粘質土	(1)(2)	無	-

第55図 5面目の遺構(縮尺1/120・1/40)

第2節 FKJ16-1 調査区の遺構

FKJ16-1 調査区は3つの地区に分かれる(第2図)。1・3区は結果的に結合するが、北のFKJ15-2調査区から約10m、南の2区から約28m離れる。2区はFKJ15-1調査区に接する位置関係となる。結合した1・3区は延長50m・最大幅15m、2区は長さ約28m・最大幅13mとそれぞれ細長い。

この調査区は2～3面に分かれ、上層(1面目)を近世面、下層(2・3面目)を古代とした(第5・56図)。ただし、遺構面を3面分検出したのは2区だけである。なお、全体的に削平されており、場所によって削平の深度が異なるため、1面目の遺構面の標高が一定しない。とくに1区の南側は全体に深く削平されており、近世と古代の遺構検出面に標高差がない。また、他の各所でも部分的に下層の遺構面にまで攪乱が及ぶところがあり、時期の異なる遺構・遺物が一部混在することとなっている。

1面目の福井城跡の遺構に、道路等の街区境になる遺構は確認されていない。しかし、FKJ15-1調査区に北接する2区は、15-1調査区で検出された道路の西側であり、B街区となる。また、西に隣接する高架側道5号線地点で検出された東西に延びる道路が、1・2区間の未調査部分に延びることが明らかのため、1・3区はC街区となる。城下絵図等によると、この調査区内にはB街区に1軒分、C街区には当初1軒分、後に2軒分になる武家屋敷地がかかる。屋敷地は街区ごとに南から番号を付け、FKJ15-1調査区から続くB街区には屋敷地B-2、C街区には屋敷地C-1・2と割り振る(第3図)。

以下、上層の福井城の遺構は街区ごとに、2面以下はおもに下層遺構としてまとめて報告する。

1 福井城跡の遺構

B街区では屋敷地B-2南側の境が検出されるはずであるが、全面的に削平されているために明瞭ではない。屋敷地境はこのFKJ16-1調査区の2区かFKJ15-1調査区北端付近にあたりとみられ、溝151-187の位置が候補のひとつとなる。この調査区内で屋敷地境の位置を示す可能性のある遺構は、溝161-115・116がある。しかし、城下絵図に書かれた寸法と比較すると、溝161-115・116では10m以上狭く、溝151-187では約10m広い。該当するはずの位置付近には柱穴161-114・165等の小規模な遺構がいくつか見られ、それらが屋敷地の区画設備を構成した遺構の痕跡である可能性はある。しかし、周囲より削平度合いの大きい地区であることから(第5図)、すでに多くが失われたと考えられる。

C街区の屋敷地C-1・2は、17世紀前葉に1軒の屋敷地だったが、17世紀中葉には南北2軒に分割され、そのまま継続した。城下絵図等によると、屋敷地C-1・2の境は土坑161-8・20・24等が集中するあたりとなる。また、屋敷地C-1西側の境を示す遺構として、溝161-86がある。これは、西に隣接するJR高架化に伴う調査(JR福井駅地点)で検出された溝4101と繋がる。これに平行する溝161-36は、埋没後上層に土坑161-8・20・24等の土坑群が営まれており、周囲の調査区に連絡する遺構が確認されないため、屋敷地境に関わる遺構だとしても区画設備そのものの痕跡ではないとみられる。あるいは、埋土中から須恵器の甕や布目瓦が出土したことから、古代にさかのぼる可能性もある。なお、屋敷地C-2北側の境は、17世紀前葉から中葉にはFKJ16-1・15-2調査区の間未調査部分にあたるようであるが、17世紀後葉以降に北に移動した境の位置を示す遺構として、溝152-36が確認されている。

1) B街区の遺構(第3・56図)

主要な遺構は、溝161-112・115・116、上層構造を持つとみられる井戸161-104、廃棄土坑161-110・111・117・125、そのほか柱穴列等がある。

溝161-112(第57図) 検出長5.55m・幅2.66m・深さ0.76mで、北に向かい緩やかに傾斜する。FKJ15-1調査区の溝151-5、高架側道5号線地点の溝362と一連の溝であり、少なくとも55m以上

直線的に延びる。埋土中から、越前焼の播鉢や須恵器の杯・甕、多量の動物骨や貝等が出土した。17世紀前半には開削され、18世紀後葉まで存続することが、周辺の調査でも確認されている。

溝 161-115・116 (第57図) どちらも東西方向に延び、西へ緩やかに傾斜する。溝 161-115は検出長9.18m・幅0.69m・深さ約0.45mである。溝 161-116は検出長5.34m・幅1.19m・深さ約0.19mであり、高架側道5号線地点の溝469の延長に該当する。出土遺物は、161-115から播鉢や灰釉皿等、161-116から燻瓦や須恵器が出土した。どちらも17世紀代の遺構とみられる。

井戸 161-104 (第58図) 上総掘りと呼ばれる自噴式の井戸である。高さ約0.7m、径約0.8mの桶側1段が残存した。底板は厚さ約3cmで、穿孔されて竹筒が差し込まれていた。掘り方は長径1.88m・短径1.54m・深さ1.35mである。廃絶時に桶側1段を残して掘り返され、そこに拳大から人頭大となる笏谷石割石や円礫が多量に投げ込まれた状況だった。なお、井戸の周りを柱穴161-106・130・138・153が開んでおり、上屋構造の痕跡である可能性がある。柱間は南北1.8m・東西1.3mの長方形である。ただし、周辺の屋敷境がほぼ正方位を向くのに対し、上屋構造の長軸は北側が西へ26.5度振ることとなる。また、柱穴161-138のみ内部に石が据えられていた。幕末から明治にかけて機能した井戸である。

廃棄土坑 161-117 (第59図) 長径約2.6m・短径約1.2mの歪な長楕円形で、深さ約0.6mである。周辺の重複する遺構の中で、最も上から掘り込まれている。播鉢や燻瓦、須恵器等のほか、柄杓や筥、箸等の木製品が多量に出土した。出土遺物から17世紀代の廃棄土坑とみられる。

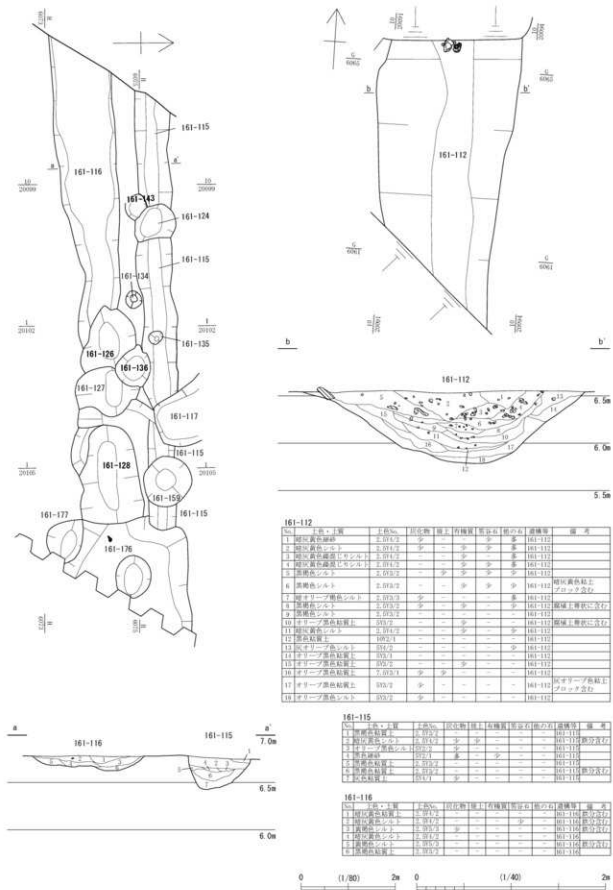
廃棄土坑 161-125 (第60図) 長径2m・短径約0.8mの歪な長楕円形で、深さ0.34mである。土師質皿や木製品等とともに、多量の燻瓦が出土した。埋土には多量の炭化物が混入する。火災等による建物の倒壊もしくは解体後に瓦等を廃棄処理した土坑の可能性もある。

廃棄土坑 161-110・111 (第60図) 161-110は長径1.43m・短径1.33m・深さ0.69mである。161-111は長径1.34m・短径1.24m・深さ0.45mである。規模はやや異なるが、ともに略円形である。屋敷境に比較的近い位置で、境に沿うように隣接して並ぶ状況から、便所遺構の痕跡である可能性もある。

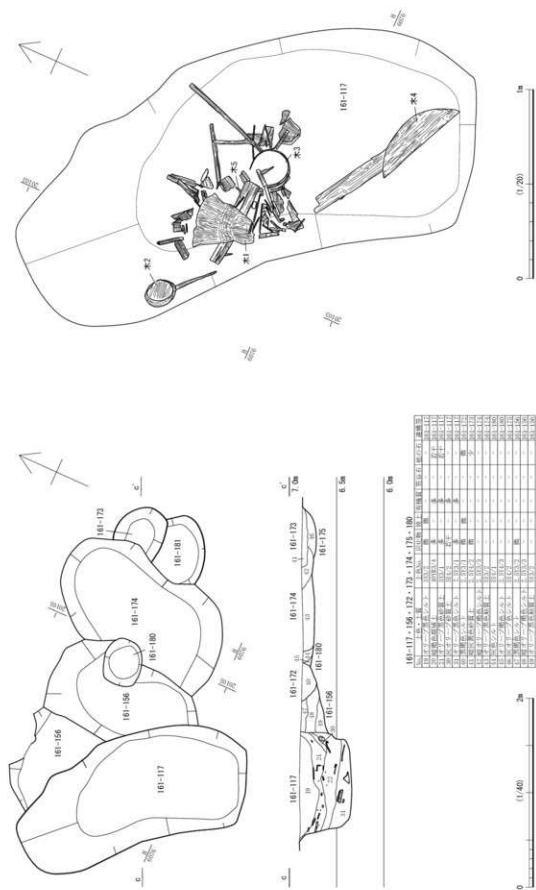
柱穴 161-113・114・171 (第56・60図) 161-113・114は大きさ、深さは揃わない。平面的には161-171とともに約2m間隔で、ほぼ正方位で南北に並び、溝161-112に沿って並ぶとも言える。また、この列の延長上北側で同方向に延びる溝161-168と関連することも考えられる。ただし、161-171の底面は、161-113・114と比べて極端に浅いが、東に離れて並ぶ161-146・147とはほぼ揃い、161-146・147・171は直線的な並びとなる。そのため、161-171は161-113・114とは性格が異なることが考えられる。

柱穴 161-146・147・158・171 (第60・61図) これらは、屋敷境の候補に挙げた溝151-187と溝161-115・116の間の中ほどに位置し、城下絵図に書かれた寸法の位置に近い。これらの掘り方は径0.4～0.5mの歪な円形で、深さ0.2m前後である。161-146・158には径0.1mの柱根が残存し、161-147には土層断面に柱痕が確認される。なお、これらの間隔が一定でなく、必ずしも一直線とはならないが、上層が削平され底面部分のみとなっていることを考慮すると、削平により失われた柱穴の存在も推測され、板塀等の区画構造の痕跡となるのかもしれない。

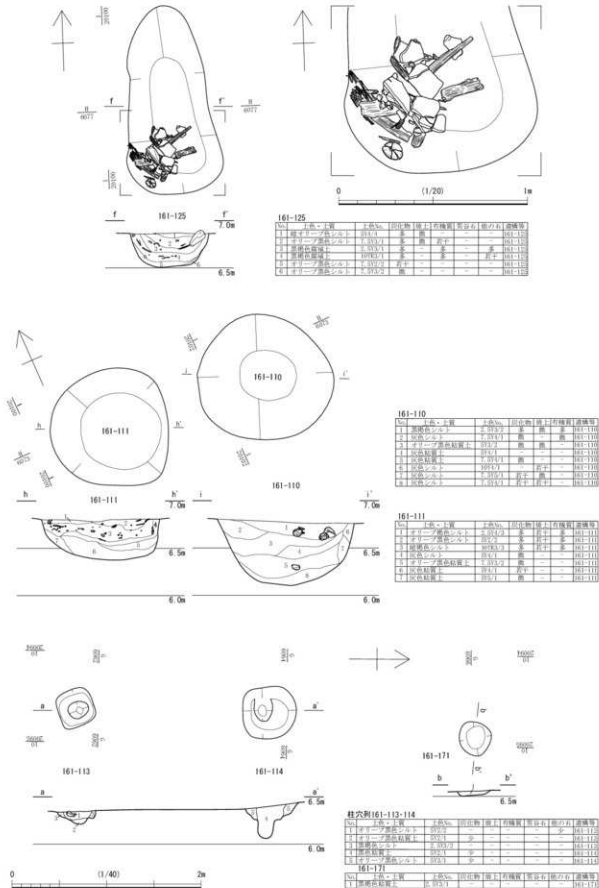
柱穴 161-129・131・163・179 (第56・61図) いずれも柱根が残存する。161-179は井戸161-104の東側にて単独で検出された。掘り方は長径0.94m・短径0.89mの歪な円形で、深さ0.61mである。長さ0.45m・直径0.2～0.3mの柱根が残る。161-131・163は溝161-115の北側に並ぶが、両者の間は9m離れる。そこに多くの遺構があるため確認できないが、同様な柱穴がもっと並んでいた可能性はある。掘り方は径0.4m前後、深さ0.2～0.3mで、161-163の方が大きい。残存する柱根はどちら



第57図 B街区 161-112・115・116 (縮尺1/80・1/40)



第59図 B街区 161-117・156・172～175・180・181 (縮尺 1/10・161-117 遺物出土状況のみ 1/20)



第60図 B街区 161-110・111・113・114・125・171 (縮尺1/40・部分拡大図のみ1/20)

も径0.1mである。161-129は土坑161-110の南東に離れて単独で検出された。掘り方は長径0.52m・短径0.46mの歪な円形で、深さ0.45mである。柱根は径約0.1mで、長さ約0.4m分が残存した。

2) C街区の遺構(第3・56図)

主要な遺構は、屋敷地C-1の西境を示すとみられる溝161-86、土坑161-31・32・33、廃棄土坑161-1・2・4・6・8・17・22・23・25・27がある。

溝161-86(第62図) 検出長5.39m・最大幅1.16m・深さ0.17mだが、上半が大きく削平されている。JR福井駅地点の溝4101へ繋がり、延長約45m分を確認したことになる。検出部分では底面が北へ緩やかに傾斜したが、全体的には南へ傾斜するようである。なお、溝4101は、17世紀後葉から明治まで開口していたことが窺え、屋敷境に沿う排水溝のようなものと考えられる。屋敷境に付随するような遺構ではあるが、区画設備そのものの痕跡ではない。

土坑161-31・32・33(第63図) 屋敷地C-1のやや大型の土坑である。溝161-86同様、上半が大きく削平されており、径1.5m前後の土坑161-32でも深さが0.14mとなっている。161-31は長径2.7m・短径1.87m・深さ0.87m、161-33は長径1.49m・短径1.29m・深さ0.46mである。これらの規模はさまざまだが、概ね歪な円形か隅丸長方形である。161-31・32はほぼ南北に並び、重複する。161-33はこれらから南側に離れる。いずれも埋土中に顕著な遺物や包含物が認められない。

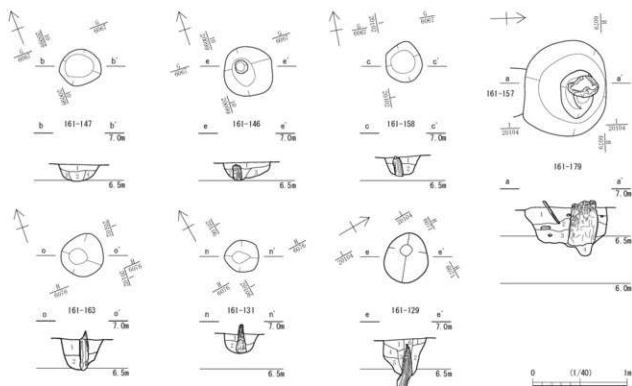
廃棄土坑161-4・8・17・22・27(第64図) これらのうち161-4は他の土坑から僅かに離れて重複しない。ただし、161-4の土層堆積状況から再掘削したことが確認され、それにより東西に長い歪な長方形となったようだ。出土遺物から18世紀後葉以降の廃棄土坑とみられる。これ以外の土坑は、いずれも歪な円形あるいは不整形な平面形であり、開削順序は161-17→22→8・27となる。このうち161-8・22は再掘削した痕跡がある。概ね18世紀から近代にかけて継続的に営まれたようである。また、161-4はその他の土坑と重複しないものの近接しており、それらの継続期間内に営まれていることから、一連の廃棄土坑のひとつとして開削されたものと思われる。

なお、この廃棄土坑群の付近に屋敷地C-1・2の境があったはずであるが、区画設備の痕跡が確認されない。これらの廃棄土坑はほぼ切り合うため、1軒の敷地内に配置されたとみられる。そのため、これらと北の廃棄土坑群(161-1・2・6・23・25)もしくは南の土坑161-31・32・33との間の空間地に屋敷境の区画構造が存在した可能性があるが、すでに削平されたものと思われる。

廃棄土坑161-1・2・6・23・25(第65図) これらは屋敷地C-2に属する。それぞれが切り合い、個々の平面形が判然としない。規模はいずれも径1mを超えており、最大の161-1・25は調査区外へ延びて長径2.5m以上となる。これらの開削順序は161-6→25→23・2→1で、161-25から19世紀代の越前焼播鉢が出土したため、概ね幕末から近代にかけての廃棄土坑群とみられる。なお、161-1から多量の陶磁器等とともに墨書木簡が1点出土した。

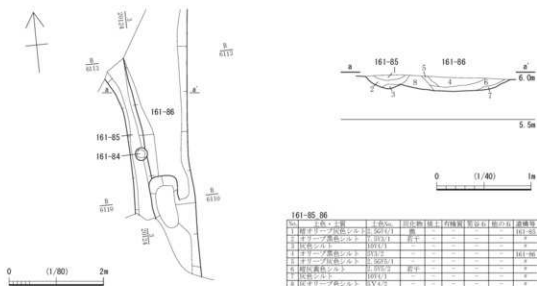
土坑161-277・278・303・315・318・320(第66・67図) これらは屋敷地C-2の土坑である。それぞれが切り合い、個々の平面形が概ね歪な円形もしくは楕円形であるが、161-277のみ比較的形状の整う長方形である。長辺1.69m・短辺1.5m・深さ0.51mで、埋土上半に多量の有機質等を含んでおり、最終的に廃棄土坑とされたようである。161-278は、径1.85m・深さ0.53mで、炭化物・焼土や笏谷石を含む小石等が埋土中の広範にわたり含まれていた。161-303は、大部分が調査区外に出るため形状や規模は不明だが、土層断面等から径2.65m以上・深さ0.6m以上で、161-304と切り合うことが確認される。埋土中に炭化物・焼土が確認される。なお、これら土坑の埋没後、幅0.53m・

第2節 FKJ16-1調査区の遺構

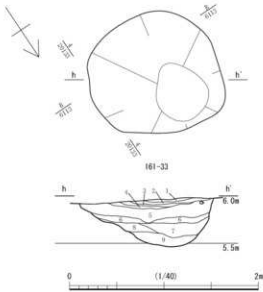
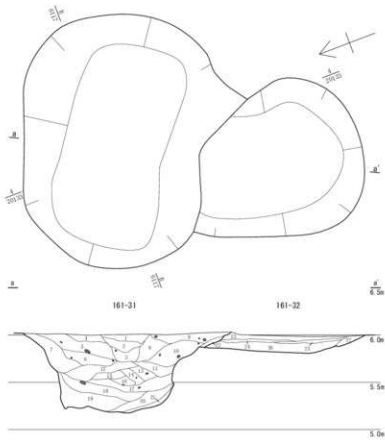


161-147						161-179													
No.	土器・土層	土器No.	図形物	柱土	有機質	炭灰石	灰石	遺構層	備考	No.	土器・土層	土器No.	図形物	柱土	有機質	炭灰石	灰石	遺構層	備考
1	黒褐色粘土	2-213(2)	少	-	-	-	-	161-147		1	黒褐色粘土	2-213(2)	少	-	-	-	-	少	161-179
2	黒褐色粘土	2-213(2)	少	-	-	-	-	161-147		2	黒褐色粘土	2-213(2)	少	-	-	-	-	少	161-179
3	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	161-147		3	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	少	161-179
4	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	161-147		4	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	少	161-179
161-146						161-131													
No.	土器・土層	土器No.	図形物	柱土	有機質	炭灰石	灰石	遺構層	備考	No.	土器・土層	土器No.	図形物	柱土	有機質	炭灰石	灰石	遺構層	備考
1	黒褐色粘土	2-213(2)	少	-	-	-	-	161-146		1	黒褐色粘土	2-213(2)	少	-	-	-	-	161-131	
2	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	161-146		2	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	161-131	
3	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	161-146		3	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	161-131	
161-158						161-129													
No.	土器・土層	土器No.	図形物	柱土	有機質	炭灰石	灰石	遺構層	備考	No.	土器・土層	土器No.	図形物	柱土	有機質	炭灰石	灰石	遺構層	備考
1	黒褐色粘土	2-213(2)	少	-	-	-	-	161-158		1	黒褐色粘土	2-213(2)	少	-	-	-	-	161-129	
2	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	161-158		2	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	161-129	
3	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	161-158		3	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	161-129	
161-163																			
No.	土器・土層	土器No.	図形物	柱土	有機質	炭灰石	灰石	遺構層	備考										
1	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	161-163											
2	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	161-163											
3	黒褐色粘土	2-213(2)	-	-	-	-	-	161-163											

第61図 B街区 161-129・131・146・147・158・163・179 (縮尺1/40)



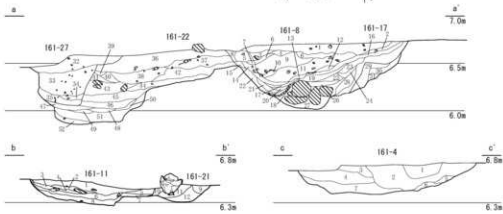
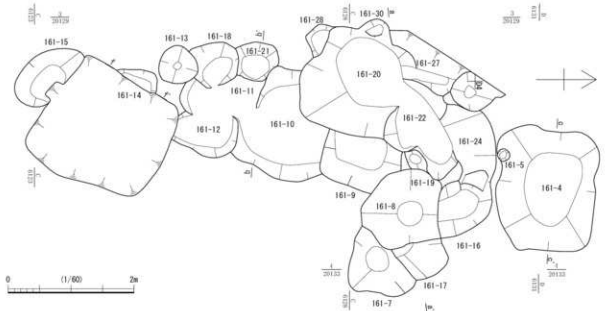
第62図 屋敷地C-1 161-85・86 (縮尺1/80・1/40)



161-31・32						
No.	名称・土層	上(底)部	厚(層厚)	層上(有)	層下(有)	柱礎等
1	基礎コンクリート	100B1.2	無	-	無	無
2	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無
3	セロテープ敷コンクリート	100A.2	無	-	無	無
4	土床コンクリート	100A.1	無	-	無	無
5	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無
6	セロテープ敷コンクリート	100A.2	無	-	無	無
7	土床コンクリート	100A.1	無	-	無	無
8	セロテープ敷コンクリート	100A.2	無	-	無	無
9	土床コンクリート	100A.1	無	-	無	無
10	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無
11	土床コンクリート	100A.1	無	-	無	無
12	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無
13	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無
14	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無
15	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無
16	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無
17	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無
18	セロテープ敷コンクリート	100A.2	無	-	無	無
19	土床コンクリート	100A.1	無	-	無	無
20	セロテープ敷コンクリート	100A.2	無	-	無	無
21	土床コンクリート	100A.1	無	-	無	無
22	土床コンクリート	100A.1	無	-	無	無
23	土床コンクリート	100A.1	無	-	無	無
24	セロテープ敷コンクリート	100A.2	無	-	無	無
25	土床コンクリート	100A.1	無	-	無	無
26	土床コンクリート	100A.1	無	-	無	無
27	セロテープ敷コンクリート	100A.2	無	-	無	無
28	土床コンクリート	100A.1	無	-	無	無
29	土床コンクリート	100A.1	無	-	無	無
30	セロテープ敷コンクリート	100A.2	無	-	無	無

161-33						
No.	名称・土層	上(底)部	厚(層厚)	層上(有)	層下(有)	柱礎等
1	基礎コンクリート	100B1.2	無	-	無	無
2	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無
3	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無
4	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無
5	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無
6	セロテープ敷コンクリート	100A.2	無	-	無	無
7	土床コンクリート	100A.1	無	-	無	無
8	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無
9	基礎コンクリート	100B1.1	無	-	無	無

第 63 図 屋敷地 C-1 161-31・32・33 (縮尺 1/40)



161-8・17・22・27

No.	土物・土層	上層No.	厚(t)	形状	壁土	有機質	灰分%	焼石%	遺構層
1	オリーブ黒色粘土	353-2	少	少	-	-	-	少	161-8
2	オリーブ黒色シルト	353-1	少	少	-	-	-	少	-
3	黒褐色シルト	2, 353-1	-	-	-	-	-	少	-
4	褐色粘土	2, 353-2	少	-	-	-	-	少	-
5	黒褐色粘土	2, 353-1	少	-	-	-	-	少	-
6	黒褐色粘土	2, 353-1	少	-	-	-	-	少	-
7	オリーブ黒色粘土	353-1	少	-	-	-	-	少	-
8	黒褐色粘土	2, 353-2	-	-	-	-	-	少	-
9	オリーブ黒色粘土	2, 353-1	少	-	-	-	-	少	-
10	黒色粘土	2, 353-1	-	-	-	-	-	少	-
11	黒色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	少	-
12	黒色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	少	-
13	黒褐色粘土	2, 353-1	少	-	-	-	-	少	-
14	黒褐色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	少	-
15	オリーブ黒色粘土	353-1	少	少	-	-	-	少	-
16	黒褐色粘土	2, 353-1	少	-	-	-	-	少	-
17	黒褐色粘土	2, 353-1	少	-	-	-	-	少	-
18	オリーブ黒色粘土	353-1	-	-	-	-	-	少	-
19	黒褐色粘土	2, 353-1	少	-	-	-	-	少	-
20	黒褐色粘土	2, 353-1	少	-	-	-	-	少	-
21	オリーブ黒色粘土	353-1	少	-	-	-	-	少	-
22	オリーブ黒色粘土	353-1	少	-	-	-	-	少	-
23	オリーブ黒色粘土	353-1	少	-	-	-	-	少	-
24	黒褐色粘土	353-1	-	-	-	-	-	少	-
25	黒褐色粘土	2, 353-1	少	-	-	-	-	少	-

No.	土物・土層	上層No.	厚(t)	形状	壁土	有機質	灰分%	焼石%	遺構層
26	オリーブ黒色粘土	353-1	-	-	-	-	-	-	-
27	黒褐色粘土	2, 353-1	-	-	-	-	-	-	-
28	オリーブ黒色シルト	2, 353-2	-	-	-	-	-	-	161-17
29	オリーブ黒色粘土	2, 353-1	-	-	-	-	-	-	-
30	オリーブ黒色粘土	2, 353-1	-	-	-	-	-	-	-
31	オリーブ黒色粘土	2, 353-2	-	-	-	-	-	-	-
32	オリーブ黒色粘土	353-2	少	少	-	-	-	少	161-27
33	オリーブ黒色シルト	2, 353-3	少	少	-	-	-	少	-
34	オリーブ黒色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	少	-
35	黒褐色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	少	-
36	黒褐色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	少	161-22
37	黒褐色粘土	2, 353-1	-	-	-	-	-	-	-
38	黒褐色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	少	-
39	オリーブ黒色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	少	-
40	黒褐色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	少	-
41	オリーブ黒色粘土	353-2	-	-	-	-	-	-	-
42	黒褐色粘土	353-1	少	少	-	-	-	少	-
43	黒褐色粘土	353-1	少	少	-	-	-	少	-
44	黒褐色粘土	353-1	少	少	-	-	-	少	-
45	黒褐色粘土	353-1	少	少	-	-	-	少	-
46	黒褐色粘土	353-1	少	少	-	-	-	少	-
47	黒褐色粘土	353-1	少	少	-	-	-	少	-
48	黒褐色粘土	353-1	少	少	-	-	-	少	-
49	黒褐色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	少	-
50	オリーブ黒色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	少	-
51	オリーブ黒色シルト	2, 353-1	少	少	-	-	-	少	-
52	黒褐色粘土	353-1	少	少	-	-	-	少	-

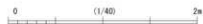
161-11・21

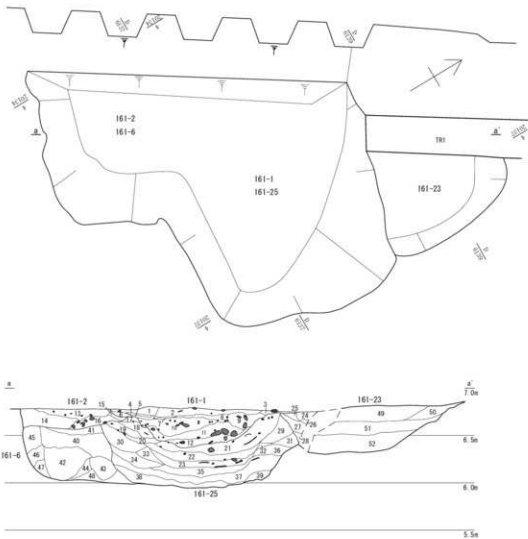
No.	土物・土層	上層No.	厚(t)	形状	壁土	有機質	灰分%	焼石%	遺構層
1	オリーブ黒色シルト	353-2	少	少	-	-	-	-	161-11
2	黒褐色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	-	-
3	オリーブ黒色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	-	-
4	黒褐色粘土	2, 353-2	少	少	-	-	-	-	-
5	オリーブ黒色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	-	-
6	オリーブ黒色シルト	353-2	少	少	-	-	-	-	-
7	オリーブ黒色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	-	-
8	オリーブ黒色粘土	353-2	少	少	-	-	-	-	-
9	オリーブ黒色粘土	353-1	少	少	-	-	-	-	161-21
10	オリーブ黒色粘土	353-1	少	少	-	-	-	-	-
11	黒褐色粘土	353-1	少	少	-	-	-	-	-
12	黒褐色粘土	353-1	少	少	-	-	-	-	-

161-4

No.	土物・土層	上層No.	厚(t)	形状	壁土	有機質	灰分%	焼石%	遺構層
1	オリーブ黒色シルト	353-2	少	少	-	-	-	-	161-4
2	オリーブ黒色シルト	353-2	少	少	-	-	-	-	-
3	オリーブ黒色粘土	353-2	少	少	-	-	-	-	-
4	オリーブ黒色粘土	353-2	少	少	-	-	-	-	-
5	オリーブ黒色粘土	353-2	少	少	-	-	-	-	-
6	オリーブ黒色粘土	2, 353-1	少	少	-	-	-	-	-
7	オリーブ黒色粘土	2, 353-2	少	少	-	-	-	-	-

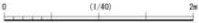
第64図 C街区 161-4・8・17・22・27 (縮尺1/60・1/40)





161-1・2・6・23・25

No.	土層・土質	上部%	粘土質土	砂質土	礫質土	黒土	赤土	遺構等	備考	No.	土層・土質	上部%	粘土質土	砂質土	礫質土	黒土	赤土	遺構等	備考
1	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	161-1		26	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
2	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		27	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
3	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		28	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
4	オリーブ黒粘質土	2.0	少	少	少	少	少	*		29	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
5	オリーブ黒粘質土	2.0	少	少	少	少	少	*		30	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
6	オリーブ黒粘質土	2.0	少	少	少	少	少	*		31	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
7	オリーブ黒粘質土	2.0	少	少	少	少	少	*		32	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
8	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		33	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
9	オリーブ黒粘質土	2.0	少	少	少	少	少	*		34	埋戻土	1.0	少	少	少	少	少		
10	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		35	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
11	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		36	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
12	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		37	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
13	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		38	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
14	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		39	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
15	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		40	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
16	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		41	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
17	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		42	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
18	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		43	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
19	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		44	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
20	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		45	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
21	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		46	オリーブ黒粘質土	1.0	少	少	少	少	少		
22	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		47	埋戻土	1.0	少	少	少	少	少		
23	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		48	埋戻土	1.0	少	少	少	少	少		
24	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		49	埋戻土	1.0	少	少	少	少	少		
25	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*		50	埋戻土	1.0	少	少	少	少	少		
26	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
27	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
28	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
29	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
30	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
31	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
32	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
33	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
34	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
35	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
36	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
37	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
38	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
39	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
40	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
41	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
42	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
43	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
44	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
45	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
46	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
47	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
48	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
49	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											
50	埋戻土	2.0	少	少	少	少	少	*											



第65図 屋敷地C-2 161-1・2・6・23・25 (縮尺1/40)

深さ0.37mのゆるくS字に蛇行する溝161-324が掘られている。

土坑161-280・289・290(第68図) これらは屋敷地C-2の土坑である。土坑161-289・290は、土坑161-277の東に離れて並ぶ。161-289は、径1.5～1.7mの歪な円形で、深さ0.34mである。土層に多量の炭化物を含む。161-290は、1.76m×1.66mの歪な隅丸方形で、深さ0.95mである。161-277・289間は約4m、161-289・290間は3～3.5m離れる。

2 下層の遺構

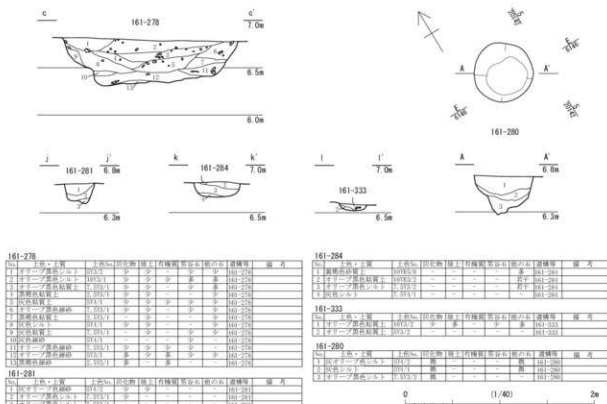
下層の遺構面は、FKJ16-1-2区で2面分(2・3面目)、FKJ16-1-1・3区で1面(2面目)を検出し、おもに奈良時代～平安時代の遺物を確認した。

1) 16-1-2区(第2・56図)

主要な遺構は、2面目に溝161-188があり、3面目に溝161-211や列になる土坑161-231・233・245・265・274、161-214・220・222・223等の土坑もしくは削平された溝の痕跡がある。なお、2・3面の間には0.3m前後の厚さの堆積土があるが、削平により検出面に差がないところが多く、遺物の出土しない遺構も多いため、すべてを分別し得ず混在する可能性がある。

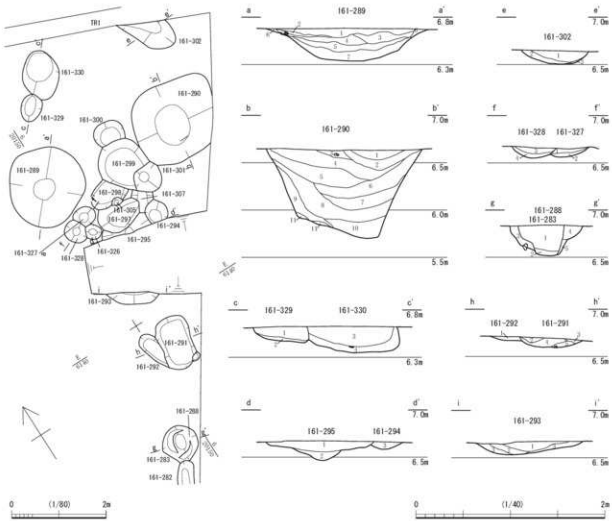
溝161-188(第69図) 検出長21.7m・最大幅2.56m・最小幅0.7m・深さ0.42m前後で、南から北に向かい緩やかに傾斜する。埋土はオリープ黒色粘質土と灰色粘質土が互層状に堆積し、北側では細砂やシルトが含まれる。遺物は須恵器の高台杯・甕が出土した。なお、この溝上に重複する161-191・192・193・196は径0.7m前後・深さ約0.15mの浅い土坑列であるが、高架側道5号線の調査で検出された古代の掘立柱建物等の柱穴列と方向性が揃う。

溝161-214(第70図) FKJ15-1調査区の溝151-300の延長と考えられる。南北1.64m・東西1.98



第67図 屋敷地C-2② 161-278・280・281・284・333(縮尺1/40)

第2節 FKJ16-1調査区の遺構



161-289

No.	土質・土層	土厚(m)	形状(輪)	層上	層下	層厚(m)	層の底	遺構層	備考
1	灰色粘質土	2.0/2.1	溝	-	-	-	-	-	層底粘土アゴツク 粘土多量含む
2	灰色粘質土	0.1/1.1	-	-	少	少	161-289	-	-
3	黒褐色粘質土	2.0/2.3	-	-	-	-	161-289	-	オリーブ黒色シロト ロコト多量含む
4	オリーブ黒色粘質土	0.1/1.1	少	-	-	-	161-289	-	-
5	黒褐色粘質土	2.0/2.3	-	-	-	-	161-289	-	オリーブ黒色シロト ロコト多量含む
6	灰色粘質土	2.0/2.1	-	-	-	-	161-289	-	-
7	灰色粘質土	0.1/1.1	-	-	-	-	161-289	-	-

161-290

No.	土質・土層	土厚(m)	形状(輪)	層上	層下	層厚(m)	層の底	遺構層	備考
1	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-290	-	-
2	オリーブ黒色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-290	-	-
3	灰色粘質土	2.0/2.1	溝	-	-	-	161-290	-	-
4	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-290	-	-
5	オリーブ黒色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-290	-	-
6	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-290	-	-
7	オリーブ黒色粘質土	2.0/2.3	溝	-	-	-	161-290	-	-
8	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-290	-	-
9	オリーブ黒色粘質土	2.0/2.2	溝	-	-	-	161-290	-	-

161-329・330

No.	土質・土層	土厚(m)	形状(輪)	層上	層下	層厚(m)	層の底	遺構層	備考
1	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-329	-	-
2	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-329	-	-
3	黒褐色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-330	-	-
4	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-330	-	-

161-294・295

No.	土質・土層	土厚(m)	形状(輪)	層上	層下	層厚(m)	層の底	遺構層	備考
1	オリーブ黒色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-294	-	-
2	黒褐色粘質土	2.0/2.2	溝	-	-	-	161-295	-	-
3	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-294	-	-

161-302

No.	土質・土層	土厚(m)	形状(輪)	層上	層下	層厚(m)	層の底	遺構層	備考
1	オリーブ黒色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-302	-	-
2	オリーブ黒色粘質土	2.0/2.1	溝	-	-	-	161-302	-	-
3	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-302	-	-

161-327・328

No.	土質・土層	土厚(m)	形状(輪)	層上	層下	層厚(m)	層の底	遺構層	備考
1	黒褐色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-327	-	-
2	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-328	-	-
3	黒褐色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-328	-	-
4	黒褐色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-328	-	-

161-283・288

No.	土質・土層	土厚(m)	形状(輪)	層上	層下	層厚(m)	層の底	遺構層	備考
1	黒褐色粘質土	2.0/2.1	溝	-	-	-	161-283	-	-
2	オリーブ黒色粘質土	2.0/2.2	溝	-	-	-	161-288	-	-
3	オリーブ黒色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-288	-	-
4	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-288	-	-
5	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-288	-	-

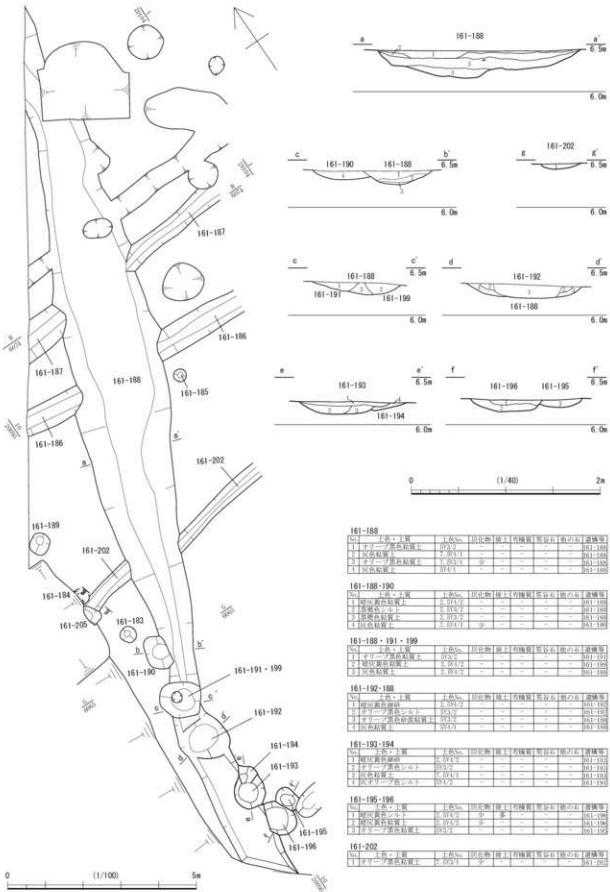
161-291・292

No.	土質・土層	土厚(m)	形状(輪)	層上	層下	層厚(m)	層の底	遺構層	備考
1	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-291	-	-
2	灰色粘質土	2.0/2.1	溝	-	-	-	161-292	-	-
3	オリーブ黒色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-291	-	-
4	オリーブ黒色粘質土	2.0/2.1	溝	-	-	-	161-292	-	-

161-293

No.	土質・土層	土厚(m)	形状(輪)	層上	層下	層厚(m)	層の底	遺構層	備考
1	オリーブ黒色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-293	-	-
2	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-293	-	-
3	灰色粘質土	0.1/1.1	溝	-	-	-	161-293	-	-

第68図 屋敷地C-2 161-280・283・288～295・302・327～330 (縮尺1/80・1/40)



161-188

No.	土器・土層	土色No.	目取輪ノ目	目取輪ノ目取付の形	遺構種
1	アサギノ形底結瓦上	010/2	-	-	011-100
2	底面結瓦上	010/2	-	-	011-100
3	アサギノ形底結瓦上	010/2	少	-	011-100
4	底面結瓦上	010/1	-	-	011-100

161-188・190

No.	土器・土層	土色No.	目取輪ノ目	目取輪ノ目取付の形	遺構種
1	阿波赤面結瓦上	010/1	-	-	011-100
2	阿波赤面結瓦上	010/2	-	-	011-100
3	阿波赤面結瓦上	010/2	少	-	011-100
4	阿波赤面結瓦上	010/1	少	-	011-100

161-188・191・199

No.	土器・土層	土色No.	目取輪ノ目	目取輪ノ目取付の形	遺構種
1	アサギノ形底結瓦上	010/2	-	-	011-100
2	阿波赤面結瓦上	010/2	少	-	011-100
3	阿波赤面結瓦上	010/1	-	-	011-100

161-192-188

No.	土器・土層	土色No.	目取輪ノ目	目取輪ノ目取付の形	遺構種
1	阿波赤面結瓦上	010/2	-	-	011-100
2	アサギノ形底結瓦上	010/2	-	-	011-100
3	アサギノ形底結瓦上	010/2	少	-	011-100
4	阿波赤面結瓦上	010/1	-	-	011-100

161-193-194

No.	土器・土層	土色No.	目取輪ノ目	目取輪ノ目取付の形	遺構種
1	阿波赤面結瓦上	010/2	-	-	011-100
2	阿波赤面結瓦上	010/2	少	-	011-100
3	阿波赤面結瓦上	010/1	-	-	011-100
4	阿波赤面結瓦上	010/2	-	-	011-100

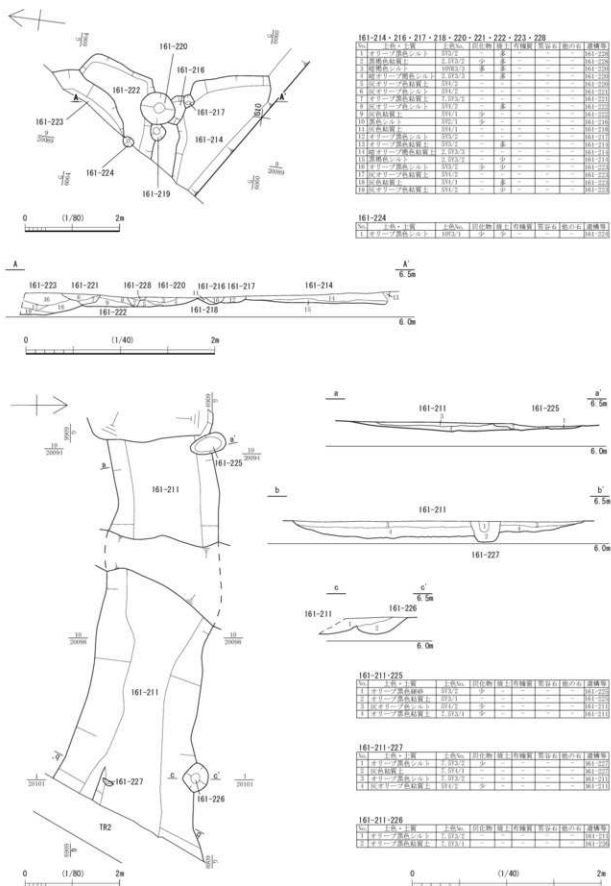
161-195-196

No.	土器・土層	土色No.	目取輪ノ目	目取輪ノ目取付の形	遺構種
1	阿波赤面結瓦上	010/2	少	-	011-100
2	阿波赤面結瓦上	010/2	-	-	011-100
3	アサギノ形底結瓦上	010/2	少	-	011-100

161-202

No.	土器・土層	土色No.	目取輪ノ目	目取輪ノ目取付の形	遺構種
1	アサギノ形底結瓦上	010/1	少	-	011-100

第 69 図 下層遺構 161-2 区 2 面目 161-180・188・191・192・199 (縮尺 1/40・1/100)



第70図 下層遺構 161-2区 3面目 211・214・216～218・220～228 (縮尺1/80・1/40)

m、深さ0.11mであり、南から延びた溝が西へ屈曲するように見える。しかし、土層断面にもみられるように161-214・222・223は南から北へと順次深くなっており、一連の溝底面の起伏に過ぎないようである。そして、南から北へ向かい下降する溝151-300と合致し、直線的に延びるものとみられる。

また、これらの埋土上から掘り込む161-216・220・221・228等がある。151-300上層にも同様な土坑等が認められる(第53図)。溝161-214埋土からは須恵器杯・甕が、151-300埋土からは須恵器のほか土師器の甕・小碗が出土した。

溝161-211(第70図) 検出長8.10m・幅2.33m・深さ0.19mで、西から東に向かいなだらかに下降する。埋土から須恵器片が出土した。また、この溝の埋土上から掘られる161-225・227と、この溝に切られる161-226がある。161-225は長径0.76m・短径0.39m・深さ0.09m、161-227は径0.32m・深さ0.22mであり、161-227から須恵器の杯・甕が出土した。161-226は長径0.56m・短径0.50m・深さ0.17mである。

土坑161-231・233・245・265・274(第71図) いずれも径約0.9～1.4m・深さ0.1～0.2mの浅い土坑である。概ね1.5～1.7m間隔で直線的に並び、溝161-211の北辺とはほぼ平行になる。溝161-188上の土坑列と同様、高架側道5号線地点で検出された柱穴列と軸がほぼ揃う。また、柱間寸法も高架側道5号線地点の小型柱穴の列(柱穴列1・3・5)と概ね同じ間隔であることから、同一時期となる可能性がある。ただし、これらの土坑列はいずれも浅く、構造物を構成する柱の痕跡と捉え難い。ただし、比較的足羽川に近いことから、上層が流失した可能性がある。

2) 16-1-1・3区(第2・56図)

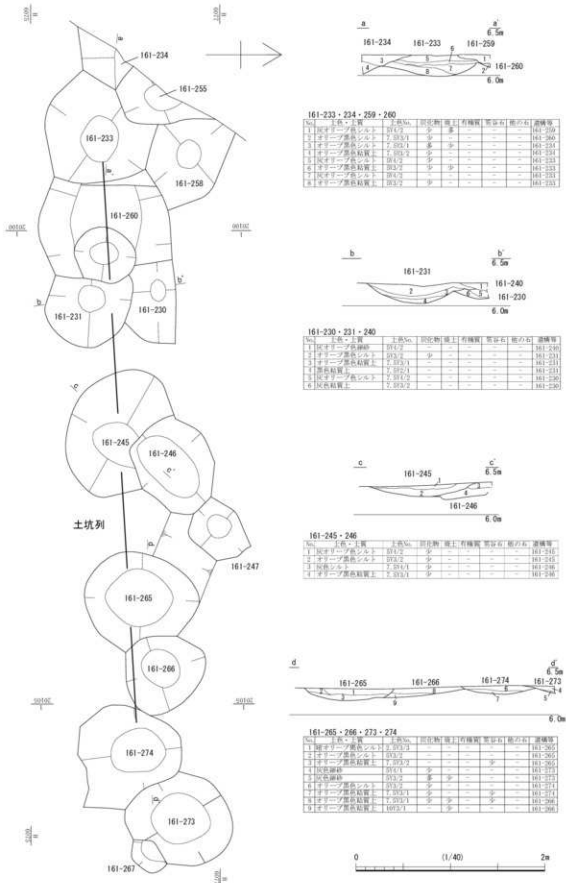
主要な遺構は、溝161-36・363、土坑161-41・341～344等がある。なお、南側の1区の南端は上層からの削平が深く及んでいるため、同一の検出面に新旧の遺構が混在する。

溝161-36(第72・73図) 検出長23.49m・幅1.94m・深さ0.6mで、北西方向へ緩やかに下降する。断面形状は逆台形を呈する。西隣のJR福井駅地点の調査ではこの溝の続きが確認されていないため、北側はほどなく途切れるようである。埋土上層から18世紀後葉以降の遺物が出土したほか、須恵器の杯・甕や布目瓦(丸瓦)が出土した。

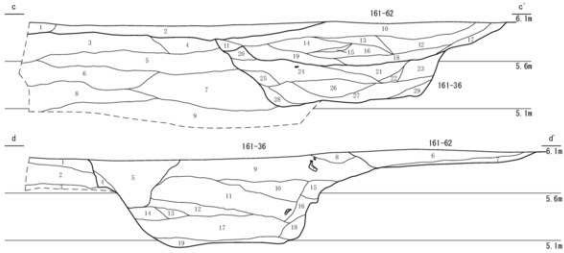
溝161-363(第75図) 直線的に10m程延び、東側が南へ屈曲する。検出長11.88m・幅1.91m・深さ0.42mであり、西側から東側へなだらかに下降する。埋土から須恵器の甕が出土した。

土坑161-41(第72図) 溝161-36に切られる長径0.73m・短径0.63m・深さ0.28mの土坑である。溝161-36より古い遺構であること以外、時期は不明である。

土坑161-341・342・343・344(第75図) 比較的大きな土坑が複数切り合っており、それぞれの形状や規模が判然としない。161-341・342・343は、径2m程度の歪な形状にまとまる。土層断面によりそれぞれの切り合い関係が観察され、343→342→341と掘られたことがわかる。161-344は、他の土坑からやや離れるものの161-343に一部切られるとともに、北側が攪乱される。径1.1～1.6m・深さ0.5mであり、平面形は歪な楕円形だが、断面形は擋鉢状となる。

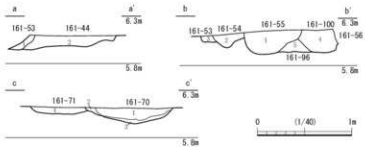
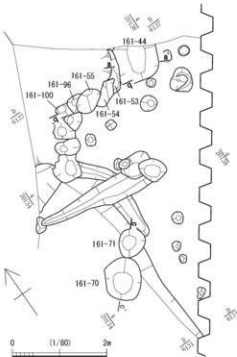
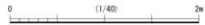


第71図 下層遺構 161-2区 3面目 土坑列 (縮尺1/40)



161-36							161-62								
No.	土名・土層	土層No.	目録物種	目録物種記号	他の名	遺構等	備考	No.	土名・土層	土層No.	目録物種	目録物種記号	他の名	遺構等	備考
1	表層シルト	10101	遺	-	-	-	-	1	表層シルト	10101	遺	-	-	-	-
2	表層粘質シルト	10102	遺	-	-	-	-	2	表層粘質シルト	10102	遺	-	-	-	-
3	表層シルト	10103	遺	-	-	-	-	3	表層シルト	10103	遺	-	-	-	-
4	表層粘質シルト	10104	遺	-	-	-	-	4	表層粘質シルト	10104	遺	-	-	-	-
5	表層シルト	10105	遺	-	-	-	-	5	中層一ツ葉粘質シルト	10105	遺	-	-	-	-
6	表層粘質シルト	10106	遺	-	-	-	-	6	中層一ツ葉粘質シルト	10106	遺	-	-	-	-
7	表層粘質シルト	10107	遺	-	-	-	-	7	中層粘質シルト	10107	遺	-	-	-	-
8	表層粘質シルト	10108	遺	-	-	-	-	8	中層粘質シルト	10108	遺	-	-	-	-
9	中層一ツ葉粘質シルト	10109	遺	-	-	-	-	9	中層一ツ葉粘質シルト	10109	遺	-	-	-	-
10	中層一ツ葉粘質シルト	10110	遺	-	-	-	-	10	中層一ツ葉粘質シルト	10110	遺	-	-	-	-
11	中層粘質シルト	10111	遺	-	-	-	-	11	中層粘質シルト	10111	遺	-	-	-	-
12	中層粘質シルト	10112	遺	-	-	-	-	12	中層粘質シルト	10112	遺	-	-	-	-
13	中層粘質シルト	10113	遺	-	-	-	-	13	中層粘質シルト	10113	遺	-	-	-	-
14	中層粘質シルト	10114	遺	-	-	-	-	14	中層粘質シルト	10114	遺	-	-	-	-
15	中層粘質シルト	10115	遺	-	-	-	-	15	中層粘質シルト	10115	遺	-	-	-	-
16	中層粘質シルト	10116	遺	-	-	-	-	16	中層粘質シルト	10116	遺	-	-	-	-
17	中層粘質シルト	10117	遺	-	-	-	-	17	中層粘質シルト	10117	遺	-	-	-	-
18	中層粘質シルト	10118	遺	-	-	-	-	18	中層粘質シルト	10118	遺	-	-	-	-
19	中層粘質シルト	10119	遺	-	-	-	-	19	中層粘質シルト	10119	遺	-	-	-	-
20	中層粘質シルト	10120	遺	-	-	-	-	20	中層粘質シルト	10120	遺	-	-	-	-
21	中層粘質シルト	10121	遺	-	-	-	-	21	中層粘質シルト	10121	遺	-	-	-	-
22	中層粘質シルト	10122	遺	-	-	-	-	22	中層粘質シルト	10122	遺	-	-	-	-
23	中層粘質シルト	10123	遺	-	-	-	-	23	中層粘質シルト	10123	遺	-	-	-	-
24	中層粘質シルト	10124	遺	-	-	-	-	24	中層粘質シルト	10124	遺	-	-	-	-
25	中層粘質シルト	10125	遺	-	-	-	-	25	中層粘質シルト	10125	遺	-	-	-	-
26	中層粘質シルト	10126	遺	-	-	-	-	26	中層粘質シルト	10126	遺	-	-	-	-
27	中層粘質シルト	10127	遺	-	-	-	-	27	中層粘質シルト	10127	遺	-	-	-	-
28	中層粘質シルト	10128	遺	-	-	-	-	28	中層粘質シルト	10128	遺	-	-	-	-
29	中層粘質シルト	10129	遺	-	-	-	-	29	中層粘質シルト	10129	遺	-	-	-	-
30	中層粘質シルト	10130	遺	-	-	-	-	30	中層粘質シルト	10130	遺	-	-	-	-

第73図 下層遺構 161-1区② 161-36 (縮尺1/40)

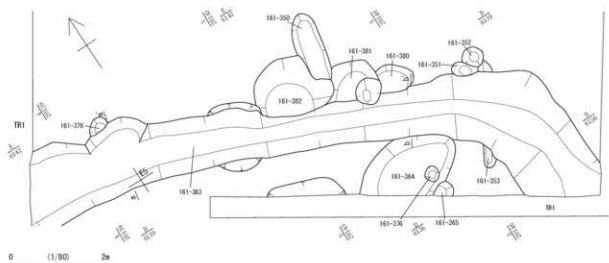


161-53~55・96・100							
No.	土名・土層	土層No.	目録物種	目録物種記号	他の名	遺構等	備考
1	中層一ツ葉粘質シルト	10121	遺	-	-	-	-
2	中層一ツ葉粘質シルト	10122	遺	-	-	-	-
3	中層一ツ葉粘質シルト	10123	遺	-	-	-	-
4	中層粘質シルト	10124	遺	-	-	-	-

161-44-53							
No.	土名・土層	土層No.	目録物種	目録物種記号	他の名	遺構等	備考
1	中層一ツ葉粘質シルト	10121	遺	-	-	-	-
2	中層一ツ葉粘質シルト	10122	遺	-	-	-	-

161-70-71							
No.	土名・土層	土層No.	目録物種	目録物種記号	他の名	遺構等	備考
1	中層一ツ葉粘質シルト	10121	遺	-	-	-	-
2	中層一ツ葉粘質シルト	10122	遺	-	-	-	-
3	中層一ツ葉粘質シルト	10123	遺	-	-	-	-
4	中層粘質シルト	10124	遺	-	-	-	-

第74図 下層遺構 161-1区 161-44・53~56・70・71・96・100 (縮尺1/80・1/40)

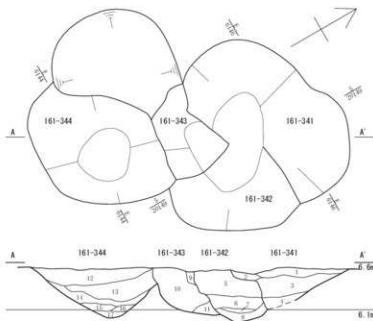
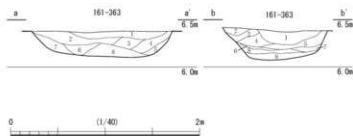


161-363

No.	土層・土質	土色 ₁₀	調査時 盛土有無	断面形状	傾斜	備考
1	灰砂粘質土	7, 20(F)	-	-	-	161-363
2	中子ノテ 灰砂粘質土	10(2)F	-	-	-	161-363
3	灰砂粘質土	10(F)	-	-	-	161-363
4	中子ノテ 灰砂粘質土	10(2)F	-	-	溝	161-363
5	灰砂粘質土	7, 20(F)	-	-	-	161-363
6	中子ノテ 灰砂粘質土	10(2)F	-	-	-	161-363
7	灰砂粘質土	10(F)	-	-	-	161-363
8	灰砂粘質土	7, 20(F)	-	-	-	161-363

161-363・364

No.	土層・土質	土色 ₁₀	調査時 盛土有無	断面形状	傾斜	備考
1	灰砂粘質土	10(F)	溝	-	-	161-363
2	灰砂粘質土	10(F)	-	-	-	161-363
3	中子ノテ 灰砂粘質土	10(2)F	-	-	-	161-363
4	中子ノテ 灰砂粘質土	7, 20(F)	-	-	-	161-363
5	灰砂粘質土	10(F)	-	-	-	161-363
6	中子ノテ 灰砂粘質土	10(2)F	-	-	-	161-363
7	灰砂粘質土	10(F)	-	-	-	161-363
8	中子ノテ 灰砂粘質土	10(2)F	-	-	-	161-363
9	灰砂粘質土	7, 20(F)	-	-	-	161-363



161-341・342・343・344

No.	土層・土質	土色 ₁₀	調査時 盛土有無	断面形状	傾斜	備考
1	灰砂粘質土	10(F)	-	-	-	161-341
2	中子ノテ 灰砂粘質土	10(2)F	少	-	-	161-341
3	中子ノテ 灰砂粘質土	10(2)F	少	-	-	161-341
4	灰砂粘質土	10(F)	少	-	-	161-341
5	灰砂粘質土	10(F)	少	-	-	161-341
6	中子ノテ 灰砂粘質土	10(2)F	-	-	-	161-341
7	灰砂粘質土	10(F)	-	-	-	161-341
8	中子ノテ 灰砂粘質土	10(2)F	-	-	-	161-341
9	灰砂粘質土	10(F)	-	-	-	161-341
10	中子ノテ 灰砂粘質土	10(2)F	少	-	-	161-341
11	中子ノテ 灰砂粘質土	10(2)F	少	-	-	161-341
12	中子ノテ 灰砂粘質土	10(2)F	少	-	-	161-341
13	灰砂粘質土	10(F)	-	-	-	161-341
14	中子ノテ 灰砂粘質土	10(2)F	-	-	-	161-341

第75図 下層遺構 161-3区 161-363・341～344 (縮尺1/80・1/40)

第3節 FKJ15-2調査区の遺構

FKJ15-2調査区は、長さ約95m・最大幅約20mで、北東-南西に延びる(第2図)。この調査区の遺構検出面は大きく4面に分けられる(第76・77図)。ただし、遺構の切り合い順を示すために面を分離・移動したものがあり、全体図の検出面の違いに時期差が反映されない場合がある。また、屋敷地や街区の単位で、整地・造成が行われているようであり、検出面の標高や出土遺物の時期が調査区全体では必ずしも揃わない。1面目は概ね17世紀後葉以降、2面目はおもに17世紀中葉～後半頃を中心とし、3面目は17世紀前葉～17世紀代、4面目は16～17世紀代の遺構・遺物が検出された。とくに3・4面目は異なる段階の石組水路や石列を分けて図示したため遺構が混淆する状況となるが、概ね3面目は17世紀前半頃、4面目は17世紀前半頃からそれ以前と分別される。

この調査区は、今回の報告分のうち、街区や屋敷地の変化が最も大きい(第3・4図)。城下絵図によると、築城当初の17世紀前葉頃には、調査区を南北に抜ける道路の中ほどから東へ延びる道路が枝分かれしており、その枝道の南北に町屋が配されていた。南北道路の西側は城下絵図に描かれた「沼」の表記が迫る位置に近く、調査区内の道路西側北半部は空き地となっていた可能性が高い。17世紀中葉頃には、南北道路西側の整備が若干進んで、町屋が配置されるようになる。17世紀後葉になると、東へ延びる枝道が廃止されるとともに町屋の配置が変更され、あたりは武家屋敷地として再編される。以降、近代に至るまで街区変更等の大きな変化はない。

この調査区の街区は、南北に抜ける道路152-32により東西に二分される。また、北側には東西に延びる石組水路152-2があり、この水路は江戸時代を通して屋敷地等の境として存続した。これら南北道路と石組水路に区分される3つの区画を街区として捉える。3つの街区のうち、道路西側はFKJ16-1調査区から続くC街区であり、最大3軒分の屋敷地となる(屋敷地C-3～5)。道路東側をD街区とする。D街区は、17世紀中葉頃以降は武家屋敷地1軒分におさまるが、それ以前には東に延びる枝道152-135とその南北両側に展開する町屋の部分にあたる。なお、城下絵図には町屋地の範囲が示されるのみで、町屋の軒数までは記されていない。また、道路を挟んで並ぶ町屋地が一つの町として扱われるため、この道路では敢えて街区を分けない。石組水路152-2の北側をE街区とする。E街区は、C・D街区の町屋地に再編等の変化がみられるのに対し、江戸時代を通して町屋地のままの区画であるため、街区として分けた。

以下、街区ごとに主要な遺構について報告する。

1 C街区の遺構

城下絵図によると、17世紀後葉以降の1面目の段階に3軒の屋敷地(屋敷地C-3～5)があるが、それらの屋敷地に関わる遺構は明確でない。唯一、屋敷地C-3の南の境に関わる遺構として溝152-36があげられる。このほか、僅かに調査区外となるが、石組水路152-2の西側へ延長したところが屋敷地C-5の北辺となる。この間の2つの屋敷地は、城下絵図に描かれた寸法によると、屋敷地C-3・4の境が土塀基礎152-99の北端あたりか廃棄土坑152-165・166あたりとなり、屋敷地C-4・5の境が道路側溝152-83の北端あたりか、その北に位置する攪乱のあたりとなる。これら3軒分の屋敷地(C-3～5)はいずれも武家屋敷地である。17世紀中葉～後半頃の2面目の段階には、南北に二分されて北側は町屋地、南側は1軒分の屋敷地(C-3)となる。町屋地と武家屋敷地の境界は、1面目の屋敷地C-3・4境と同様な位置とみられ、石組溝(暗渠)152-104西端から廃棄土坑152-177・180あたりとなる。2面目の屋敷地C-3の南端は、1面目より南側に位置するようであり、この調査区と南の

FKJ16-1 調査区ととの間の未調査部分となる。17世紀前半頃の3面目段階は、2面目とはほぼ変わらない位置に屋敷地境があるようだが、屋敷境を示すような遺構は確認されない。4面目には、16世紀にさかのぼる遺物が出土した溝152-367がある。南北道路下層に延びており、築城以前の溝であることは明らかだが、後の屋敷地C-3・4境と同様な位置であるため、築城時の城下街割の割り付けのための溝だったか、あるいは福井城以前の街割が若干の改変を加えながらも引き継がれたことが考えられる。

1) 屋敷地C-3 (第3・76図)

主要な遺構は、1面目では屋敷地C-3の南境を示すとみられる溝152-36、水道設備の竹樋152-78・79・140と埋設樽152-82・139、土塀基礎152-99、建物跡(礎石列等152-47・98)、廃棄土坑152-165・166・177・180等がある。

溝152-36 (第78図) 幅0.8m、深さ0.4m、延長約11mの素掘りの溝で、土坑152-49に切られる。18世紀前半以降の遺物が出土した。

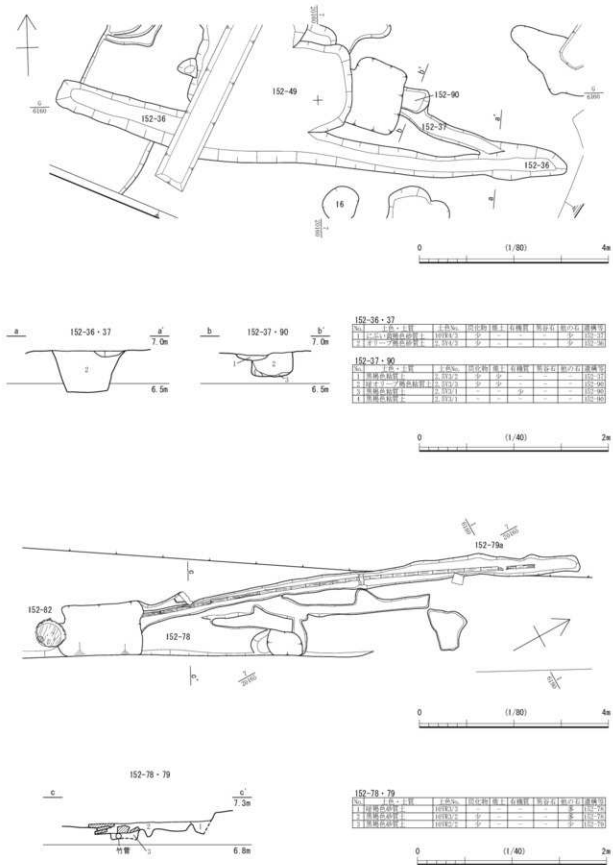
水道設備(竹樋152-78・79・140 埋設樽152-82・139) (第76・78図) 竹樋152-78・79は、節を貫いた竹筒2本を、刳り貫いた長さ約0.3mの角材を継ぎ手として連結した状態の延長8.4m分が残存する。竹樋152-79の南は攪乱に切られるが、その攪乱南側の竹樋の延長上に埋設樽152-82があり、本来は連結していたものと思われる。埋設樽152-82は、削平されて上部を欠き、桶状となる。竹樋152-79の北端から約9.5m離れて竹樋152-140・埋設樽152-139がある。これら両系統が連結していたかは不明である。これらは上水道として18世紀後半以降近代まで使用されていたようである。なお、埋設樽152-82の南側約8.5mに位置する溝152-55・74、井戸152-56等は、内部に竹樋や樽等は残存しないが、平面形状から一連の水道設備を構成したことが考えられる。

井戸152-56・152 (第79図) 遺構全体図で井戸152-56は1面目、井戸152-152は2面目の井戸とされるが、両者の検出面に差はない。井戸152-56は、径1.1m、深さ1.4mの素掘りの井戸である。溝152-55が連結しており、竹樋や桶等は残存しないが、水道設備と接続していた可能性がある。出土遺物の時期は18世紀後半以降である。井戸152-152は、径1.1m、深さ0.9mの素掘りの井戸である。出土遺物の時期は18世紀である。

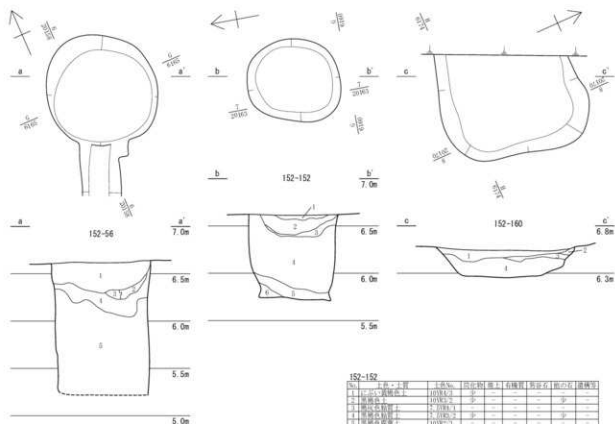
土塀基礎152-99 (第76・81図) 道路に沿って延びる笏谷石割石の堆積であり、土塀の基礎の残欠と判断される。最大幅約1m、延長約12m分が残存する。両端とも攪乱により失われるが、どちらも屋敷地C-3の境まで続いていたと想定される。割石堆積の隙間から18世紀前半以降の遺物が出土した。

建物跡(礎石列等152-47・98) (第81図) 152-47は、長さ約0.9m・幅約0.2mの笏谷石製の地覆石を並べた建物基礎である。地覆石の位置とはほぼ重なる下層に礎石列152-98がある。これは、建て替え痕跡ではなく、地覆石列152-47を調整して固定するために礎石列152-98を据えたものと考えられる。これらの周辺からは18世紀後半以降の遺物が出土した。この建物の西辺は攪乱により不明であり、建物規模は4.0m×5.4m以上となる。なお、この建物の北壁が推定される位置のすぐ脇にまで152-166等の廃棄土坑群が迫っており、この建物も廃棄土坑群も同一の屋敷地内に属することが考えられる。

廃棄土坑152-165・157・165・166・177・180 (第76・80図) 1・2面目のほぼ同じ位置で継続した廃棄土坑である。18世紀前半に152-180→177、18世紀後半以降に165・166→156・157が順次営まれた。なお、このうち152-166から出土した木製の漆刷毛の柄に「望月□□(八郎カ)左衛門」の墨書が確認された。城下絵図によると、18世紀後半から明治に至るまで屋敷地C-3が望月氏邸だったことが確認される。代々、八郎右衛門等と名のり、安永から文化頃(1772～1805)までは八郎左衛門を名のつ



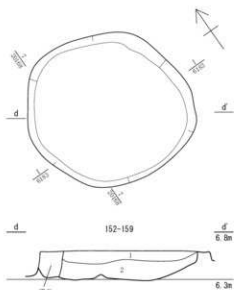
第78図 C街区 1面目 152-36・37・78・79・90 (縮尺1/40・1/80)



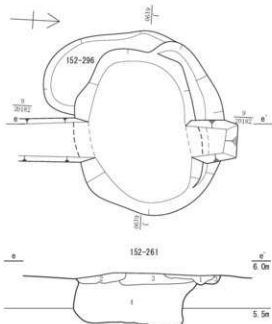
No.	土質・土層	土層No.	図位(約)	層厚	石積層	築設年代	築設方法	築設状況	遺構No.
1	硬質粘土層	152-56-1	2	0.5	-	-	-	-	-
2	硬質粘土層	152-56-2	3	0.5	-	-	-	-	-
3	硬質粘土層	152-56-3	4	0.5	-	-	-	-	-
4	硬質粘土層	152-56-4	5	0.5	-	-	-	-	-

No.	土質・土層	土層No.	図位(約)	層厚	石積層	築設年代	築設方法	築設状況	遺構No.
1	硬質粘土層	152-152-1	1	0.5	-	-	-	-	-
2	硬質粘土層	152-152-2	2	0.5	-	-	-	-	-
3	硬質粘土層	152-152-3	3	0.5	-	-	-	-	-
4	硬質粘土層	152-152-4	4	0.5	-	-	-	-	-

No.	土質・土層	土層No.	図位(約)	層厚	石積層	築設年代	築設方法	築設状況	遺構No.
1	硬質粘土層	152-160-1	1	0.5	-	-	-	-	-
2	硬質粘土層	152-160-2	2	0.5	-	-	-	-	-
3	硬質粘土層	152-160-3	3	0.5	-	-	-	-	-
4	硬質粘土層	152-160-4	4	0.5	-	-	-	-	-

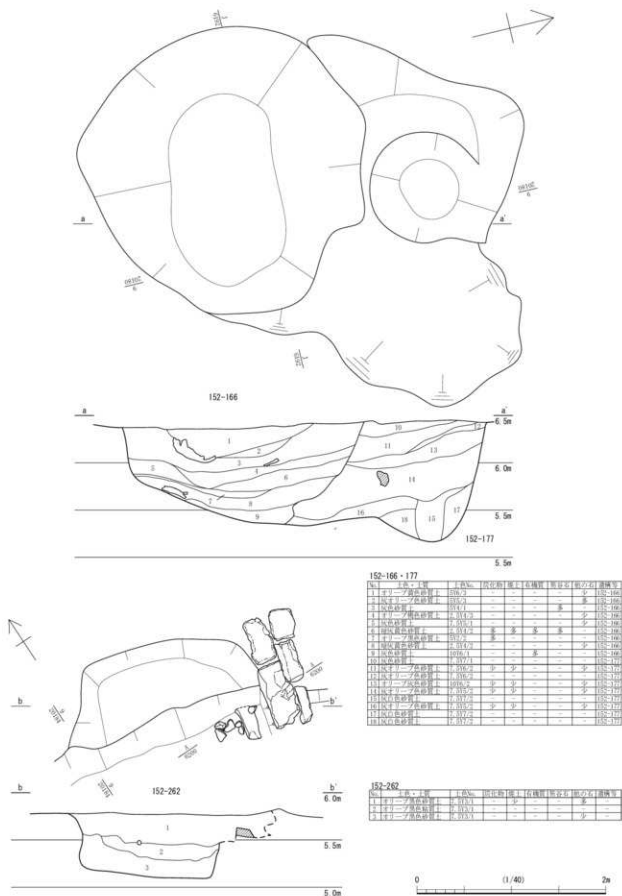


No.	土質・土層	土層No.	図位(約)	層厚	石積層	築設年代	築設方法	築設状況	遺構No.
1	硬質粘土層	152-159-1	1	0.5	-	-	-	-	-
2	硬質粘土層	152-159-2	2	0.5	-	-	-	-	-



No.	土質・土層	土層No.	図位(約)	層厚	石積層	築設年代	築設方法	築設状況	遺構No.
1	硬質粘土層	152-261-1	1	0.5	-	-	-	-	-
2	硬質粘土層	152-261-2	2	0.5	-	-	-	-	-
3	硬質粘土層	152-261-3	3	0.5	-	-	-	-	-
4	硬質粘土層	152-261-4	4	0.5	-	-	-	-	-

第79図 C街区 1・2面目 152-56・152・159・160・261 (縮尺1/40)



第80図 C街区 1・2目面 152-166・177・262 (縮尺1/40)

たようである。これにより、廃棄土坑152-166とその付近の遺構が屋敷地C-3に属する可能性が高まった。

埋壘 152-33～35 (第76図) 越前焼の甕を据えた、径0.35m前後の土坑である。削平のため甕の上半は欠失する。152-34・35は約0.8m離れて東西に並び、152-33は35の北へ4.3m程離れる。これらの性格は不明であるが、近接する152-34・35は便所遺構の可能性が考えられる。

2) 屋敷地C-4・5 (第3・76図)

屋敷地C-4・5は、全体に削平され遺構の残存状況が悪い。なお、屋敷地C-4・5間の境となる遺構は確認されていない。また、道路西側に石組側溝152-83があるが北側へは延びず、屋敷地との区画設備に関わる遺構は確認されていない。

3) 町屋地 (第3・76・77図)

屋敷地C-4・5の2面目以下は町屋地である。町屋地内の屋敷割は区画設備の痕跡が残存しないため不明だが、各敷地形状は道路に小口を向ける短冊形だったと想像される。主要な遺構は、石組水路152-178、石組井戸152-226、建物跡(礎石列152-237、礎石152-264～266・309)等がある。なお、町屋地の南境は1面目の屋敷地C-3・4境と同じ位置とみられ、石組水路152-178から繋がる石組溝が暗渠となり道路を横断するあたりが町屋地の南限となる。

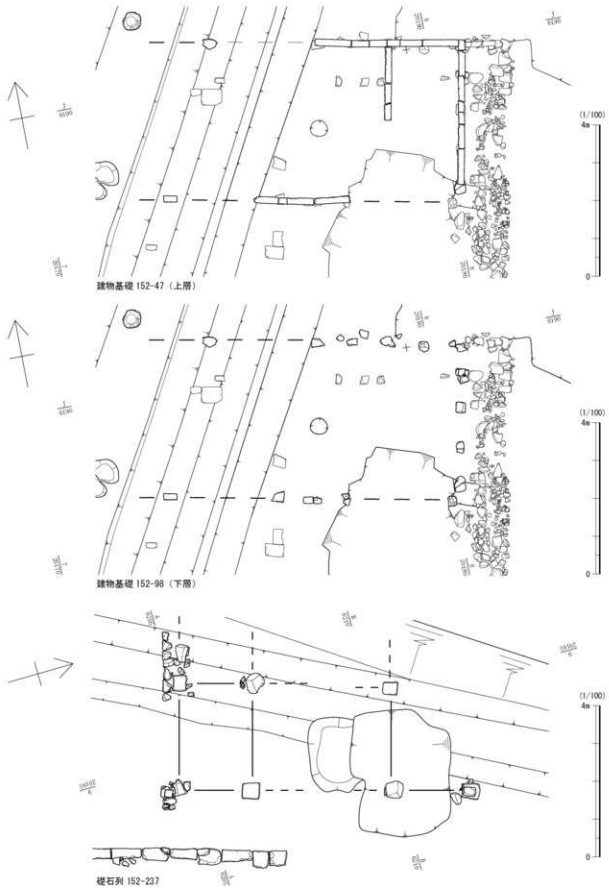
石組水路152-178(第82図) 幅約0.5m、深さ約1.5mで、延長約8.0mを確認した。向かい合う石組は、南側が約0.5m低い位置から積まれている。石組の石材は、笏谷石の割石が使用される。東側約2.5m分が攪乱により約1mの深さで石組ごと削られており、出土遺物に18世紀中頃までのものが混入していたが、本来は17世紀後葉の街区再編のため武家屋敷地として整備された際に埋没したようである。なお、攪乱部分の南側に接する石組遺構152-288は、内部に石を組んだり扁平な石材を立てたりしている。残存するのは深さ0.4m程度だが、152-178同様に約1mは失われている。溜槽あるいは井戸として使われたことが考えられる。

石組井戸152-226(第83・85図) 石組遺構152-288や石組水路152-178のように上層を削平されるが、それ以前に廃絶している。掘り方規模は検出面で径1.8～2.0m、深さ2.3mである。底面には内径0.55～0.6m、高さ0.4mの石組が残る。土層観察により、その石組上に径0.4～0.6m、深さ1.5m以上の桶側の抜き取り痕が確認される。出土遺物は17世紀中葉以前のものに限られるため、周辺を町屋地として整備したときに廃絶したことになり、築城当初あるいはそれ以前に造られた井戸となる。

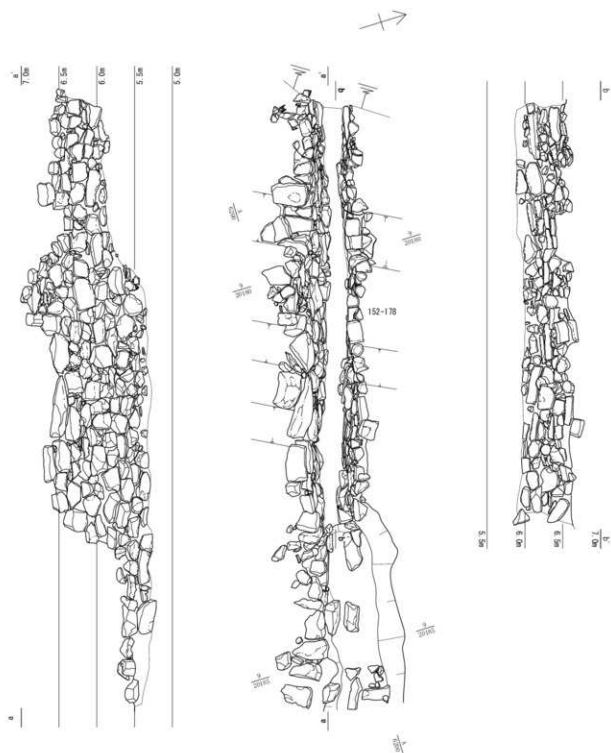
建物跡(礎石列152-237)(第81図) 8つの礎石があり、そのうちの7つが長方形に並ぶ。しかし、これが1軒の建物を構成するかは不明である。この礎石列の南には一部が抜けるものの石列があり、さらに西へ延びており、南端の礎石列には西にもう1石あるため、建物が西へ延びる可能性が高い。東西に長い短冊形の敷地に合わせた建物が想像される。

礎石152-202・204・205・207・264～266・295・309(第83・84図) 石組水路152-178の南側から石列152-186の間に多くの土坑が検出されており、そのうちの152-202・204・205・207には内部に扁平な笏谷石が礎石として据えられている。ただし、四角く並ばないため、これらが一つの建物を構成したとは言えない。また、それらの土坑群は南の石列152-186で一区切りとなるが、さらに南に離れて単独で152-295が検出されている。これも、内部に上面が平らな礫が据えられた土坑だが、どのような構造物を構成したか不明である。

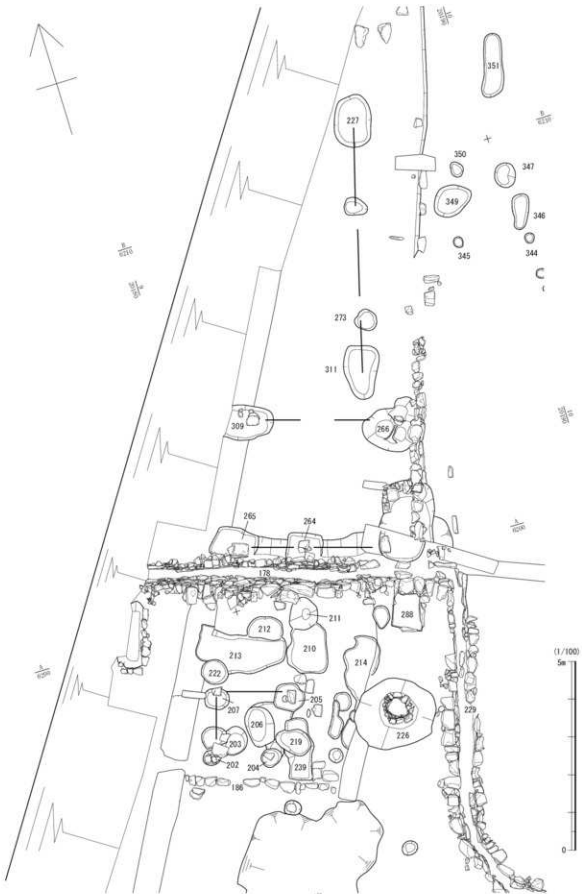
石組水路152-178の北側には、152-264・265等による礎石列があり、この北に約3.5m離れて平行に並ぶ152-266・309があるが、礎石の数や位置があわないため、これらも一つの建物を構成したと



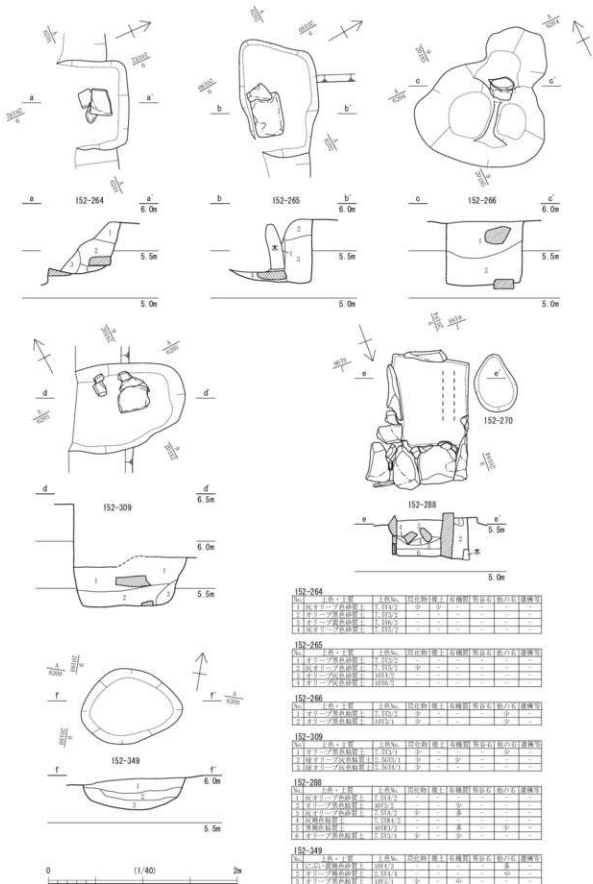
第81図 C街区 1・2面目 建物跡 (縮尺1/100)



第82図 C街区 2・3面目 152-178 (縮尺1/50)



第83図 C街区 3面目 礎石列 (縮尺1/50)



152-264

No.	土壌・土質	土粒No.	図位跡ノ目	石ノ目	瓦ノ目	灰瓦ノ目	石ノ目	瓦ノ目
1	152-264-1	152-264-1	少	少	-	-	-	-
2	152-264-2	152-264-2	少	少	-	-	-	-
3	152-264-3	152-264-3	-	-	-	-	-	-
4	152-264-4	152-264-4	-	-	-	-	-	-

152-265

No.	土壌・土質	土粒No.	図位跡ノ目	石ノ目	瓦ノ目	灰瓦ノ目	石ノ目	瓦ノ目
1	152-265-1	152-265-1	少	少	-	-	-	-
2	152-265-2	152-265-2	少	少	-	-	-	-
3	152-265-3	152-265-3	少	少	-	-	-	-
4	152-265-4	152-265-4	少	少	-	-	-	-

152-266

No.	土壌・土質	土粒No.	図位跡ノ目	石ノ目	瓦ノ目	灰瓦ノ目	石ノ目	瓦ノ目
1	152-266-1	152-266-1	少	少	-	-	-	-
2	152-266-2	152-266-2	少	少	-	-	-	-

152-309

No.	土壌・土質	土粒No.	図位跡ノ目	石ノ目	瓦ノ目	灰瓦ノ目	石ノ目	瓦ノ目
1	152-309-1	152-309-1	少	少	-	-	-	-
2	152-309-2	152-309-2	少	少	-	-	-	-
3	152-309-3	152-309-3	少	少	-	-	-	-

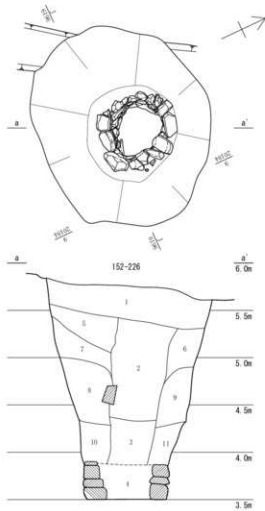
152-288

No.	土壌・土質	土粒No.	図位跡ノ目	石ノ目	瓦ノ目	灰瓦ノ目	石ノ目	瓦ノ目
1	152-288-1	152-288-1	少	少	-	-	-	-
2	152-288-2	152-288-2	少	少	-	-	-	-
3	152-288-3	152-288-3	少	少	-	-	-	-
4	152-288-4	152-288-4	少	少	-	-	-	-
5	152-288-5	152-288-5	少	少	-	-	-	-
6	152-288-6	152-288-6	少	少	-	-	-	-
7	152-288-7	152-288-7	少	少	-	-	-	-
8	152-288-8	152-288-8	少	少	-	-	-	-

152-349

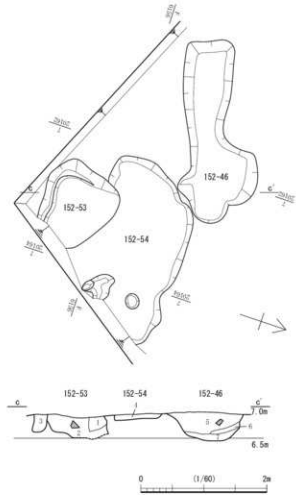
No.	土壌・土質	土粒No.	図位跡ノ目	石ノ目	瓦ノ目	灰瓦ノ目	石ノ目	瓦ノ目
1	152-349-1	152-349-1	-	-	-	-	基	-
2	152-349-2	152-349-2	-	-	-	-	基	-
3	152-349-3	152-349-3	少	少	-	-	-	-

第84図 C街区 3面目 152-264・265・266・288・309・349 (縮尺1/40)



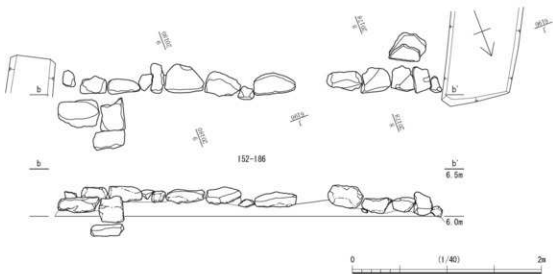
152-226

No.	調査内容	土質	厚	状況	層	有雑質	層厚	掘り方	遺構
1	表土	107.7	2	SP	-	-	-	-	-
2	1層	107.3	2	SP	-	-	-	-	-
3	2層	106.9	2	SP	-	-	-	-	-
4	3層	106.5	2	SP	-	-	-	-	-
5	4層	106.1	2	SP	-	-	-	-	-
6	5層	105.7	2	SP	-	-	-	-	-
7	6層	105.3	2	SP	-	-	-	-	-
8	7層	104.9	2	SP	-	-	-	-	-
9	8層	104.5	2	SP	-	-	-	-	-
10	9層	104.1	2	SP	-	-	-	-	-
11	10層	103.7	2	SP	-	-	-	-	-
12	11層	103.3	2	SP	-	-	-	-	-
13	12層	102.9	2	SP	-	-	-	-	-
14	13層	102.5	2	SP	-	-	-	-	-
15	14層	102.1	2	SP	-	-	-	-	-
16	15層	101.7	2	SP	-	-	-	-	-
17	16層	101.3	2	SP	-	-	-	-	-
18	17層	100.9	2	SP	-	-	-	-	-
19	18層	100.5	2	SP	-	-	-	-	-
20	19層	100.1	2	SP	-	-	-	-	-



152-46・53・56

No.	調査内容	土質	厚	状況	層	有雑質	層厚	掘り方	遺構
1	表土	107.7	2	SP	-	-	-	-	-
2	1層	107.3	2	SP	-	-	-	-	-
3	2層	106.9	2	SP	-	-	-	-	-
4	3層	106.5	2	SP	-	-	-	-	-
5	4層	106.1	2	SP	-	-	-	-	-
6	5層	105.7	2	SP	-	-	-	-	-
7	6層	105.3	2	SP	-	-	-	-	-
8	7層	104.9	2	SP	-	-	-	-	-
9	8層	104.5	2	SP	-	-	-	-	-
10	9層	104.1	2	SP	-	-	-	-	-
11	10層	103.7	2	SP	-	-	-	-	-
12	11層	103.3	2	SP	-	-	-	-	-
13	12層	102.9	2	SP	-	-	-	-	-
14	13層	102.5	2	SP	-	-	-	-	-
15	14層	102.1	2	SP	-	-	-	-	-
16	15層	101.7	2	SP	-	-	-	-	-
17	16層	101.3	2	SP	-	-	-	-	-
18	17層	100.9	2	SP	-	-	-	-	-
19	18層	100.5	2	SP	-	-	-	-	-
20	19層	100.1	2	SP	-	-	-	-	-



第85図 C街区 3面目 152-46・53・56・226 (縮尺1/40・1/60)

は言えない。なお、152-266の北側にある152-227・273・311等の4つの土坑は、道路に対して平行に並び、規模や配置が左右対称的になるため、敷地への入り口となる門の痕跡である可能性がある。

2 道路と周辺の遺構

道路152-32は、嵩上げしつつ4面以上の砂利敷き舗装が為されており、それに伴い側溝や路面下の暗渠が造り替えられている。全体図の2面目以下には、道路152-32の東側に枝道152-135がある。

1 面目 1面目の道路は、南北に延びる直線道路（道路152-32）のみであり、部分的に側溝や塀等の基礎になる地覆石列・礎堆積等が残存する。道路の西側に土塀基礎152-99、石組側溝152-83、道路東側に地覆石列152-84、石組側溝152-3のほか、路面側に面を描いて縁石状に並ぶ石列152-132・85a等がある。1面目は広範囲に攪乱されて石列や側溝が分断されるが、側溝152-83は北側の石組水路152-2の方へは延びていなかったようである。E街区にある石組側溝152-3については、南の石組水路152-2へ流水を落とす構造となっている（第100・103図）。

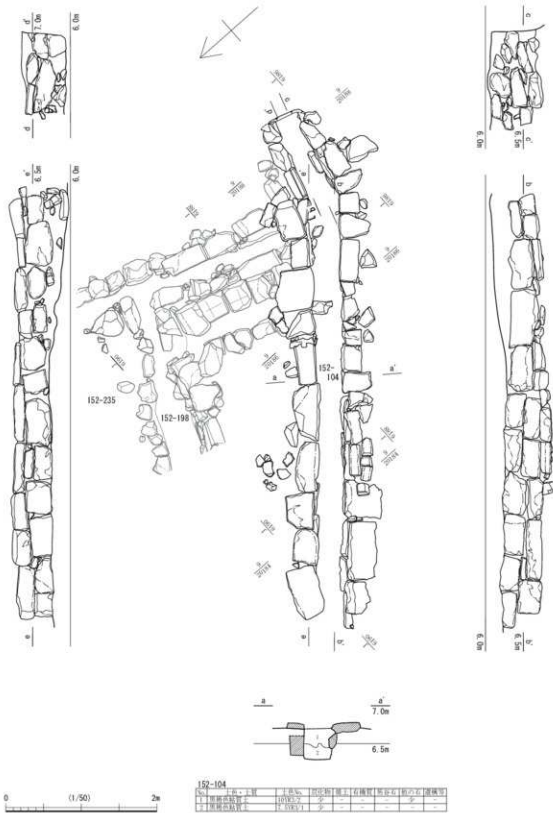
なお、地覆石列152-84は、長さ0.6～0.9m・幅0.2mの笏谷石の延石8本、約7m分が残存する。地覆石上面には概ね14cm×4cmの長方形の柄穴が約0.9m間隔で穿たれ、そのほか正方形の柄穴も認められる（第92図）。また、各地覆石を並べた雑目あたりの下に30cm大の扁平で方形の石材があり、屋敷地C-3の地覆石列152-47と同様、高さ等を調整して固定するため下に据えたものとみられる。この礎石状石材は、2面目の石列152-171の上に載るような位置関係である。

2 面目 2面目では、枝道152-135の両側に面する石列152-87・172・173を検出した一方で、その上に重複するように直線的に延びる段階の道路152-32に沿う石列152-171をあわせて検出しており、道路や街区の過渡期の状況を示している。

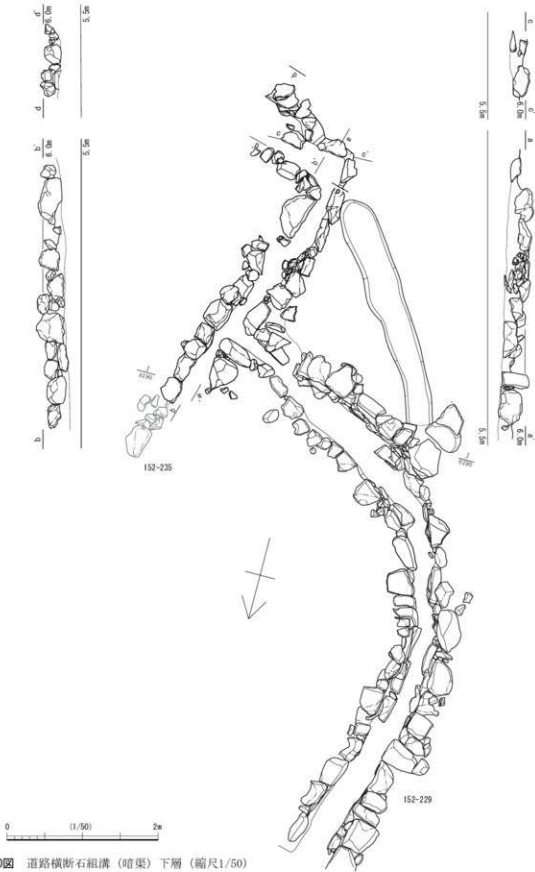
道路西側の石列152-138（第87図）は、路肩を補強するように屋敷地側に面を描える約17m分が残存する。この南端に暗渠152-104が、中央付近には石組水路152-178が連結しており、両者をつなぐ152-138の南半分は溝状になっていたようだが、攪乱により対になる石列が失われ、僅かな石材が残るのみである。なお、1面目の側溝152-83は、道路側は152-138のほぼ真上に載るが、対になる西側石列の下層に石列が検出されないため、2面目段階には側溝として整備されていなかったことがわかる。流水は道路の東から暗渠152-104と152-138南側を経て、石組水路152-178を西へ流れた。

道路東側の石列152-137・171等は、道路側に面を描えて直線的に延びる12m以上が残存する。直線的に延びる152-171の北端から約2mのところには、東に折れて、枝道の南縁に沿って延びる石材が僅かに残り、それに繋がるように石列152-172・173がある。石列152-137・171の石材上面には、柄穴や十字の線刻が施されるものがいくつか確認されるため、塀等の地覆石となることが考えられる。なお、石列152-87は、枝道の北に沿い、道路側に面を描える約3.5m分が残存する。

3 面目 3面目の道路は、舗装部分は2面目と同様、直線道路152-32と枝道152-135からなる。道路西側では、石組水路152-178と繋がる石組溝152-229が、道路西側に沿って約6m直線的に南へ延び、緩やかに湾曲しつつ道路を横断する。道路を横断する部分は1・2面目の暗渠152-104の前身の暗渠となる。しかし、その前段階には道路を斜めに直線的に横断した流路を一部変更したことが、石材を除去された溝状遺構の存在から窺える（第77・88・90図）。道路東側では、調査区外から延びる溝が北へ屈曲し、道路に沿って約2.5m延びて、再び西へ方向を変えて暗渠152-104へ繋がる。その前段階には、東の調査区外から延びる溝は、やや方向を変える程度で直接暗渠152-104に繋がっていた。152-229となり、東側で細かく屈曲するため不具合が起きやすくなったことが予想され、その



第89図 道路横断石組溝（暗渠）上層（縮尺1/50）



第90図 道路横断石組溝（暗渠）下層（縮尺1/50）

解消のためか屈曲部の石組を何度か造り替えており（石列152-197・198・199）、最終的に再び直線的な暗渠152-104に帰結したようである（第77・89図 写真図版第18-1～3）。なお、石組溝152-229の道路西側に沿う部分の下層には、直線的に延びる石組溝152-361がある。

また、道路東側には道路側に面を揃える石列が二重に検出されている（第77・91図）。当初は、石列152-197・225・235が道路に面していたが、おそらく道路を斜めに横断した暗渠の方向を修正したのと同時期に、石列152-187・198・224を整備したものとみられる。これにより道路が1m前後狭くなっている。これらの石列の北端は東へ屈曲し、枝道の南に沿う石列152-223・353となる。石列152-223・353西端付近の石材は、当初の152-225と連なる部分と新たな152-224と連なる部分とで、角石以外は寸法が異なる。どちらも粗割石ながら、新たな石列の石材が小型化している。なお、この後の嵩上げでは、再び当初の石列152-197・225・235上に、整った形状の石材による石列152-137・171が敷設され、道路幅が戻る。この道路152-32の幅の変遷は、枝道152-135の北側でも同様であったようで、敷地区画石列152-190として括られたうちの、西側の二重に残存する石列がそれぞれに対応する。

枝道152-135は築城当初から存在する道路であり、最下層の道路中心部に確認された幅0.3m前後・長さ約5mの直線的な溝状の落ち込みは、街区整備のための割り付け基準線であると推定される。この道路は、嵩上げしつづつ4度におよぶ砂利敷き舗装が為されるが、17世紀後葉の街区再編に伴い廃止されて、一軒の武家屋敷地内に取り込まれ、土壌改良のために埋め込まれている。

3 D街区の遺構

D街区は、1面目の段階には武家屋敷地1軒分（屋敷地D-1）におさまるが、2面目以下の17世紀後葉以前は町屋地で、東に延びる枝道152-135の南北両側に町屋が向かい合っており並んだものと思われる。

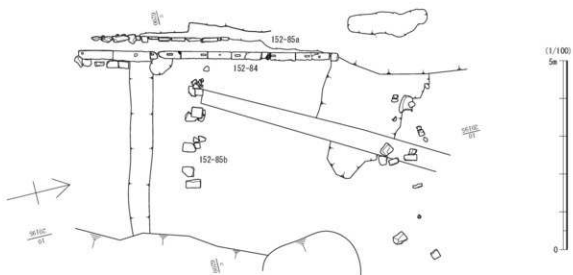
1) 屋敷地D-1（第3・76図）

1面目の遺構は、土蔵基礎152-81、礎石列152-85b等がある。

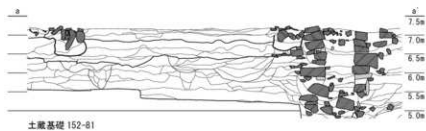
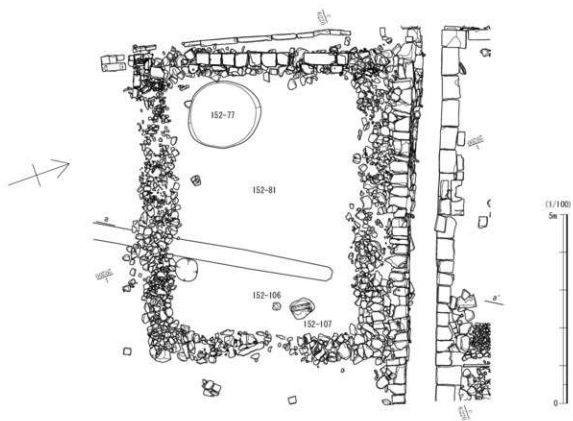
土蔵基礎152-81（第92図） 幅0.8m前後・深さ0.7m前後の溝を、東西約8m・南北6.5m前後の規模で四角く巡らせ、内部に拳大から人頭大を超える笏谷石の割石を詰めて基礎とする。その西側の一部には比較的整美に整えた石材が並んで残存し、土蔵の土台となる石積みの一部だと思われる。

この基礎の内側東端あたりに、大小の土坑がある。小規模な土坑152-106は、直径0.2m・深さ0.12mで、内部に口縁部を合わせた2枚の土師質皿が埋納されていた。土師質皿の中には初殻が残存し、2枚の内面には僅かながら金箔の付着が認められた。また、1枚の内面には1文字の墨書があり、「御」の鏡文字のように見える。2枚の外面には漆様のものが緊縛した跡のように筋状に付着する。もう一つの土坑152-107は、長径0.6m・短径0.46m・深さ0.35mで、内部に板材と1枚の土師質皿が置かれていた。土師質皿内面には金箔が付着し、初殻痕も残存したとされる。ともに地鎮の鎮め物として埋納したと思われるが、両者の状態の違いは埋納する鎮め物の違いが反映されたものかもしれない。なお、板材が攪乱によりもたらされたものなのか、一緒に安置されたものかが不明である。土師質皿の形式が異なるが、いずれも18世紀後半以降に埋納されたようである。また、基礎の内側には、土蔵建設のために廃絶された井戸152-77が確認された。

礎石列152-85b（第92図） 道路152-32に面して南北に延びる地覆石列152-84の東で、それとは直角方向に直線的に並ぶ礎石列である。一部重なるが概ね4つの礎石が、0.7m前後の間隔で約2.5mにわたり並ぶ。これらと対になるような礎石列が残存せず、これらが構成した構造物は不明である。

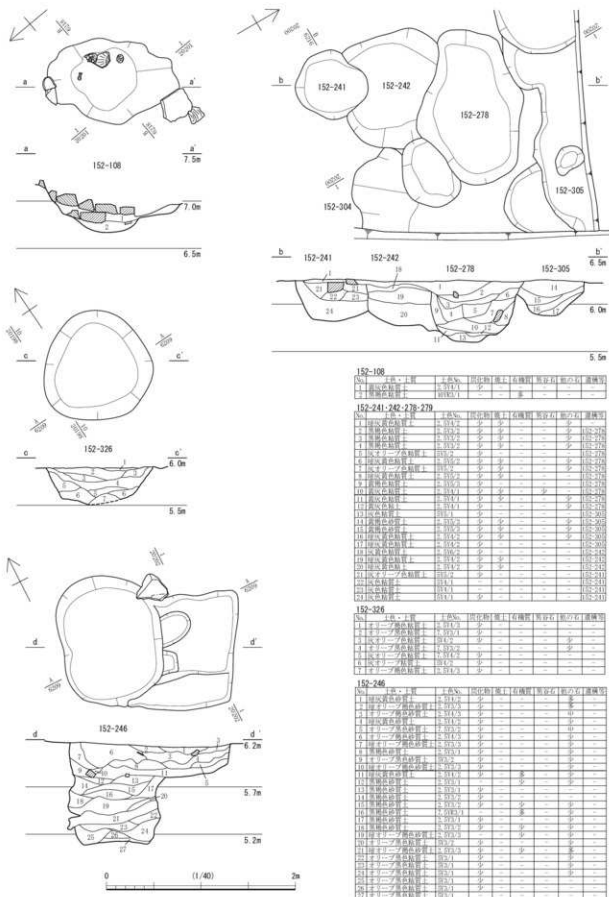


礎石列 152-84・85b 石列 152-85a



土蔵基礎 152-81

第92図 D街区 1面目 建物跡(縮尺1/100)

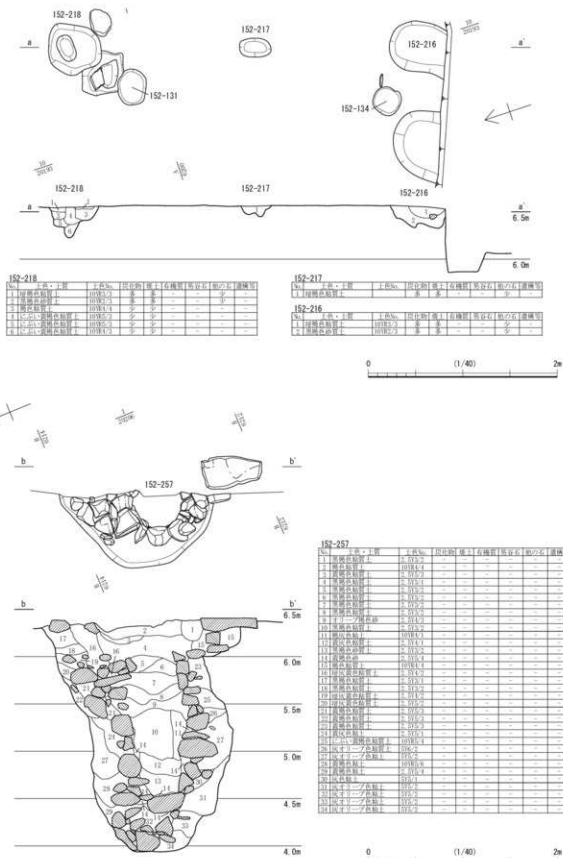


152-108

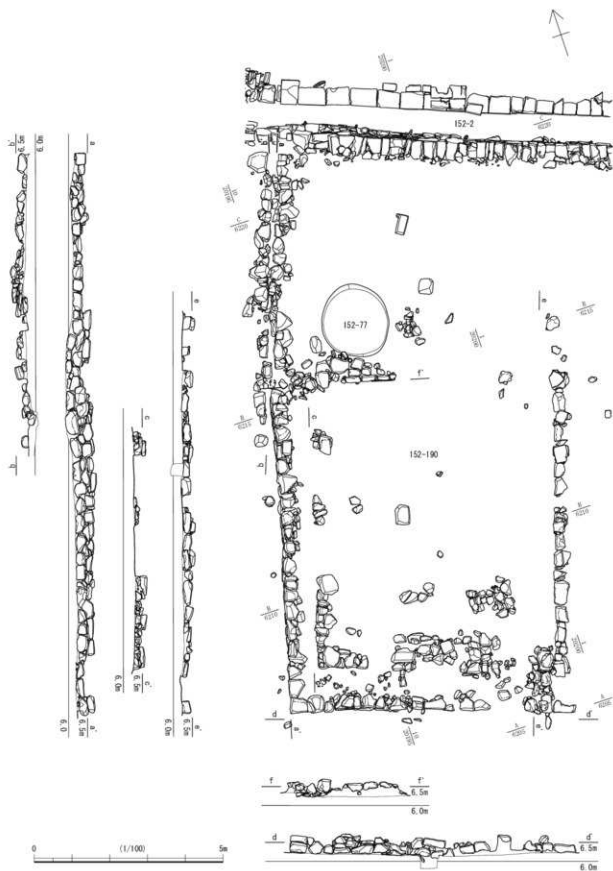
No.	名称・上層	土層No.	図位跡地土	右欄側	奥行き	幅(左右)	面積
1	土層No.1	1	跡地	北	5.0m	7.5m	-
2	土層No.2	2	跡地	北	5.0m	7.5m	-

152-241・242・278・279

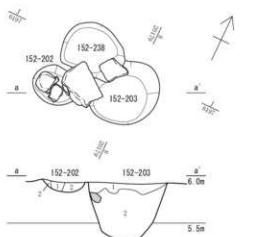
No.	名称・上層	土層No.	図位跡地土	右欄側	奥行き	幅(左右)	面積
1	土層No.1	1	跡地	北	6.0m	6.0m	-
2	土層No.2	2	跡地	北	6.0m	6.0m	-
3	土層No.3	3	跡地	北	6.0m	6.0m	-
4	土層No.4	4	跡地	北	6.0m	6.0m	-
5	土層No.5	5	跡地	北	6.0m	6.0m	-
6	土層No.6	6	跡地	北	6.0m	6.0m	-
7	土層No.7	7	跡地	北	6.0m	6.0m	-
8	土層No.8	8	跡地	北	6.0m	6.0m	-
9	土層No.9	9	跡地	北	6.0m	6.0m	-
10	土層No.10	10	跡地	北	6.0m	6.0m	-
11	土層No.11	11	跡地	北	6.0m	6.0m	-
12	土層No.12	12	跡地	北	6.0m	6.0m	-
13	土層No.13	13	跡地	北	6.0m	6.0m	-
14	土層No.14	14	跡地	北	6.0m	6.0m	-
15	土層No.15	15	跡地	北	6.0m	6.0m	-
16	土層No.16	16	跡地	北	6.0m	6.0m	-
17	土層No.17	17	跡地	北	6.0m	6.0m	-
18	土層No.18	18	跡地	北	6.0m	6.0m	-
19	土層No.19	19	跡地	北	6.0m	6.0m	-
20	土層No.20	20	跡地	北	6.0m	6.0m	-
21	土層No.21	21	跡地	北	6.0m	6.0m	-
22	土層No.22	22	跡地	北	6.0m	6.0m	-
23	土層No.23	23	跡地	北	6.0m	6.0m	-
24	土層No.24	24	跡地	北	6.0m	6.0m	-
25	土層No.25	25	跡地	北	6.0m	6.0m	-
26	土層No.26	26	跡地	北	6.0m	6.0m	-
27	土層No.27	27	跡地	北	6.0m	6.0m	-
28	土層No.28	28	跡地	北	6.0m	6.0m	-
29	土層No.29	29	跡地	北	6.0m	6.0m	-
30	土層No.30	30	跡地	北	6.0m	6.0m	-
31	土層No.31	31	跡地	北	6.0m	6.0m	-
32	土層No.32	32	跡地	北	6.0m	6.0m	-
33	土層No.33	33	跡地	北	6.0m	6.0m	-
34	土層No.34	34	跡地	北	6.0m	6.0m	-
35	土層No.35	35	跡地	北	6.0m	6.0m	-
36	土層No.36	36	跡地	北	6.0m	6.0m	-
37	土層No.37	37	跡地	北	6.0m	6.0m	-
38	土層No.38	38	跡地	北	6.0m	6.0m	-
39	土層No.39	39	跡地	北	6.0m	6.0m	-
40	土層No.40	40	跡地	北	6.0m	6.0m	-
41	土層No.41	41	跡地	北	6.0m	6.0m	-
42	土層No.42	42	跡地	北	6.0m	6.0m	-
43	土層No.43	43	跡地	北	6.0m	6.0m	-
44	土層No.44	44	跡地	北	6.0m	6.0m	-
45	土層No.45	45	跡地	北	6.0m	6.0m	-
46	土層No.46	46	跡地	北	6.0m	6.0m	-
47	土層No.47	47	跡地	北	6.0m	6.0m	-
48	土層No.48	48	跡地	北	6.0m	6.0m	-
49	土層No.49	49	跡地	北	6.0m	6.0m	-
50	土層No.50	50	跡地	北	6.0m	6.0m	-
51	土層No.51	51	跡地	北	6.0m	6.0m	-
52	土層No.52	52	跡地	北	6.0m	6.0m	-
53	土層No.53	53	跡地	北	6.0m	6.0m	-
54	土層No.54	54	跡地	北	6.0m	6.0m	-
55	土層No.55	55	跡地	北	6.0m	6.0m	-
56	土層No.56	56	跡地	北	6.0m	6.0m	-
57	土層No.57	57	跡地	北	6.0m	6.0m	-
58	土層No.58	58	跡地	北	6.0m	6.0m	-
59	土層No.59	59	跡地	北	6.0m	6.0m	-
60	土層No.60	60	跡地	北	6.0m	6.0m	-
61	土層No.61	61	跡地	北	6.0m	6.0m	-
62	土層No.62	62	跡地	北	6.0m	6.0m	-
63	土層No.63	63	跡地	北	6.0m	6.0m	-
64	土層No.64	64	跡地	北	6.0m	6.0m	-
65	土層No.65	65	跡地	北	6.0m	6.0m	-
66	土層No.66	66	跡地	北	6.0m	6.0m	-
67	土層No.67	67	跡地	北	6.0m	6.0m	-
68	土層No.68	68	跡地	北	6.0m	6.0m	-
69	土層No.69	69	跡地	北	6.0m	6.0m	-
70	土層No.70	70	跡地	北	6.0m	6.0m	-
71	土層No.71	71	跡地	北	6.0m	6.0m	-
72	土層No.72	72	跡地	北	6.0m	6.0m	-
73	土層No.73	73	跡地	北	6.0m	6.0m	-
74	土層No.74	74	跡地	北	6.0m	6.0m	-
75	土層No.75	75	跡地	北	6.0m	6.0m	-
76	土層No.76	76	跡地	北	6.0m	6.0m	-
77	土層No.77	77	跡地	北	6.0m	6.0m	-
78	土層No.78	78	跡地	北	6.0m	6.0m	-
79	土層No.79	79	跡地	北	6.0m	6.0m	-
80	土層No.80	80	跡地	北	6.0m	6.0m	-
81	土層No.81	81	跡地	北	6.0m	6.0m	-
82	土層No.82	82	跡地	北	6.0m	6.0m	-
83	土層No.83	83	跡地	北	6.0m	6.0m	-
84	土層No.84	84	跡地	北	6.0m	6.0m	-
85	土層No.85	85	跡地	北	6.0m	6.0m	-
86	土層No.86	86	跡地	北	6.0m	6.0m	-
87	土層No.87	87	跡地	北	6.0m	6.0m	-
88	土層No.88	88	跡地	北	6.0m	6.0m	-
89	土層No.89	89	跡地	北	6.0m	6.0m	-
90	土層No.90	90	跡地	北	6.0m	6.0m	-
91	土層No.91	91	跡地	北	6.0m	6.0m	-
92	土層No.92	92	跡地	北	6.0m	6.0m	-
93	土層No.93	93	跡地	北	6.0m	6.0m	-
94	土層No.94	94	跡地	北	6.0m	6.0m	-
95	土層No.95	95	跡地	北	6.0m	6.0m	-
96	土層No.96	96	跡地	北	6.0m	6.0m	-
97	土層No.97	97	跡地	北	6.0m	6.0m	-
98	土層No.98	98	跡地	北	6.0m	6.0m	-
99	土層No.99	99	跡地	北	6.0m	6.0m	-
100	土層No.100	100	跡地	北	6.0m	6.0m	-
101	土層No.101	101	跡地	北	6.0m	6.0m	-
102	土層No.102	102	跡地	北	6.0m	6.0m	-
103	土層No.103	103	跡地	北	6.0m	6.0m	-
104	土層No.104	104	跡地	北	6.0m	6.0m	-
105	土層No.105	105	跡地	北	6.0m	6.0m	-
106	土層No.106	106	跡地	北	6.0m	6.0m	-
107	土層No.107	107	跡地	北	6.0m	6.0m	-
108	土層No.108	108	跡地	北	6.0m	6.0m	-
109	土層No.109	109	跡地	北	6.0m	6.0m	-
110	土層No.110	110	跡地	北	6.0m	6.0m	-
111	土層No.111	111	跡地	北	6.0m	6.0m	-
112	土層No.112	112	跡地	北	6.0m	6.0m	-
113	土層No.113	113	跡地	北	6.0m	6.0m	-
114	土層No.114	114	跡地	北	6.0m	6.0m	-
115	土層No.115	115	跡地	北	6.0m	6.0m	-
116	土層No.116	116	跡地	北	6.0m	6.0m	-
117	土層No.117	117	跡地	北	6.0m	6.0m	-
118	土層No.118	118	跡地	北	6.0m	6.0m	-
119	土層No.119	119	跡地	北	6.0m	6.0m	-
120	土層No.120	120	跡地	北	6.0m	6.0m	-
121	土層No.121	121	跡地	北	6.0m	6.0m	-
122	土層No.122	122	跡地	北	6.0m	6.0m	-
123	土層No.123	123	跡地	北	6.0m	6.0m	-
124	土層No.124	124	跡地	北	6.0m	6.0m	-
125	土層No.125	125	跡地	北	6.0m	6.0m	-
126	土層No.126	126	跡地	北	6.0m	6.0m	-
127	土層No.127	127	跡地	北	6.0m	6.0m	-
128	土層No.128	128	跡地	北	6.0m	6.0m	-
129	土層No.129	129	跡地	北	6.0m	6.0m	-
130	土層No.130	130	跡地	北	6.0m	6.0m	-
131	土層No.131	131	跡地	北	6.0m	6.0m	-
132	土層No.132	132	跡地	北	6.0m	6.0m	-
133	土層No.133	133	跡地	北	6.0m	6.0m	-
134	土層No.134	134	跡地	北	6.0m	6.0m	-
135	土層No.135	135	跡地	北	6.0m	6.0m	-
136	土層No.136	136	跡地	北	6.0m	6.0m	-
137	土層No.137	137	跡地	北	6.0m	6.0m	-
138	土層No.138	138	跡地	北	6.0m	6.0m	-
139	土層No.139	139	跡地	北	6.0m	6.0m	-
140	土層No.140	140	跡地	北	6.0m	6.0m	-
141	土層No.141	141	跡地	北	6.0m	6.0m	-
142	土層No.142	142	跡地	北	6.0m	6.0m	-
143	土層No.143	143	跡地	北	6.0m	6.0m	-
144	土層No.144	144	跡地	北	6.0m	6.0m	-
145	土層No.145	145	跡地	北	6.0m	6.0m	-
146	土層No.146	146	跡地	北	6.0m	6.0m	-
147	土層No.147	147	跡地	北	6.0m	6.0m	-
148	土層No.148	148	跡地	北	6.0m	6.0m	-
149	土層No.149	149	跡地	北	6.0m	6.0m	-
150	土層No.150	150	跡地	北	6.0m	6.0m	-
151	土層No.151	151	跡地	北	6.0m	6.0m	-
152	土層No.152</						



第94図 D街区 2・3面目 152-26・217・218・257 (縮尺1/40)

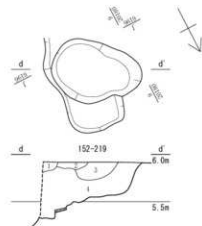
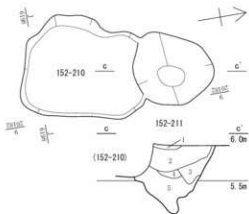


第96図 D街区 3面目 152-190 (縮尺1/100)

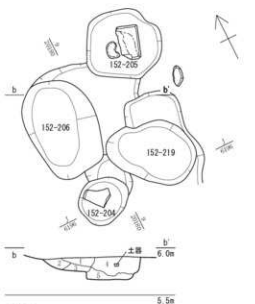
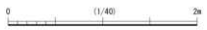


152-202		1. 名称・位置	1. 北西	2. 北東	3. 南東	4. 南西	5. 西	6. 東	7. 北	8. 南	9. 西	10. 東
1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1
2	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1
3	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1
4	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1

152-203		1. 名称・位置	1. 北西	2. 北東	3. 南東	4. 南西	5. 西	6. 東	7. 北	8. 南	9. 西	10. 東
1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1
2	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1
3	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1
4	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1

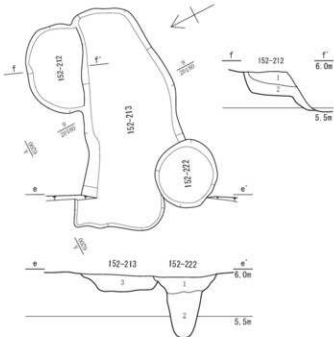


152-219		1. 名称・位置	1. 北西	2. 北東	3. 南東	4. 南西	5. 西	6. 東	7. 北	8. 南	9. 西	10. 東
1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1
2	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1
3	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1
4	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1



152-206		1. 名称・位置	1. 北西	2. 北東	3. 南東	4. 南西	5. 西	6. 東	7. 北	8. 南	9. 西	10. 東
1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1
2	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1
3	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1
4	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1

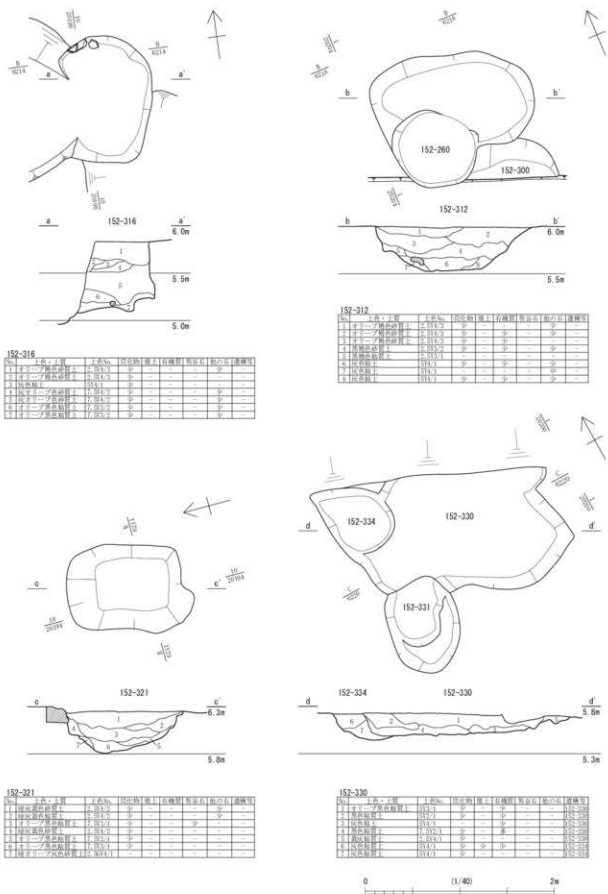
152-211		1. 名称・位置	1. 北西	2. 北東	3. 南東	4. 南西	5. 西	6. 東	7. 北	8. 南	9. 西	10. 東
1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1
2	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1
3	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1
4	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1



152-212		1. 名称・位置	1. 北西	2. 北東	3. 南東	4. 南西	5. 西	6. 東	7. 北	8. 南	9. 西	10. 東
1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1
2	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1
3	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1
4	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1

152-213-222		1. 名称・位置	1. 北西	2. 北東	3. 南東	4. 南西	5. 西	6. 東	7. 北	8. 南	9. 西	10. 東
1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1	1. 1
2	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1	2. 1
3	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1	3. 1
4	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1	4. 1

第98図 D街区 3面目 152-202・203・206・210～213・219・222 (縮尺1/40)



第99図 D街区 3面目 152-312・316・321・330 (縮尺1/40)

2) 町屋地 (第3・76・77図)

D街区の2面目以下の町屋地は、道路152-135の南北に面して、短冊形の敷地の小口側を向けて並ぶと想定される。建物そのものは明確でないが、敷地区画石列152-190に大まかな1軒分の敷地規模が示される(第77・96図)。152-190の西側の二重になる石列はそれぞれ道路に面する時期の異なる石列であるが、東側の石列も西側を正面とする石列であり、これらの間が敷地の幅となる。奥行きは、正面の道路152-135から背後の石組水路152-2までとなる。この敷地は、幅6.5～7.5m、奥行き約15mとなる。これに向き合う南側の町屋は幅が不明ながら、奥行きは石列や石組溝から北側の町屋と同様な約15mと確認できる。道路や石組水路により区画されるため、各屋敷地の奥行きについては共通になるが、敷地の幅は必ずしも共通しないものと思われる。なお、152-190には、いくつかの礎石や礎敷きのような箇所も確認され、建物と入り口付近の痕跡と捉えられる。

井戸152-257(第94図) 152-190の東隣の敷地内にある石組井戸である。半分が調査区外に出る。石組は内径約0.5m、残存高約2mで、掘り方は径0.8～1.6m、深さ2.45mである。なお、図化されていないが、土蔵152-81建設のために廃絶された井戸152-77は石組井戸であり、その位置は敷地区画152-190の建物背後の広場にあたる。井戸152-77は、井戸152-257とほぼ同規模で、道路152-135からの距離もほぼ等しい。町屋敷整備時に齊一的に造られたのかもしれない。

井戸152-366(第77・95図) 築城に伴い廃絶した井戸で、道路152-135の下に埋め込まれた。掘り方は検出面で径2m前後の歪な形状で、深さ3mまで掘削したが、出水のために完掘できなかった。内部には径0.7m・高さ0.8m前後の桶側が2段と、さらにその下にも確認した。その上層には、土層に桶側を抜いた痕跡が確認される。

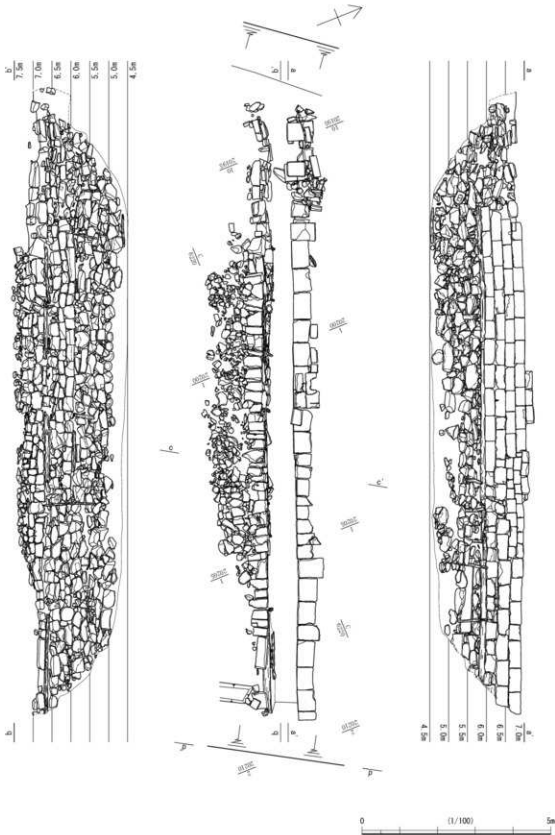
土坑 町屋地のとくに北側には多数の土坑があり、複数が切り合う。

4 E街区の遺構

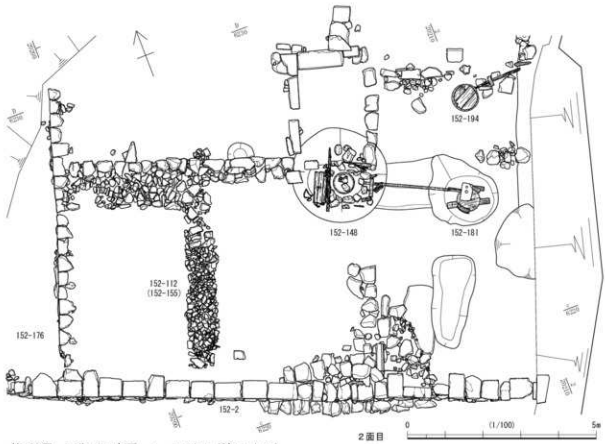
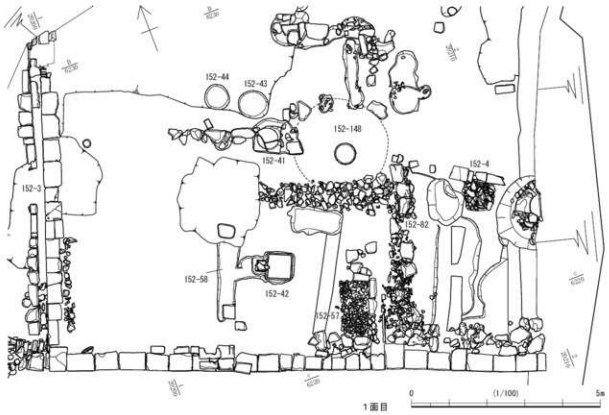
E街区は、石組水路152-2より北側の街区であり、江戸時代を通して町屋地として継続した街区である。町屋地は、現在の城の橋通りの下層に位置する砂利敷道路の方に敷地の小口側を向けた短冊形の敷地になると想定される。これに向き合う道路北側の町屋地は、JR福井駅高架化工事にかかわる城ノ橋陸橋撤去工事に際して実施した立会調査で確認されている。北側の町屋敷地は、幅5m前後、奥行き10m以上のものが並ぶ。E街区の町屋敷地は、境が不明瞭ながら幅8～9mで、南北に長い。JR福井駅地点で検出された道路南縁の位置によると、E街区町屋敷地の奥行きは18m前後となる。

主要な遺構は、街区の境となる石組水路152-2、建物基礎152-86・112、井戸152-147・148・181、流し台152-42等がある。

石組水路152-2(第100・101図) 東西に延びる石組水路で、石組の間0.7m前後、残存高2.5m前後で、約16m分を検出した。石組の背後には裏込石を充填する。石組石材の様相や桐木存在から、北面石組は標高5.9m前後、南面石組は標高5.9m前後と6.7m前後で、積み直しあるいは嵩上げが為されている。南北とも標高5.9mを境として、下層の石組石材は不揃いな割石で、上層には矩形に整形された石材が使用される。ただし、上層の石材は北面の方が大型である。なお、JR福井駅地点の調査で西側に繋がる部分を検出し(石組溝4220)、同様な状況が確認されている。出土遺物は、下層では17世紀代を中心とし、上層では18世紀以降近代までのものがある。JR福井駅地点の石組溝4220は、倒壊した下層の石組を撤去せずに上層に石組を設置しているため、下層の溝埋土中の遺物に新たな段階の遺物が混入していない。それによると、下層石組は17世紀後葉までに廃絶し、上層石組に改修される。



第100図 石組水路152-2 (縮尺1/100)



第102図 E街区の変遷 1・2面目(縮尺1/100)

時的には、街区再編に伴う改修であることが考えられる。なお、埋土中から犬の骨の出土が確認されたが、石組溝 4220 でも犬、猫、野兎、馬、鶏、鳥類や、魚介類等の様々な骨が出土している。

建物基礎 152-86・112・155 (第102図) 152-86は、割石を南北に敷き並べた上にいくつかの扁平な石材を据えるもので、敷地の区画構造の基礎となることが考えられる。幅0.5m前後、延長約5m分を検出した。その北側から西へや寸法が大きめの割石を配置する。幅0.6～1m、長さ3.5mが残存する。東西の配石と南北の扁平な石材との位置関係から、一つの建物の基礎を構成するものではないようであり、両者の性格の異なることが考えられる。

152-112・155は、D街区の土蔵基礎 152-81と同様な基礎になると考えられる。基礎 152-112・155は割石を北と東に面するように埋め込んでおり、その上に地覆石等を配して土台としたとみられるが残存しない。ほか二方は、石組水路 152-2の北側石材と、道路側溝 152-3の東側石材を地覆石として利用したようである。基礎 152-112・155の出土遺物は18世紀中葉以前のものであり、その頃が建物を建てた時期となる。

井戸 152-147 (第107図) 検出面から約2.2mの深さまで掘削し、桶側を検出したが、湧水のため完掘はできなかった。井戸廃絶時に上層を大きく掘削しており、上の桶側を抜き取り、廃棄土坑として利用したようである。

井戸 152-148・181 (第108・109図)・礫集石 152-4 (第107図) 井戸 152-148は廃絶時に上半を掘削されるが、標高6.0～6.5mに板材を立てて方形に組んだ痕跡が残存したため、地表まで板材による方形の井桁が組み上げられていたことが考えられる。板組の下には底板のある桶側が据えられており、その下を板材や木材で調整していた。この桶側の底面あたりに、南東に位置する井戸 152-181から竹樋が伸びており、水が供給されていたようである。

井戸 152-181も廃絶時に上層を掘削され、上の桶側が抜き取られる。残存する桶側には穴の開いた底板が嵌められ、その穴を通して竹筒が地中へ差し込まれる。自噴式のいわゆる上総掘りの井戸である。桶の底には孔の開いた直方体の笏谷石があり、地中からの竹筒が上下に貫通する孔に差し込まれる。笏谷石の側面にも分岐する孔があり、ここに差し込まれた竹樋が井戸 152-148へと延びる。井戸 152-181での湧水を、井戸 152-148でも利用する構造になっていた。

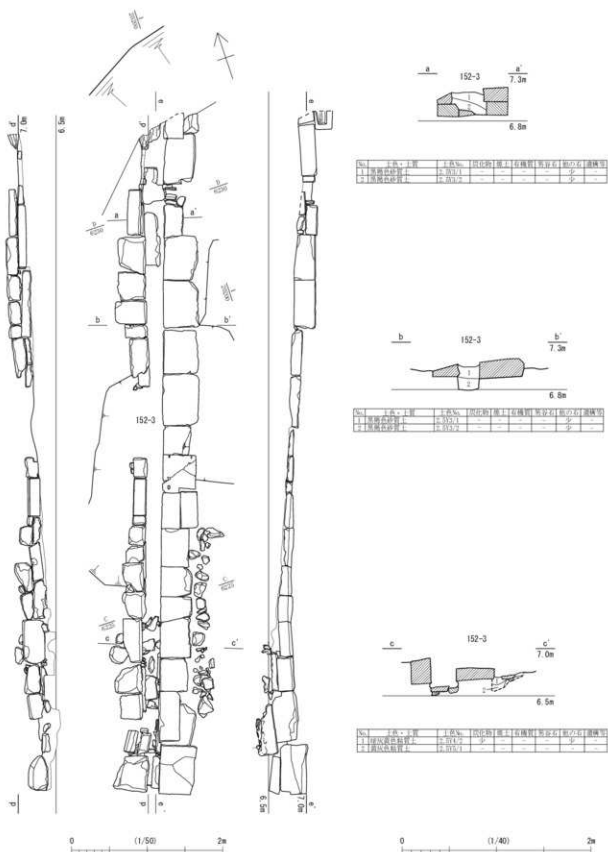
礫集石 152-4は一辺0.8m、深さ0.3～0.4mの土坑内に割石を充填しており、北側に複数の板石が敷かれる。板石は、その位置関係から廃絶前の井戸 152-181周囲に敷かれていたものの残欠とみられ、割石は排水設備の一部となることが考えられる。152-4の東側には石組井戸 152-14が検出された。

これらは井戸 152-181と連携した設備のため、いずれも上総掘りが普及する19世紀の遺構となる。

流し 152-41・42 (第102・106図) 152-41は、一辺0.7m、厚さ約0.2mの扁平な笏谷石の上部に直径0.54m前後、深さ10数cmに彫り窪めて水盤状に加工したものを据えている。

152-42は、現代の流し台の形状に加工された笏谷石製品を据えている。東側が流し部分で、西側には四角い沈殿槽が削り出されている。沈殿槽部分は、背後に方形孔が開くものの、口縁の2/3程が低くなり上澄みが流出する工夫が為される。据え付けた流しの背後には溝 152-58が繋がりを、排水を石組水路 152-2へ流すようになっている。なお、攪乱により消滅するが、溝 152-58はさらに北へ続いていた。

便所跡 152-43・44 (第102・106図) 152-43は径約0.8m・検出面からの深さ0.2～0.44mで、埋土中に桶を抜いた際に残存した籠の残欠が確認された。152-44は径約0.65m・検出面からの深さ0.16～0.4mである。両者の上端間は0.3mで、隣接して東西に並ぶ。152-44の桶の存在は不明である。周囲は攪乱により少なくとも0.2m以上の削平を受けており、上層構造は不明である。



第103図 E街区 1面目 152-3 (縮尺1/50・1/40)

石積遺構 152-146 (第110図) 西側を正面とし、南北に延びる石垣状遺構である。寸法・形状の不揃いな割石をほぼ垂直に積み上げる。延長10.6m、最大高1.2mで、南側ほど高くなる。E街区辺りの旧地形は、石組水路152-2付近がもともと自然流路だったようで、南側到低くなっていた。石積遺構152-146は旧地形の傾斜にあわせて積み上げられており、E街区の造成に際して、石組水路152-2の構築とあわせて、一時的な土留めとして備えられた、造成土中に埋め込まれたものと推測される。

5 下層の遺構

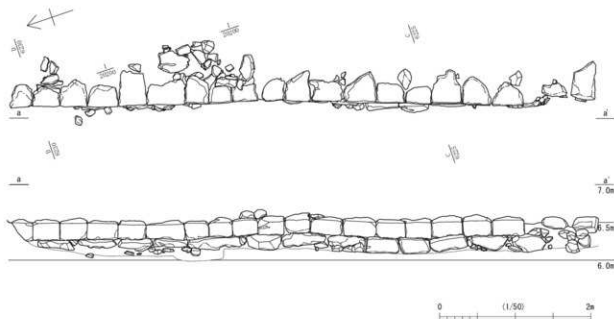
築城以前の下層の遺構は、築城時に廃絶した可能性のある遺構としてあげた石組井戸152-226、井戸152-366のほか、土坑152-352、溝152-367等がある。

石組井戸152-226については、C街区の町屋地の項(P94)に記述した(第77・83・85・88図)。出土遺物から廃絶時期が17世紀中葉とみられ、構築時期は築城当初もしくはそれ以前となる可能性がある。

井戸152-366については、D街区の町屋地の項(P120)に記述した(第77・95図)。出土遺物の時期は17世紀前葉までに限定される。また、検出された位置が、枝道152-135の南に沿う石列152-353・354の直下にあたる。そのため、福井城の築城が開始され、城ノ橋の街割を整備していくなかで廃絶されたことが考えられる。

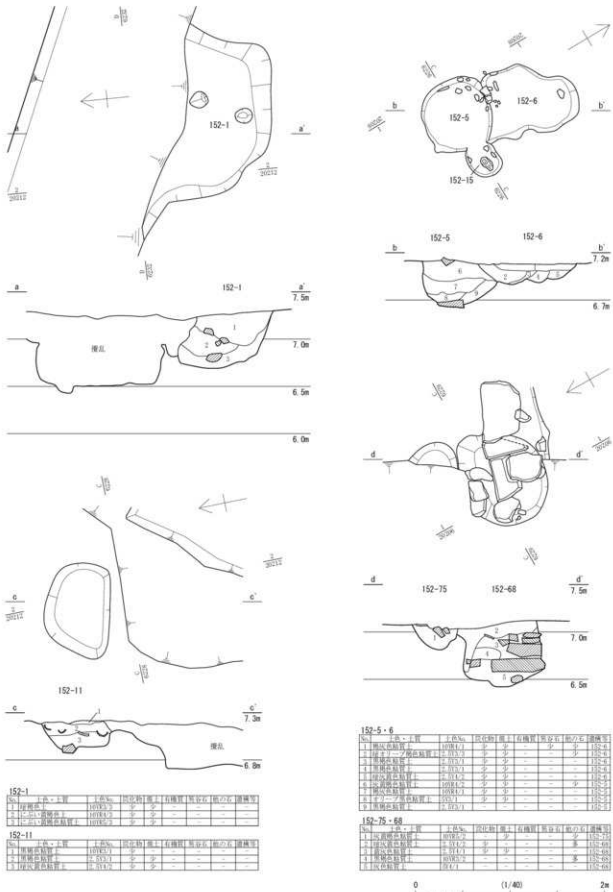
土坑 152-352 (第77・111図) 南北道路152-32の下層で検出された大型の土坑である。半分近く調査区外となるが、平面形は歪な楕円形になるとみられ、長径2.5m以上・深さ1.4m前後である。16世紀後葉の遺物が出土した。

溝 152-367 (第77・111図) 調査区を横断して東西方向に延びる溝で、検出長13.5m・最大幅3mである。出土遺物の時期は16世紀後葉である。この溝の位置は、その後の町屋地と武家屋敷地の境と近い位置を通っており、さらに街区の再整備後も屋敷地境の位置として存続する。JR福井駅地点の調査でも、築城以前の下層の街割を一部利用した部分が確認されており、この場合も同様な事例とみられる。また、この溝以外にも井戸や土坑等、築城以前の遺構が複数確認されていることから、北庄城期に遡る城下の街割がこの付近にまで及んだ可能性が考えられる。

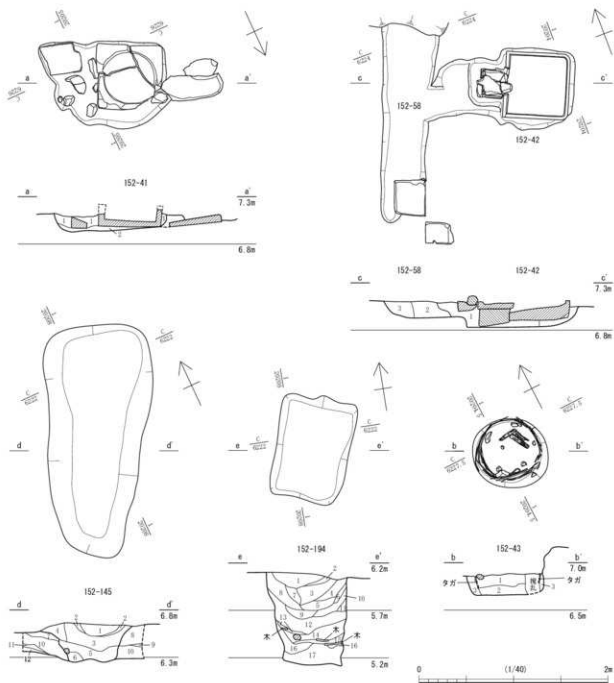


第104図 E街区 2面目 152-176 (縮尺1/50)

第3節 FKJ15-2調査区の遺構



第105図 E街区 1面目 152-1・6・11・68・75 (縮尺1/40)



152-41

階層	土層・土質	土層No.	存在跡(層上)	瓦葺	階段石	掘削石	掘削石(遺構)
1	152-41(1) (埋藏土)	10181.1	少	-	-	少	-
2	埋藏土	10183.7	-	-	-	少	-

152-42

階層	土層・土質	土層No.	存在跡(層上)	瓦葺	階段石	掘削石	掘削石(遺構)
1	152-42(1) (埋藏土)	10181.2	少	-	-	少	-
2	埋藏土	10183.8	少	-	-	少	152-26
3	埋藏土	10183.7	少	-	-	少	152-27

152-145

階層	土層・土質	土層No.	存在跡(層上)	瓦葺	階段石	掘削石	掘削石(遺構)
1	埋藏土	10182.2	基	少	-	-	152-143
2	152-145(1) (埋藏土)	10182.2	基	少	-	-	152-143
3	152-145(2) (埋藏土)	10181.1	少	-	-	-	152-143
4	埋藏土	10181.1	少	-	-	-	152-143
5	152-145(3) (埋藏土)	10181.1	少	-	-	-	152-143
6	埋藏土	10181.1	少	-	-	-	152-143
7	152-145(4) (埋藏土)	10183.7	少	少	-	-	152-145
8	埋藏土	10183.8	-	-	-	-	-
9	埋藏土	10183.8	-	-	-	-	-
10	埋藏土	10183.8	-	-	-	-	-
11	152-145(5) (埋藏土)	10183.7	少	-	-	-	-
12	埋藏土	10183.7	-	-	-	-	-
13	埋藏土	10183.7	-	-	-	-	-

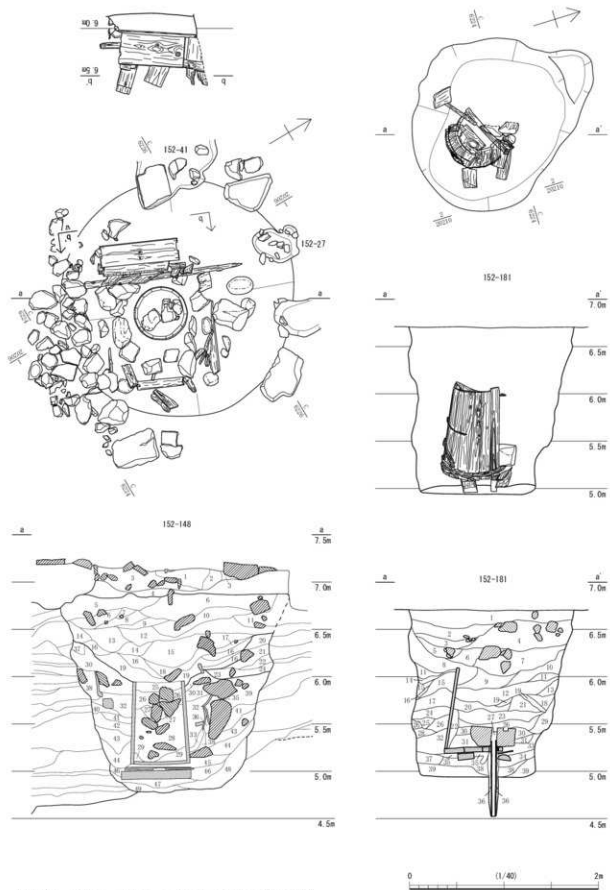
152-43

階層	土層・土質	土層No.	存在跡(層上)	瓦葺	階段石	掘削石	掘削石(遺構)
1	埋藏土	10181.1	少	-	-	少	-
2	埋藏土	10183.7	-	-	-	少	-
3	埋藏土	10183.7	-	-	-	少	-

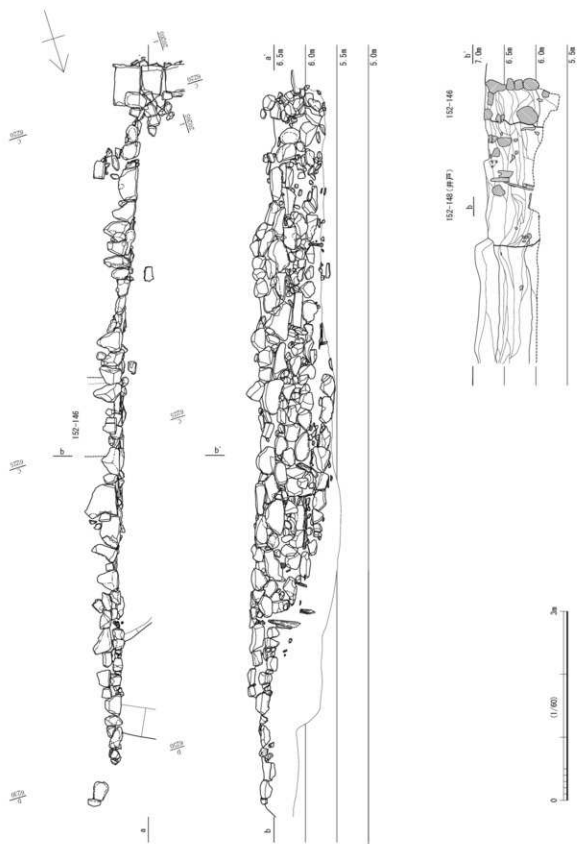
152-194

階層	土層・土質	土層No.	存在跡(層上)	瓦葺	階段石	掘削石	掘削石(遺構)
1	152-194(1) (埋藏土)	10181.1	-	-	-	-	-
2	埋藏土	10181.1	-	-	-	-	-
3	埋藏土	10181.1	少	少	基	-	-
4	埋藏土	10181.1	少	-	-	-	-
5	埋藏土	10181.1	少	-	-	-	-
6	152-194(2) (埋藏土)	10183.7	-	-	-	少	-
7	埋藏土	10183.7	-	-	-	少	-
8	埋藏土	10181.1	少	-	-	-	-
9	埋藏土	10181.1	少	-	-	-	-
10	埋藏土	10181.1	少	-	-	-	-
11	埋藏土	10181.1	-	-	-	-	-
12	埋藏土	10181.1	-	-	-	-	-
13	152-194(3) (埋藏土)	10181.1	-	-	-	少	-
14	埋藏土	10181.1	-	-	-	少	-
15	埋藏土	10181.1	-	-	-	少	-
16	埋藏土	10183.7	少	-	-	少	-
17	埋藏土	10183.7	-	-	-	少	-

第106図 E街区 1・2・3面目 152-41・42・43・58・145・176・194 (縮尺1/40)

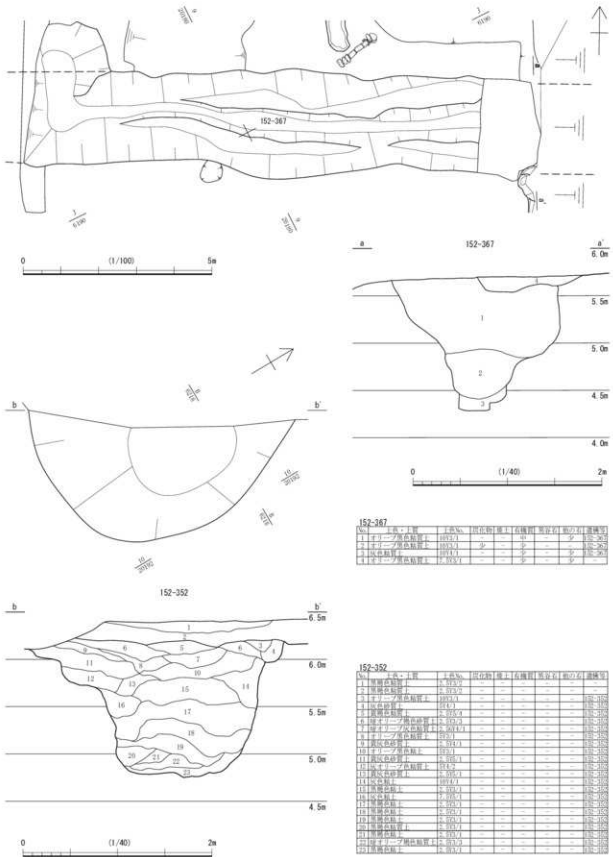


第108図 E街区 1面目 152-148・181① (縮尺1/40)



第110圖 E街区 152-146 (縮尺1/60)

第3節 FKJ15-2調査区の遺構



第111図 下層の遺構 152-352・367 (縮尺1/40・1/100)

遺構観察表

遺構番号	地区	遺構種別	遺構面	時期	規模 (m)			主な出土遺物	備考
					長辺	短辺	深さ		
151-275 C8	土坑	2面	17C	0.4	0.28	0.75			
151-276 C8	土坑	2面	17C	0.7	0.65	0.28			
151-279 C8	竃穴	1面	18C後～	0.6	0.55	0.2			
151-280 C8	竃穴	1面	18C後～	0.75	0.68	0.44		礎石	
151-282 C8	竃穴	1面	18C後～	0.54	0.52	0.11		礎石	
151-325 B7	土坑	1面	18C後～	0.7	0.42	0.08			
151-326 B7	土坑	1面	18C後～	0.3	0.38	0.13			
151-338 A7	土坑	1面	18C後～	0.28	0.26	0.12			
151-382 B6	土坑	3面	17C	0.85	0.6			① C	
151-384 B6	土坑	3面	18C	1.61	1.54	0.1			
151-385 E8	陶器土坑	1・2面	17C	1.53	0.58	0.69		① 礎石・洋磁 ②	

遺構部分の遺構

遺構番号	地区	遺構種別	遺構面	時期	規模 (m)			主な出土遺物	備考
					長辺	短辺	深さ		
151-23 D9	土坑	2面	～17C	0.9	0.9		① C ② 礎石 ③ 天目瓦 ④ 瓦 ⑤ 白磁土 ⑥ 土器	作中の心材遺構取り前	
151-200 D9	土坑	1面	18C後～	0.7	0.6	0.34			
151-202 C9	土坑	1面	18C後～	1.01	0.8	0.2			
151-219 E9	土坑	2面	17C	1.01	1.25				
151-234 E9	溝	2面	17C	0.43	0.88	0.2	① 礎石 ② 土器		
151-241 E9	土坑	2面	17C	0.48	0.28				
151-242 E9	土坑	1面	18C後～	0.7	0.41	0.48			
151-243 F9	土坑	2面	17C	1.0	0.7	0.5			
151-244 E9	土坑	2面	17C	1.0	0.9		① 天目瓦 ② 土器 ③ 瓦 ④ 土器		
151-248 E9	土坑	2面	17C	0.58	0.46				
151-249 E9	土坑	2面	17C	0.65	0.65				
151-250 F9	土坑	2面	17C	0.42	0.34				
151-251 E9	土坑	2面	17C	0.44	0.36				
151-252 E9	土坑	1面	18C後～	0.52	0.42	0.6	①		
151-253 E9	土坑	2面	17C	0.35	0.35	0.2		竃穴付 柱礎残存	
151-254 E9	土坑	1面	18C後～	0.44	0.25	0.37	土器	254 → 257 竃穴付 柱礎残存 254 → 257	
151-257 E9	土坑	1面	18C後～	0.68	0.38	0.04		299 → 300・298	
151-277 E9	土坑	3面	17C	1.21	1.8	0.2	① 瓦 ② 土器		
151-299 E9	土坑	2面	17C	0.54	0.5	0.65			

8号区の遺構

遺構番号	地区	遺構種別	遺構面	時期	規模 (m)			主な出土遺物	備考
					長辺	短辺	深さ		
151-5 F10	溝	2面	～18C中	(17.4)	3.5	1.1	① C G ② 礎石 ③ 瓦 ④ 白磁土 ⑤ 土器 ⑥ 天目瓦 ⑦ 瓦 ⑧ 瓦 ⑨ 瓦 ⑩ 瓦 ⑪ 瓦 ⑫ 瓦 ⑬ 瓦 ⑭ 瓦 ⑮ 瓦 ⑯ 瓦 ⑰ 瓦 ⑱ 瓦 ⑲ 瓦 ⑳ 瓦 ㉑ 瓦 ㉒ 瓦 ㉓ 瓦 ㉔ 瓦 ㉕ 瓦 ㉖ 瓦 ㉗ 瓦 ㉘ 瓦 ㉙ 瓦 ㉚ 瓦 ㉛ 瓦 ㉜ 瓦 ㉝ 瓦 ㉞ 瓦 ㉟ 瓦 ㊱ 瓦 ㊲ 瓦 ㊳ 瓦 ㊴ 瓦 ㊵ 瓦 ㊶ 瓦 ㊷ 瓦 ㊸ 瓦 ㊹ 瓦 ㊺ 瓦 ㊻ 瓦 ㊼ 瓦 ㊽ 瓦 ㊾ 瓦 ㊿ 瓦		
151-6 D9	溝跡	2面	17C	4.7	0.84	0.46	① C ② 礎石 ③ 瓦 ④ 白磁土 ⑤ 土器 ⑥ 天目瓦 ⑦ 瓦 ⑧ 瓦 ⑨ 瓦 ⑩ 瓦 ⑪ 瓦 ⑫ 瓦 ⑬ 瓦 ⑭ 瓦 ⑮ 瓦 ⑯ 瓦 ⑰ 瓦 ⑱ 瓦 ⑲ 瓦 ⑳ 瓦 ㉑ 瓦 ㉒ 瓦 ㉓ 瓦 ㉔ 瓦 ㉕ 瓦 ㉖ 瓦 ㉗ 瓦 ㉘ 瓦 ㉙ 瓦 ㉚ 瓦 ㉛ 瓦 ㉜ 瓦 ㉝ 瓦 ㉞ 瓦 ㉟ 瓦 ㊱ 瓦 ㊲ 瓦 ㊳ 瓦 ㊴ 瓦 ㊵ 瓦 ㊶ 瓦 ㊷ 瓦 ㊸ 瓦 ㊹ 瓦 ㊺ 瓦 ㊻ 瓦 ㊼ 瓦 ㊽ 瓦 ㊾ 瓦 ㊿ 瓦		
151-8 F10	土坑	1面	18C後～	0.86	0.7	0.40			
151-11 E9	土坑	1面	18C後～	0.44	0.34	0.36		11 → 12	
151-12 E9	土坑	1面	18C後～	0.26	0.2	0.35	① G	12 → 14	
151-13 E9	土坑	1面	18C後～	0.42	0.2	0.35	① 礎石	13 → 14	
151-14 E9	土坑	1面	18C後～	0.41	0.34	0.25	① 小瓦		
151-15 E9	土坑	1面	18C後～	0.36	0.3	0.15			
151-27 E10	土坑	1面	18C後～	2.54	0.89	0.58	① 瓦 ② 土器 ③ 白磁土		
151-30 E10	溝	2面	17C	6.3	0.54	0.14	① C ② 小瓦		
151-31 E10	土坑	1面	～18C後	0.63	0.66	0.73	① C G ② 白磁土 ③ 瓦		
151-32 E10	土坑	1面	18C後～	0.12	0.4	0.1	① C ②		
151-33 E9	土坑	2面	17C	1.61	1.19	0.3	① 礎石		
151-49 E9	土坑	1面	18C後～	0.66	0.56	0.1		49 → 59	
151-54 E9	土坑	1面	18C後～	0.25	0.25	0.1			
151-55 E9	土坑	1面	18C後～	0.28	0.28	0.17		171 → 174・74・64・56 ① 溝の溝?	
151-56 E9	土坑	1面	18C後～	0.24	0.22	0.11			
151-57 E9	土坑	1面	18C後～	0.44	0.3	0.17			
151-58 E9	土坑	1面	18C後～	0.3	0.27	0.07			
151-59 E9	土坑	1面	18C後～	0.44	0.42	0.25		59 → 60	
151-60 E9	土坑	1面	18C後～	0.42	0.41	0.24		59 → 60	
151-61 E9	土坑	1面	18C後～	0.7	0.18	0.18			
151-62 E9	土坑	1面	18C後～	0.52	0.32	0.25			
151-63 E9	土坑	1面	18C後～	0.9	0.6	0.24		63 → 75	
151-64 E9	土坑	1面	18C後～	0.42	0.32	0.13			
151-65 E9	土坑	1面	18C後～	0.35	0.27	0.18			
151-66 E9	土坑	1面	18C後～	0.37	0.44	0.35		67 → 68・72	
151-67 E10	土坑	1面	18C後～	0.68	0.64	0.12	① 土器	67 → 68・72	
151-71 F9	土坑	1面	17C	1.0	0.82	0.1	① 瓦 ② 瓦 ③ 瓦	71 → 72	
151-72 F10	溝	1面	17C	3.8	0.38	0.1	① C ② 瓦 ③ 天目瓦	67 → 68・72 71 → 72	
151-73 E9	土坑	1面	18C後～	0.78	0.5	0.1		73 → 74	
151-74 E9	土坑	1面	18C後～	0.35	0.26	0.13		73 → 74	
151-75 E9	土坑	1面	18C後～	0.5	0.25	0.1	① 瓦	65 → 75	
151-78 E9	土坑	1面	18C後～	0.28	0.26	0.18			
151-79 E9	土坑	1面	17C	0.58	0.48	0.18	① 瓦		
151-93 E9	土坑	1面	18C後～	0.52	0.58	0.45			
151-94 E9	土坑	1面	18C後～	0.6	0.28	0.1			
151-104 E10	土坑	1面	18C後～	0.64	0.52	0.11			
151-105A F9	土坑	1面	18C後～	1.5	1.5	0.34	① 瓦 ② 瓦 ③ 天目瓦 ④ 瓦 ⑤ 瓦 ⑥ 瓦 ⑦ 瓦 ⑧ 瓦 ⑨ 瓦 ⑩ 瓦 ⑪ 瓦 ⑫ 瓦 ⑬ 瓦 ⑭ 瓦 ⑮ 瓦 ⑯ 瓦 ⑰ 瓦 ⑱ 瓦 ⑲ 瓦 ⑳ 瓦 ㉑ 瓦 ㉒ 瓦 ㉓ 瓦 ㉔ 瓦 ㉕ 瓦 ㉖ 瓦 ㉗ 瓦 ㉘ 瓦 ㉙ 瓦 ㉚ 瓦 ㉛ 瓦 ㉜ 瓦 ㉝ 瓦 ㉞ 瓦 ㉟ 瓦 ㊱ 瓦 ㊲ 瓦 ㊳ 瓦 ㊴ 瓦 ㊵ 瓦 ㊶ 瓦 ㊷ 瓦 ㊸ 瓦 ㊹ 瓦 ㊺ 瓦 ㊻ 瓦 ㊼ 瓦 ㊽ 瓦 ㊾ 瓦 ㊿ 瓦	124 → 105	
151-105B F9	溝	2面	10～17C	1.49	1.4	0.7	① C D ② 瓦 ③ 天目瓦 ④ 瓦 ⑤ 瓦 ⑥ 瓦 ⑦ 瓦 ⑧ 瓦 ⑨ 瓦 ⑩ 瓦 ⑪ 瓦 ⑫ 瓦 ⑬ 瓦 ⑭ 瓦 ⑮ 瓦 ⑯ 瓦 ⑰ 瓦 ⑱ 瓦 ⑲ 瓦 ⑳ 瓦 ㉑ 瓦 ㉒ 瓦 ㉓ 瓦 ㉔ 瓦 ㉕ 瓦 ㉖ 瓦 ㉗ 瓦 ㉘ 瓦 ㉙ 瓦 ㉚ 瓦 ㉛ 瓦 ㉜ 瓦 ㉝ 瓦 ㉞ 瓦 ㉟ 瓦 ㊱ 瓦 ㊲ 瓦 ㊳ 瓦 ㊴ 瓦 ㊵ 瓦 ㊶ 瓦 ㊷ 瓦 ㊸ 瓦 ㊹ 瓦 ㊺ 瓦 ㊻ 瓦 ㊼ 瓦 ㊽ 瓦 ㊾ 瓦 ㊿ 瓦	105 → 199	
151-122 F10	土坑	1面	18C	0.21	0.39	0.18	① C ② 瓦 ③ 瓦 ④ 瓦 ⑤ 瓦 ⑥ 瓦 ⑦ 瓦 ⑧ 瓦 ⑨ 瓦 ⑩ 瓦 ⑪ 瓦 ⑫ 瓦 ⑬ 瓦 ⑭ 瓦 ⑮ 瓦 ⑯ 瓦 ⑰ 瓦 ⑱ 瓦 ⑲ 瓦 ⑳ 瓦 ㉑ 瓦 ㉒ 瓦 ㉓ 瓦 ㉔ 瓦 ㉕ 瓦 ㉖ 瓦 ㉗ 瓦 ㉘ 瓦 ㉙ 瓦 ㉚ 瓦 ㉛ 瓦 ㉜ 瓦 ㉝ 瓦 ㉞ 瓦 ㉟ 瓦 ㊱ 瓦 ㊲ 瓦 ㊳ 瓦 ㊴ 瓦 ㊵ 瓦 ㊶ 瓦 ㊷ 瓦 ㊸ 瓦 ㊹ 瓦 ㊺ 瓦 ㊻ 瓦 ㊼ 瓦 ㊽ 瓦 ㊾ 瓦 ㊿ 瓦		
151-124 E9	溝	1面	18C後～	(8.7)	0.45	0.24	① D2 ② 瓦	124 → 105・125	
151-125 E9	土坑	1面	18C後～	0.78	0.43	0.2		125 → 124	
151-126 E9	土坑	1面	18C後～	0.75	0.68	0.37	① 瓦	125 → 124	
151-127 E9	土坑	1面	18C後～	0.42	0.32	0.18	①	89 → 126	

造構観察表

遺構番号	地区	遺構種別	遺構面	時期	規模 (m)			主な出土遺物	備考
					長辺	短辺	深さ		
151-128 D0		土坑	1面	18CⅡ-	0.71	0.35	0.1		
151-129 D0		土坑	1面	18CⅡ-	0.5	0.48	0.27	磁【釜 伊】白磁小坏	
151-130 F10		溝	1面	18CⅡ-	4.8	0.45	0.2	磁【釜 伊】 瓦	右隣溝の石の置き痕 120 → 121・130
151-146 G10		土坑	1面	18CⅡ-	0.56	0.35	0.21	土師 甕 土垂	
151-147 F9		土坑	1面	18CⅡ-	0.45	0.42	0.24	磁【	
151-148 F9		土坑	1面	18CⅡ-	0.42	0.24	0.32		148 → 149
151-149 F9		土坑	1面	18CⅡ-	0.25	0.18	0.13		148 → 149 149 → 150
151-150 F9		土坑	1面	18CⅡ-	0.41	0.32	0.07		149 → 150
151-151 F9		土坑	1面	18C-	0.28	0.25	0.12	土【2 磁】 変装鉢 磁【鉄絵網 瓦】 灰目	
151-152 F9		土坑	1面	18CⅡ-	0.48	0.32	0.39	伊 土甕	
151-153 F10		土坑	1面	18CⅡ-	0.45	0.38	0.16		153 → 154
151-154 F10		土坑	1面	18CⅡ-	0.55	0.47	0.24		153 → 154
151-155 F10		土坑	1面	18CⅡ-	0.74	0.72	0.49	土師【	
151-158 F10		土坑	1面	18CⅡ-	0.58	0.38	0.25		
151-163 F10		土坑	1面	18CⅡ-	0.53	0.48	0.21		底に石
151-167 F9		溝	1面	18CⅡ-	(2.65)	1.5	0.55	土師【	
151-168 G9		土坑	1面	18CⅡ-	0.32	0.28	0.34		
151-169 F9		土坑	1面	18CⅡ-	0.52	0.44	0.08	磁【釜	
151-170 F9		土坑	1面	18CⅡ-	0.1	0.31	0.09		
151-171 F9		小穴	1面	18CⅡ-	0.2	0.2	0.05		
151-172 F9		小穴	1面	18CⅡ-	0.2	0.2	0.1		
151-173 F9		土坑	1面	18CⅡ-	0.15	0.2	0.13		
151-174 F9		小穴	1面	18CⅡ-	0.2	0.2	0.14		
151-175 E9		土坑	2面	17C	0.66	0.52			
151-176 E9		土坑	1面	18CⅡ-	0.6	0.54	0.8		177 → 178
151-177 E9		土坑	1面	18CⅡ-	0.48	0.42	0.54		178 → 179
151-181 F9		土坑	1面	18CⅡ-	(2.0)	0.56	0.2	土師【	
151-182 F9		土坑	1面	18CⅡ-	0.6	0.42	0.72		
151-183 F10		土坑	2面	17C	0.52	0.5			
151-184 F10		土坑	2面	17C	0.6	0.42			
151-185 F10		土坑	2面	17C	0.32	0.25			
151-186 F10		土坑	2面	17C	0.26	0.24			
151-187 F10		溝	2面	17C	(2.3)	1.0	(0.2)		層位浅小
151-198 F9		溝	2面	16C	(0.2)	0.54		土師【高台鉢 瓦】 灰釉瓦	198 → 197 197 → 199
151-199 F9		土坑	2面	17C	0.74	0.65	0.45		223 → 124
151-223 E9		土坑	1面	18CⅡ-	1.46	0.54	0.3		
151-255 F9		溝	2面	17C	(5.7)	1.0	0.2		
151-256 E9		土坑	2面	17C	0.56	0.5	1.7	土師【高台鉢	底石痕と穴
151-266 E9		土坑	2面	17C	1.16	1.0	0.1	磁【	267 → 266
151-267 E9		土坑	2面	17C	1.88	0.94	0.22	土【瓦 瓦】 土師【 瓦	267 → 266

下層の遺構

遺構番号	地区	遺構種別	遺構面	時期	規模 (m)			主な出土遺物	備考
					長辺	短辺	深さ		
151-136 F9		土坑	3面	16C	1.28	1.28	1.3	土師 陶板陶器類	
151-145 E9		土坑	3面	16C	0.95	0.84	1.1	土師 陶板赤磁土甕 灰釉陶器類	
151-191 E9		土坑	3面	16C	0.65	1.1		土師【	
151-192 F9		土坑	3面	16C	0.65	1.1		土師【	
151-203 B		土坑	3面	16C	2.2	(1.05)	0.2		
151-211 A7		土坑	3面	16C	0.36	0.2			
151-239 B		土坑	3面	16C	1.06	0.86	0.15		
151-247 E9		土坑	3面	古代	1.3	1.1	1.1	土師【変 瓦	
151-260 B		土坑	2面	16C	1.5	0.36	0.8	土【	259 → 260
151-261 B7		土坑	4面		0.51	0.51	0.14		
151-262 B7		土坑	4面		0.39	0.7	0.09	土師【変 瓦】	
151-263 F9		溝	3面	16C	(8.0)	1.6	0.82	瓦【灰釉網 瓦 土師】 瓦】	260 → 263
151-264 D8		土坑	3面	16C	0.66	0.49			
151-265 D0		溝跡?	3面	16C	9.2	(9.6)		磁【変 伊】 青磁 土師【 瓦】	右隣溝跡
151-268 B8		土坑	4面		0.4	0.32	0.03		
151-270 D8		土坑	4面	古代	4.6	(5.0)	0.4	磁【土師】	
151-278 F9		溝	4面	中世紀前	1.9	(6.0)		土【瓦 変 瓦】 土師【 変	
151-281 F9		土坑	4面		0.66	0.6	0.17	磁【土師瓦口	
151-283 F9		土坑	3面	16C	0.5	0.42	0.22		
151-284 E9		土坑	4面		2.5	1.4	0.18	土師【小形 瓦】	
151-285 E9		土坑	4面		0.5	0.34		伊【変	
151-286 E9		土坑	4面		0.36	0.24	0.15		
151-287 C7		喫煙土坑	4面	古代	4.75	(2.8)	0.65	土師【変 瓦】 灰釉	
151-288 E9		土坑	4面	(古代)	3.1	(0.4)	0.55	灰釉 瓦】 瓦	288 → 290
151-289 E9		溝	3面		0.55	0.6	土垂 瓦】	289 → 290	
151-290 F9		溝	3面	16C	8.8	1.75	1.0	土【土師】 瓦 瓦】 瓦	288 → 290 290 → 263 290 → 291
151-291 E9		柱穴	4面		1.0	0.9	0.5	土師【変 瓦】	
151-292 E9		土坑	4面		2.5	1.2	0.19		
151-293 E9		土坑	4面		(8.4)	1.2	0.4		
151-294 F9		土坑	4面						
151-295 F9		土坑	4面						297 → 305・296
151-296 F9		土坑	4面						
151-297 F9		土坑	4面					磁【	297 → 305・295
151-298 E9		土坑	4面			0.55	0.53		
151-300 F9		溝	4面		(8.0)	2.0	0.3	磁【変 土師】 変小形 瓦】	317 → 300 → 379 → 348
151-302 F9		土坑	4面						
151-303 E9		土坑	4面						
151-304 E9		土坑	4面	古代				土師【変	
151-305 E9		土坑	4面		0.15	0.1			
151-306 E9		土坑	4面		0.3	0.19			297 → 305・295

遺構観察表

遺構番号	地区	遺構種別	遺構面	時期	規模 (m)			主な出土遺物	備考
					長辺	短辺	高さ		
151-307	E9	土坑	4面		1.17	0.53	0.23	土曜】 釜	307 → 308 → 317
151-308	E9	土坑	4面	古代	1.6	0.98	0.22	土曜】	307 → 308 → 317
151-309	E9	土坑	4面		1.0	0.96	0.83		
151-310	D9	土坑	4面		0.90	0.75	0.3		
151-311	E9	土坑	4面		1.3	0.75	0.31		
151-312	E9	土坑	4面		1.24	0.7	0.13		
151-313	F9	土坑	4面						
151-314	E9	土坑	4面						
151-315	E9	土坑	4面		0.5	0.15			
151-316	E9	土坑	4面						
151-317	E9	土坑	3面	16C	0.46	0.4	0.2		307 → 308 → 317
151-318	H7	土坑	4面		0.54	0.4	0.2		
151-319	H7	土坑	4面		0.46	0.42	0.35		
151-320	H7	土坑	4面		0.54	0.48	0.17		
151-321	C8	土坑	4面		0.54	0.38	0.09		
151-322	A7	土坑	4面		0.24	0.24	0.09		
151-323	A7	土坑	4面		0.38	0.34	0.16		
151-324	H7	土坑	4面		0.48	0.44	0.18		
151-327	H8	土坑	4面		0.36	0.32	0.15		
151-328	H8	土坑	4面		0.5	0.36	0.03		
151-329	C8	土坑	4面		0.48	0.45	0.09		
151-330	C8	土坑	4面		0.2	0.2	0.09		347 → 300 → 379 → 348
151-331	C8	土坑	4面		0.72	0.54	0.11		
151-332	C8	土坑	4面		0.5	0.35	0.07		
151-333	D8	土坑	4面		0.22	0.2	0.12		
151-334	F9	土坑	4面		(1.1)	0.62	0.45	土曜】	334 → 330
151-335	A7	土坑	4面		0.56	0.4	0.12		
151-336	F9	土坑	4面		0.4	0.38	0.16	土曜】	
151-337	A7	土坑	4面		0.54	0.44	0.1		
151-339	H7	土坑	4面		0.5	0.48	0.32		
151-340	A7	土坑	4面		0.8	0.65	0.08		
151-341	A7	土坑	4面		0.58	0.34	0.14		
151-342	A7	土坑	4面		0.9	0.6	0.65		342 → 375
151-343	E9	土坑	4面		0.54	0.28	0.15	土曜】	
151-344	F9	土坑	4面		1.0	0.8	0.16	土曜】	
151-345	D8	土坑	4面		0.75	0.75			
151-346	E9	土坑	4面		0.76	0.68	0.4		
151-347	F9	土坑	4面		0.4	0.2			347 → 300 → 379 → 348
151-348	F9	土坑	4面		0.23	0.3	0.18	土曜】	347 → 300 → 379 → 348
151-349	D8	土坑	5面		1.46	0.71	0.24		
151-350	E9	土坑	4面		0.8	0.58	0.05	土曜】	
151-351	F10	土坑	5面		0.37	0.3			
151-352	F10	土坑	5面		0.6	0.48	0.09		
151-353	F9	土坑	5面		0.56	0.48	0.23		
151-354	F9	土坑	5面		0.52	0.48	0.14		
151-355	F9	土坑	5面		0.68	0.4	0.22		372 → 355
151-356	F10	土坑	5面		0.65	0.52	0.26		
151-357	F9	土坑	5面		0.98	0.59	0.15		367 → 371 → 358
151-358	F9	土坑	5面		0.42	0.4	0.25		付欠 357 → 371 → 358
151-359	E10	土坑	5面		0.94	0.84	0.29		
151-360	E10	土坑	5面		0.6	0.48	0.07		
151-361	E9	土坑	5面		0.5	0.4	0.1		
151-362	F9	土坑	5面		1.0	0.8	0.28		
151-363	E9	土坑	5面		0.7	0.5	0.3		
151-364	E9	土坑	5面		0.4	0.4	0.06		
151-365	E9	土坑	5面		1.25	0.28	0.08		365 → 366
151-366	E9	土坑	5面		0.7	0.7	0.06		365 → 366
151-367	E9	土坑	4面		1.2	0.6	0.42		
151-368	E9	土坑	4面		0.44	0.35	0.1		
151-369	E9	土坑	4面		0.94	0.88	0.15		
151-370	E9	小穴	5面		0.2	0.2	0.1		
151-371	F9	土坑	5面		0.9	0.54	0.14	土曜】 釜	357 → 371 → 358
151-372	F9	土坑	5面		0.54	0.5	0.18		372 → 355
151-373	E10	土坑	5面		0.22	0.2	0.08	土曜】	
151-374	E10	土坑	5面		0.83	0.5	0.07		
151-375	A7	土坑	4面		0.41	0.34	0.45		342 → 375
151-376	F9	小穴	5面		0.2	0.16	0.1		
151-377	E9	土坑	5面		0.63	0.6	0.14		
151-378	F9	土坑	5面		1.05	0.55	0.23		
151-379	F9	溝	4・5面		(13.9)	6.2	0.2		347 → 300 → 379 → 348
151-380	E9	土坑	4面		0.45	0.4	0.1		
151-381	E9	土坑	4面		0.24	0.24	0.11		
151-383	E9	小穴	4面		0.2	0.16	0.28		

第3表 FKJ16-1 調査区遺構観察表

B街区の遺構

遺構番号	小区	地区	遺構種別	遺構面	時期	規模 (m)			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	高さ		
161-104	2	H1	井戸	1面	19C	1.88	1.54	1.35	H1】 唐津灰瓦】 志瓦】 埴瓦】 釜	130 → 104 上層部リ
161-105	2	H1	土坑	1面	古世	0.57	0.51	0.17		
161-106	2	H1	土坑	1面	~18期	0.34	0.32	0.05		
161-107	2	H1	土坑	1面	古世	0.54	0.47	0.25		
161-108	2	H1	土坑	1面	古世	0.59	0.23	0.06		
161-109	2	H1	土坑	4面	古世	1.07	0.65	0.09		

遺構観察表

遺構番号	小区	地区	遺構種別	遺構面	時期	規模 (m)			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
161-110	2	H1	礎壇土坑	1面	18C	1.43	1.33	0.69	伊【銅】 瓦 漆 中】 白磁土器】 環鏝	
161-111	2	H1	礎壇土坑	1面	18C後	1.34	1.24	0.45	伊【環鏝	
161-112	2	G10	溝	1面	17C	65.00	2.66	0.76	土】 C【磁】 磁器片 陶】 瓦 漆 漆器】 天目茶碗 瓦磁器】 耳環 鏝	
161-113	2	G10	柱穴	1面	古墳	0.39	0.38	0.16	陶】	
161-114	2	G10	柱穴	1面	古墳	0.57	0.55	0.48		
161-115	2	H1-10	溝	1面	17C	09.18	0.69	0.45	磁】 磁器片 陶】 漆 漆器】 瓦磁器 陶】	
161-116	2	H1-10	溝	1面	古墳	63.40	1.19	0.19	土】 C【磁】 磁器片 陶】 瓦 漆 漆器】	
161-117	2	H1	礎壇土坑	1面	17C後～	2.57	1.15	0.56	土】 C【磁】 磁器片 瓦 漆 陶】 環鏝 漆器】 物 陶】	117-136-128
161-118	2	H1	土坑	1面	古墳	0.35	0.34	0.08		
161-119	2	H1	土坑	1面	古墳	0.34	0.28	0.08		
161-120	2	H1	土坑	1面	古墳	02.09	0.25	0.11		
161-121	2	H1	土坑	1面	古墳	0.41	0.34	0.12		
161-122	2	H1	土坑	1面	古墳	0.36	0.31	0.14		
161-123	2	H1	土坑	1面	古墳	03.34	0.30	0.10		
161-124	2	H1-10	土坑	1面	古墳	0.90	0.67	0.49		
161-125	2	H1	礎壇土坑	1面	18C～	2.00	0.83	0.34	土】 C【瓦】 鏝	
161-126	2	H1	土坑	1面	18C後～	1.36	0.96	0.40	伊【陶】 漆片】 瓦 陶】	126→127→128
161-127	2	H1	土坑	1面	18C後～	(1.37)	1.05	0.43		
161-128	2	H1	土坑	1面	18C後～	0.99	1.21	0.64	漆】 陶】 環鏝	126→127→176→128
161-129	2	H1	柱穴	1面	18C～	0.52	0.46	0.45		
161-130	2	H1	土坑	1面	古墳	0.53	0.33	0.21		
161-131	2	H1	柱穴	1面	古墳	0.36	0.33	0.18		柱穴残心
161-132	2	H1	土坑	1面	古墳	1.69	0.80	0.11	陶】	
161-133	2	G10	土坑	1面	古墳	0.74	0.61	0.14		
161-134	2	H1	土坑	1面	古墳	0.36	0.35	0.12		
161-135	2	H1	土坑	1面	古墳	0.30	0.26	0.23		
161-136	2	H1	土坑	1面	古墳	0.78	0.71	0.27	陶】	
161-137	2	H1	土坑	1面	古墳	0.50	0.40	0.19		
161-138	2	H1	土坑	1面	古墳	0.47	0.38	0.23		
161-139	2	H10	土坑	1面	古墳	0.56	0.41	0.03		
161-140	2	H10	土坑	1面	古墳	0.49	0.41	0.14		
161-141	2	H10	土坑	1面	古墳	0.67	0.47	0.03		
161-142	2	H10	土坑	1面	古墳	0.43	0.43	0.18		
161-143	2	H10	土坑	1面	古墳	0.49	0.41	0.31		
161-144	2	H1-10	溝	1面	古墳	1.94	0.13	0.06		
161-145	2	G10	溝	1面	古墳	1.31	0.14	0.07		
161-146	2	G10	柱穴	1面	古墳	0.53	0.51	0.13		柱穴残心
161-147	2	G10	柱穴	1面	古墳	0.43	0.40	0.20	陶】	
161-148	2	H10	土坑	1面	古墳	0.55	0.53	0.13		
161-149	2	H1	土坑	1面	古墳	0.34	0.28	0.09		
161-150	2	H1	土坑	1面	古墳	0.46	0.38	0.15		
161-151	2	H1	土坑	1面	古墳	0.58	0.34	0.19		
161-152	2	H1	溝	1面	古墳	1.16	0.28	0.05		
161-153	2	H-11	土坑	1面	古墳	0.57	0.28	0.15		
161-154	2	H10	土坑	1面	古墳	0.42	0.37	0.07		
161-155	2	H1	土坑	1面	古墳	0.35	0.19	0.09		
161-156	2	H1	土坑	1面	17C後～	2.04	1.14	0.32		
161-157	2	H1	土坑	1面	古墳	05.57	0.54	0.19		
161-158	2	G1	柱穴	1面	18C	0.41	0.39	0.19		柱穴残心
161-159	2	H1	土坑	1面	古墳	1.08	0.98	0.31		
161-160	2	H1	土坑	1面	18C後半	0.49	0.26	0.07	土】 G【磁】 磁器片 陶】	
161-161	2	G10	土坑	1面	18C後半	0.54	0.45	0.05	陶】 磁器片 漆 鏝	
161-162	2	G10	土坑	1面	古墳	0.49	0.40	0.15		
161-163	2	H1	柱穴	1面	古墳	0.45	0.45	0.40		
161-164	2	G1	土坑	1面	古墳	0.70	0.48	0.07		柱穴残心
161-165	2	G10	柱穴	1面	18C後半	0.79	0.52	0.38	陶】 環鏝	
161-166	2	G10	土坑	1面	18C後～	0.24	0.22	0.17		
161-167	2	G10	土坑	1面	古墳	1.99	1.21	0.02	陶】	
161-168	2	G-1110	溝	1面	古墳	33.70	1.20	0.20	陶】 環鏝	
161-169	2	F-G10	土坑	1面	古墳	0.60	0.61	0.15	土】 G【伊】 土家前庭の土間高合 漆器 陶】	
161-170	2	G10	土坑	1面	古墳	0.22	0.21	0.05		
161-171	2	G10	柱穴	1面	古墳	0.37	0.34	0.06	陶】 磁器	
161-172	2	H1	土坑	1面	古墳	0.42	-	0.16		
161-173	2	H1	土坑	1面	古墳	0.51	0.41	0.09		
161-174	2	H1	土坑	1面	古墳	1.96	0.85	0.14		
161-175	2	H1	土坑	1面	古墳	03.38	-	0.13		
161-176	2	H1	土壇	1面	～17C	2.71	(1.54)	0.63	中】 金付瓦	126→127→176→128
161-177	2	H1	土坑	1面	～17C	08.84	0.75	0.47		177→136
161-178	2	G9	土坑	1面	18C	0.22	0.19	0.15		
161-179	2	H1	柱穴	1面	古墳	0.94	0.89	0.61		柱穴残心
161-180	2	H1	土坑	1面	古墳	0.51	0.40	0.52		
161-181	2	H1	土坑	1面	古墳	07.1)	0.53)	0.10		

C街区の遺構

遺構番号	小区	地区	遺構種別	遺構面	時期	規模 (m)			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
161-1	1	D4	礎壇土坑	1面	19C	2.58	2.40	0.89	土】 G【磁】 磁器片 伊【平腹文字面鏡 陶形金付瓦 磁】 磁器片 漆 漆器】 漆器 漆器】 瓦 陶】	6→25→23・1・2
161-2	1	D4	礎壇土坑	1面	19C	(1.13)	(1.30)	0.75	土】 G【伊】 土家前庭の土間高合 漆器 陶】 漆器 漆器】 漆器 漆器】 漆器 漆器】	6→25→23・1・2
161-3	1	D4	土坑	1面	18C	0.23	0.20	0.05	土】 C103	
161-4	1	D4	礎壇土坑	1面	18C後～	1.89	1.58	0.27	土】 C103 磁】 磁器片 伊【漆 漆】 前毛打筒 陶】 磁器片 漆器】 漆	
161-5	1	D4	土坑	1面	古墳	0.20	0.19	0.12		
161-6	1	D4	礎壇土坑	1面	18C後～	(1.31)	(0.60)	0.10	陶】	6→25→23・1・2

遺構観察表

遺構番号	小区	地区	遺構種類	遺構型	時期	規模 (m)			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
161-92	1	D4	溝	2面		0.19	0.52	0.24		91→92
161-93	1	B3	土坑	2面		0.53	0.59	0.09		
161-94	1	B3	土坑	2面		0.44	0.32	0.04		
161-95	1	B3	土坑	2面	18C	0.60	0.52	0.06	土	103
161-96	1	D4	土坑	2面		0.43	0.20	0.09		96→55→100
161-97	1	C3	土坑	2面		0.25	0.21	0.13		
161-98	1	C3	土坑	2面		0.25	0.21	0.10		
161-99	1	C3	小穴	2面		0.19	0.16	0.08		
161-100	1	D4	土坑	2面		0.40	0.23	0.17		53→54→55→100
161-101	1	A-103	土坑	2面		1.28	0.80	0.17		
161-277	3	E5	土坑	1面		1.69	1.33	0.51	伊 銅器(土文蓋 壺) 瓦 瓦	
161-278	3	D-E5	土坑	1面	18C奥~18C中	1.85	1.84	0.53	土 C2 G 伊 銅器(土文蓋 壺) 瓦 瓦 銅器(土文蓋 壺) 瓦 瓦	
161-280	3	E5	土坑	1面	18C 後	0.62	0.61	0.38		
161-281	3	E5	土坑	1面	瓦葺	0.32	0.14	0.21		
161-282	3	D5	溝	1面	瓦葺	1.69	0.33	0.16		
161-283	3	D5	土坑	1面	瓦葺	0.49	-	34.00		
161-284	3	D5	土坑	1面	瓦葺	0.62	0.50	0.17		
161-285	3	D5	溝	1面	瓦葺	0.80	0.27	0.19		
161-286	3	D5	土坑	1面	瓦葺	0.30	0.16	0.06		
161-287	3	D5	溝	1面	瓦葺	0.14	0.01	0.20		
161-288	3	D5	土坑	1面	瓦葺	0.78	0.78	0.33		
161-289	3	E5-6	土坑	1面	瓦葺	1.70	1.51	0.34	瓦	
161-290	3	E6	土坑	1面	瓦葺	1.70	1.66	0.95		
161-291	3	D6	土坑	1面	瓦葺	1.16	0.65	0.16	瓦	
161-292	3	D5-6	土坑	1面	瓦葺	0.64	0.37	0.10		
161-293	3	E5-6	土坑	1面	瓦葺	1.12	0.23	0.16		
161-294	3	E6	土坑	1面	瓦葺	0.48	0.45	0.10		
161-295	3	E6	土坑	1面	瓦葺	1.11	0.44	0.20		297→295・305・299 →298・300
161-296	3	E6	土坑	1面	瓦葺	0.25	0.22	0.33		297→295・305・299 →298・300
161-297	3	E6	土坑	1面	瓦葺	0.93	0.49	0.16		297→295・305・299 →298・300
161-298	3	E6	土坑	1面	瓦葺	0.65	0.59	0.07		297→295・305・299 →298・300
161-299	3	E6	土坑	1面	瓦葺	1.00	0.86	0.16	瓦	297→295・305・299 →298・300
161-300	3	E6	土坑	1面	瓦葺	0.65	0.45	0.12		297→295・305・299 →298・300
161-301	3	E6	土坑	1面	瓦葺	0.64	0.61	0.19		
161-302	3	E6	土坑	1面	瓦葺	0.75	0.67	0.11		
161-303	3	D5	土坑	1面	瓦葺	2.64	0.63	0.41		303→304
161-304	3	D5	土坑	1面	瓦葺	1.19	0.52	0.40		303→304
161-305	3	E6	土坑	1面	瓦葺	0.26	0.17	0.07		297→295・305・299 →298・300
161-307	3	E6	土坑	1面	瓦葺	0.46	0.46	0.09		
161-313	3	D5	土坑	1面	瓦葺	1.63	0.31	0.33		
161-315	3	E5	土坑	1面	瓦葺	1.92	1.43	0.18		315→320→318
161-316	3	E5	土坑	1面	瓦葺	0.38	-	0.16		316→317・319・320
161-317	3	E5	土坑	1面	瓦葺	0.40	0.21	0.04		316→317・319・320
161-318	3	E5	土坑	1面	瓦葺	1.29	0.80	0.18		315→320→318
161-319	3	E5	土坑	1面	瓦葺	1.06	0.72	0.19		316→317・319・320
161-320	3	E5	土坑	1面	瓦葺	1.25	0.87	0.06		315→320→318
161-322	3	E5	土坑	1面	瓦葺	1.37	0.93	0.35	瓦	
161-323	3	E5	土坑	1面	瓦葺	0.50	0.20	0.28		
161-324	3	D4-5改設	溝	1面	瓦葺	1.93	0.53	0.37	瓦	
161-326	3	E6	土坑	1面	瓦葺	0.35	0.31	0.08		
161-327	3	E6	土坑	1面	瓦葺	0.41	0.40	0.11		
161-328	3	E6	土坑	1面	瓦葺	0.51	0.42	0.12		
161-329	3	E6	土坑	1面	瓦葺	0.58	0.43	0.16		330→329
161-330	3	E6	土坑	1面	瓦葺	1.02	0.78	0.25		330→329
161-333	3	E5	土坑	1面	瓦葺	0.47	0.37	0.07		
161-334	3	E5	土坑	1面	瓦葺	1.11	1.00	0.33	瓦	339→334→335
161-335	3	E5	土坑	1面	瓦葺	0.26	0.17	0.04		339→334→335
161-337	3	E5	土坑	1面	瓦葺	1.23	0.64	0.11		340→337
161-339	3	E5	土坑	1面	瓦葺	0.32	0.06	0.08		339→334→335
161-340	3	E5	土坑	1面	瓦葺	0.89	0.43	0.22		340→337

下層の遺構

遺構番号	小区	地区	遺構種類	遺構型	時期	規模 (m)			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
161-36	1	A3-C	溝	2面	古代	23.49	1.94	0.60	土 C2 G 組 銅器(土文蓋 壺) 白磁(環状 土師 土師) 瓦 瓦	41→36 36→62 土師土坑(後)の遺物 41→36
161-41	1	B4	土坑	2面	古代	0.73	0.63	0.28		
161-182	2	F10	溝	2面	古代	11.70	0.61	0.11		
161-183	2	G10	土坑	2面	古代	0.42	0.41	0.23	瓦 瓦	
161-184	2	G10	土坑	2面	古代	0.42	0.30	0.16		
161-185	2	H10	土坑	2面	古代	0.34	0.34	0.11		
161-186	2	H1-10	溝	2面	古代	0.78	0.62	0.26	土 C2 銅	
161-187	2	H1-10	溝	2面	古代	7.60	0.48	0.20	瓦 瓦	
161-188	2	池尻跡	溝	2面	古代	21.70	2.56	0.42	瓦 高古坪蓋	190→188
161-189	2	G10	土坑	2面	古代	0.57	0.49	0.15		
161-190	2	G10	土坑	2面	古代	0.89	0.60	0.08	瓦	190→188
161-191	2	G10	土坑	2面	古代	0.49	-	0.10		
161-192	2	G10	土坑	2面	古代	0.97	-	0.15	瓦 瓦	
161-193	2	G10	土坑	2面	古代	0.84	0.71	0.12		193→194
161-194	2	G10	土坑	2面	古代	0.52	0.40	0.10		193→194

遺構観察表

遺構番号	小区	地区	遺構種類	基壇面	時期	規模 (m)			主な出土遺物	備考
						長辺	短辺	深さ		
161-195	2	F-G10	土塼	2面	古代	0.67	0.07	0.13		
161-196	2	F-G10	土塼	2面	古代	1.01	0.76	0.17		195→196
161-198	2	G1	土塼	2面	古代	0.50	0.45	0.11		195→196
161-199	2	G10	土塼	2面	古代	0.38	-	0.12		
161-200	2	H1	土塼	2面	古代	0.29	0.25	0.11		
161-201	2	G10	土塼	2面	古代	0.85	0.72	0.29		
161-202	2	G1-10	溝	2面	古代	(8.05)	0.36	0.13		
161-203	2	G10	小穴	2面	古代	0.16	0.15	0.08		
161-204	2	G10	小穴	2面	古代	0.16	0.14	0.05		
161-205	2	G10	土塼	2面	古代	0.55	0.39	0.21	銅	
161-206	2	G10	土塼	3面	古墳-古代	0.28	0.25	0.13		
161-207	2	G10	土塼	3面	古墳-古代	0.93	0.73	0.27		
161-208	2	H1-10	土塼	3面	古墳-古代	0.83	0.31	0.28		
161-209	2	F10	溝	3面	古墳-古代	(1.54)	0.94	0.18	銅 环壺	
161-210	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	0.93	-	0.19		271→243-269→270 →210
161-211	2	G1-10	溝	3面	古墳-古代	(8.10)	2.33	0.19	銅	226→211→227
161-212	2	H10	土塼	3面	古墳-古代	2.15	0.84	0.16		
161-213	2	H10	土塼	3面	古墳-古代	0.66	0.51	0.10		
161-214	2	G9-10	溝	3面	古墳-古代	(1.98)	(16.4)	0.11	銅 环壺	
161-215	2	G9	土塼	3面	古墳-古代	0.34	0.24	0.13		
161-216	2	G9-10	土塼	3面	古墳-古代	0.108	0.20	0.09		
161-217	2	G10	土塼	3面	古墳-古代	0.26	0.20	0.07	銅	
161-218	2	G10	土塼	3面	古墳-古代	0.21	-	0.08		
161-219	2	G9	土塼	3面	古墳-古代	0.35	0.32	1.00	銅	
161-220	2	G9-10	土塼	3面	古墳-古代	0.74	0.67	0.15		
161-221	2	G9-10	土塼	3面	古墳-古代	0.41	-	0.12		
161-222	2	G9-10	土塼	3面	古墳-古代	1.38	1.52	0.15		
161-223	2	G9-10	土塼	3面	古墳-古代	1.89	0.44	0.03		
161-224	2	G9	土塼	3面	古墳-古代	0.24	0.20	0.03	銅 环壺	
161-225	2	G10	土塼	3面	古墳-古代	0.76	0.39	0.09		
161-226	2	G1	土塼	3面	古墳-古代	0.56	0.50	0.17		226→211→227
161-227	2	G1	土塼	3面	古墳-古代	0.32	-	0.22	銅 环壺	226→211→227
161-228	2	G9-10	土塼	3面	古墳-古代	0.20	-			
161-229	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(1.04)	(0.51)	0.30	銅	
161-230	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(0.83)	(0.45)	0.18	銅	214-256→261→257
161-231	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	0.89	0.73	0.23		233→234-260→231 →232-239
161-232	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	0.45	-	0.11	銅	233→234-260→231 →232-239
161-233	2	H10	土塼	3面	古墳-古代	1.22	(1.00)	0.22	銅 环壺	233→234-260→231 →232-239
161-234	2	H10	土塼	3面	古墳-古代	(0.70)	(0.36)	0.21	銅	233→234-260→231 →232-239
161-235	2	H1-10	土塼	3面	古墳-古代	(1.06)	(0.72)	0.20	銅	
161-236	2	H10	土塼	3面	古墳-古代	(1.43)	(0.81)	0.13	銅	
161-237	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(1.79)	0.99	0.07	銅	
161-238	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(1.61)	(1.54)	0.06	銅	253-254→237-238 253→239→266
161-239	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(2.08)	(1.51)	0.09		253-254→237-238 253→239→266
161-240	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(1.18)	(1.08)	0.20	銅	
161-241	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(0.90)	(0.71)	0.27	銅 环壺	
161-242	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(1.21)	(0.96)	0.26		271→243-269→270 →210
161-243	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	1.06	-	0.25		244-256→261→257
161-244	2	H-11	土塼	3面	古墳-古代	(2.03)	(0.90)	0.21	銅 环壺	
161-245	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	1.40	(0.71)	0.13		246→245→247
161-246	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	0.98	0.84	0.16		246→245→247
161-247	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(0.65)	(0.52)	0.16		246→245→247
161-248	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(1.83)	(1.43)	0.12		
161-249	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	0.78	(0.70)	0.14	銅 环	
161-250	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	1.09	0.85	0.15	銅	
161-251	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	1.13	1.11	0.16	銅 环	
161-252	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	0.80	0.82	0.30	銅 壺	
161-253	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(1.33)	(0.52)	0.08		253-254→237-238 253→239→266
161-254	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(0.43)	0.19	0.08		253-254→237-238 253→239→266
161-255	2	H10	土塼	3面	古墳-古代	(0.88)	(0.48)	0.20	銅	
161-256	2	1-H1	土塼	3面	古墳-古代	(1.51)	(1.28)	0.48	銅 环壺	244-256→261→257
161-257	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	1.19	0.60	0.25	銅 环	244-256→261→257
161-258	2	H10	土塼	3面	古墳-古代	(0.94)	(0.76)	0.16	銅 环	
161-259	2	H10	土塼	3面	古墳-古代	0.58	-	0.09		233→234-260→231 →232-260
161-260	2	H1-10	土塼	3面	古墳-古代	1.40	(1.00)	0.21	銅 环	233→234-260→231 →232-260
161-261	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(1.13)	(0.90)	0.32	銅 环	214-256→261→257
161-262	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(0.92)	(0.38)	0.25	銅	262→272
161-263	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(1.06)	(0.43)	0.17	銅	
161-264	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(1.04)	(0.24)	0.42	銅	
161-265	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	1.20	(0.90)	0.15	銅 环壺	
161-266	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	0.87	0.81	0.08	銅 环壺	253-254→237-238 253→239→266
161-267	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	0.44	0.29	1.00		
161-268	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(0.88)	(0.61)	0.07	銅 环壺	
161-269	2	H1	土塼	3面	古墳-古代	(0.60)	(0.77)	0.18	銅 环	

遺構観察表

遺構番号	地区	遺構種別	遺構面	時期	規模 (m)			主な出土遺物	備考
					横辺	短辺	深さ		
152-276	J10	土坑	3面	~17C中	0.50	0.20	0.13		
152-277	J10	土坑	3面	~18C前	1.58	1.1	0.47	土[C]伊 陶 瓦	
152-278	B1-10	土坑	3面	~18C前	1.6	1.15	0.6	陶 瓦 土 白灰	241 → 242 → 278 305 → 278
152-279	B1-10	土坑	3面	~17C中	1.73	1.56	0.87	土[D]伊 陶瓦類 漆器 天目茶碗 豆釘 瓦	
152-280	B1-10	土坑	3面	18C	2.0	1.45	0.7	陶 陶器付瓦 漆 漆	
152-281	B10	土坑	3面	17C 前	1.85	1.76	1.1	陶 漆器瓦 [伊] 瓦 瓦 陶 瓦 漆 漆 豆釘 陶 瓦等 天目茶碗 漆 漆	
152-282	A10	土坑	3面	~17C中	0.36	0.3	0.1		
152-283	B1	土坑	3面	~17C中	0.59	0.80	0.4		
152-284	B1-10	土坑	3面	~17C中	0.6	0.30	0.75		
152-285	B10	土坑	3面	~17C中	0.550	0.5	0.18		293 → 285
152-286	J10	土坑	3面	~17C中	0.66	0.45	0.64		
152-287	J9-10	土坑	3面	~17C中	0.42	0.28	0.25	中 白磁皿	
152-293	B10	土坑	3面	~17C中	0.85	0.65	0.33		293 → 285
152-300	B1	土坑	3面	~17C中	1.36	1.00	0.55		
152-302	B1	土坑	3面	~17C中	0.35	0.3	0.22		
152-303	B10	土坑	3面	~17C中	0.62	0.500	0.63		
152-304	B1	土坑	3面	~17C中	0.76	0.50	0.5		
152-305	B1	土坑	3面	~17C中	0.70	0.50	0.35	陶 瓦	
152-312	B1	土坑	3面	17C 前	1.7	1.0	0.44	土[C] D2 磁 漆器瓦 陶 瓦	305 → 278
152-313	B10	土坑	4面	17C 前	2.65	2.00	1.7		
152-314	B10	土坑	4面	17C 前	2.50	2.5	0.85	陶 瓦	
152-315	B10	土坑	4面	17C 前	0.7	0.450	0.65	漆器 灰釉磁器	
152-316	B10	土坑	4面	17C 前	1.35	0.80	0.95	土[C] D2 磁 漆器瓦 陶 瓦 漆器 土貯器	
152-317	A10	土坑	3面	~17C中	0.72	0.6	0.53		
152-318	B10	土坑	4面	17C 前	0.80	0.70	0.4		
152-319	B10	土坑	4面	17C 前	1.1	0.50	0.4	土[C]	
152-320	B10	土坑	4面	17C 前	0.66	0.5	0.34		
152-321	B10	土坑	4面	17C 前	1.2	0.9	0.33		
152-322	A10	土坑	3面	17C 前	1.80	0.42	0.34	土[C] D2 磁 瓦	
152-324	B10	土坑	4面	17C 前	0.66	0.58	0.6	陶 瓦	付式1
152-325	A10	石積み	3面	~17C中	2.98	1.22	0.23		
152-326	A10	土坑	4面	17C 前	1.13	1.12	0.42	土[C]	
152-327	A-B10	土坑	3面	~17C中	1.38	0.84	0.45		
152-328	A-B10	土坑	4面	17C 前	0.90	0.5	0.5		
152-329	B1-10	土坑	4面	17C 前	1.24	1.05	0.25		
152-330	B-C10	土坑	3・4面	17C 前	2.4	1.100	0.2		334 → 330
152-331	B10	土坑	3・4面	17C 前	1.00	0.75	0.18	陶 瓦	
152-332	B1	土坑	4面	17C 前	1.46	0.850	0.2		
152-333	B10	土坑	4面	17C 前	0.86	0.72	0.3	陶 瓦	
152-334	C10	土坑	4面	17C 前	0.95	0.66	0.32		334 → 330
152-335	B10	土坑	4面	17C 前	0.64	0.58	0.37		
152-337	B10	土坑	3面	17C 前	0.69	0.95	0.5	土[C] D2 磁 瓦	
152-338	A-B10	土坑	3面	~17C中	1.16	0.40	0.19	土[C] D2	
152-339	A10	土坑	3面	17C 前	0.92	0.5	0.71	陶 瓦	
152-338A	A10	土坑	3面	~17C中	0.9	0.85	0.33	陶 瓦	
152-369	C10	土坑	4面	17C 前	1.0	0.80	0.5		

E地区の遺構

遺構番号	地区	遺構種別	遺構面	時期	規模 (m)			主な出土遺物	備考
					横辺	短辺	深さ		
152-1	D2	土坑	1面	18C後半~	1.72	0.96	0.58	陶 陶器付瓦 土家瓦 漆 漆器 陶 瓦 豆釘 瓦	
152-2	B1- C1-10	石積水路	1~3面	土層 19C前半~ 土層 17C~	16.50	0.8	2.98	土[D] 土 武火 磁 瓦 漆器 漆 伊 陶 瓦 漆 漆 陶 瓦 漆器 天目茶碗 灰釉磁器 基本漆 豆釘 瓦 漆	天端は惣谷石の礎石
152-4	C1	礎石	1面	18C後半~	0.9	0.76	0.24		方型土坑に礎石を据える
152-5	C1	土坑	1面	18C後半~	0.8	0.72	0.22	土[C]	5 → 6
152-6	C1	土坑	1面	18C後半~	0.60	0.74	0.2		5 → 6
152-8	C4	土坑	1面	18C後半~				豆釘 瓦	文書
152-9	C1	土坑	1面	18C後半~				陶 漆器付瓦	文書
152-11	C2	土坑	1面	18C後半~	0.94	0.7	0.36		
152-12	B-C1	土坑	1面	18C後半~	2.45	0.80	0.18		
152-13	C1	土坑	1面	18C後半~				陶 陶器付瓦	文書
152-14	C1-2	井戸	1面	18C後半~	0.6		1.44	陶 漆器 伊 陶 瓦	
152-15	C1	土坑	1面	18C後半~	0.34	0.340	0.09		字に瓦
152-29	C1	土坑	1面	18C後半~				陶 二重瓦 天目茶碗 陶 瓦 漆 漆	文書
152-24	C-D2	土坑	1面	18C後半~	11.380	0.54	0.23		
152-25	C2	土坑	1面	18C後半~	0.32	0.28	0.35	陶 小形 陶 漆器小形 陶 漆 漆瓦	
152-27	C1	土坑	1面	18C後半~	0.52	0.42	0.15		
152-28	C1	溝	1面	18C後半~	1.86	0.32	0.19	土[G]受	
152-28	C1	土坑	1面	18C後半~	1.24	0.98	0.27	土[G]	
152-41	C1	礎石	1面	18C後半~	1.18	0.64	0.18		溝の石製の木製設置
152-42	C1	礎石	1面	18C後半~	1.50	0.86	0.24		溝の石製の木製設置
152-43	C1	礎石	1面	18C後半~	0.8	0.74	0.44		溝のタテ一本内蔵
152-44	C1	礎石	1面	18C後半~	0.68	0.65	0.16		
152-45	C1	土坑	1面	18C後半~	0.54	0.54	0.18		
152-57	C1	礎石	1面	18C後半~					石積下
152-58	C1	溝	1面	18C後半~	0.1	0.48	0.1		
152-59	C1	土坑	1面	18C後半~	1.26	0.7	1.13		
152-62	D1	土坑	1面	18C後半~	0.64	0.54	0.13		
152-65	D1	土坑	1面	18C後半~	0.66	0.54	0.1	陶 漆器	
152-66	C2	土坑	1面	18C後半~	0.54	0.42	0.06		
152-67	C2	土坑	1面	18C後半~	0.26	0.22	0.11		
152-68	C1	土坑	1面	18C後半~	1.12	0.92	0.61		
152-71	C1	土坑	1面	18C後半~	0.1	0.6	0.06		
152-72	C1	土坑	1面	18C後半~	0.46	0.35	0.28		

